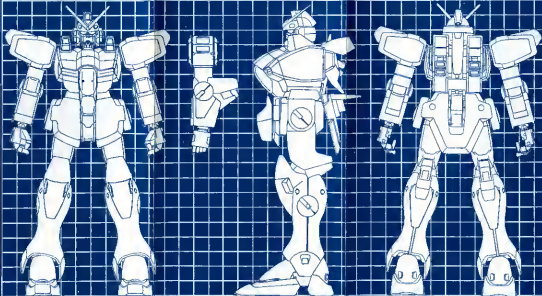


L.M./PROTOTYPE VARIABLE FORM MOBILE SUIT V-GUNDAM
Specifications

Height: 15.2m
Stand Weight: 7.6t
Full Equipment Weight: 17.7t
Generating Power: 4,760kw
Thruster: 7,360kg x 6 - 4,420kg x 4
Average Motor: 34

Armor Materials: Gundam Alloy
& Super Ceramic
Composite
Armaments: Vulcan Gun x 2
Beam Saber x 4 (2)
Beam Shield x 2

Armaments: Beam Rifle x 1
Mini Paint x 1



LM312V04

ヴィクトリー・ガンダム



V GUNDAM

L M 3 1 2 V 0 4
ヴィクトリーガンダム

MA
マニピ

機動戦士ガンダム MS大図鑑

PART.9

【ザンスカール戦争編】

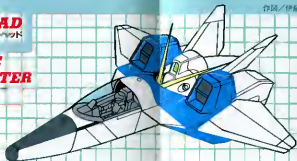


DAM
PULATOR



V-HEAD
V-ヘッド

**CORE
FIGHTER**
コアファイター



作図/伊藤 剛



BEAM SABEL
ヘキサヘッド
**HEXA-
HEAD**



ビームサーベル



コックピット
COCKPIT

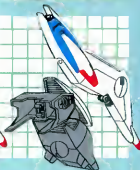


ビームライフル
**BEAM
RIFLE**

**MEGA BEAM
CANON**
メガビームキャノン



オーバーハングキャノン
**OVER
HANG
CANON**



UNDDAM WAR STORY

.....【第⑧章 ザン・スカル戦国時代(上)】



1. 宇宙戦国時代

ザン・スカル帝国

宇宙世紀、人類が宇宙への
確実な一步を記した時代であ
る。衛星である月は言うに及
ばず、軌道上のラグランジュ
ポイントに巨大なスペースコ
ロニーを建築し、その内部を
生活圏として拡大して行った。
さらに、木星へも資源開発の
ためのステーションを派遣し
た。まさに、宇宙時代の開闢
であった。しかし、この新時
代に至っても、人の業は変わ
らなかった。宇宙世紀も半世
紀を越えようという頃、宇
宙都市のひとつが地球連邦に
対し、独立戦争を仕掛けてき
た。スペースコロニーを地球
に落とすという暴挙も行なわ
れ、当時の人口の半数が失わ

スペースコロニーは基本的に島3号と呼ばれる円筒形のものが建造されている。ひとつのサイドにはだいたい7~80基のコロニーが集められている。

GU

H



れることになる。この戦争をかきりとして、宇宙都市を巻き込んだ戦いが頻繁になって行く。それは、地上で繰り返された戦いをそのまま宇宙空間に持ち込んだものであった。時代の発展も戦いの拡大とともに停滞していく。そして、宇宙世紀は1世紀を越えていった。宇宙世紀2世紀も半ばにさしかかった0150年代、何度目かの大きな火種がまき起ころうとしている。

この頃、サイド内で数基のコロニーがまとまって国のような自治組織を打ち出していた。それ同士の戦闘も行なわれ、まさに戦国時代といって良かった。そんな頃、サイド2に起こったザンスカル帝国が、強固な郡組織をもって周囲のコロニーはおろか地球連邦に3

まで戦いを挑んでいく。



2. 襲撃の序曲

ベスバ

サイド2に興ったザンスカール帝国は、ベスバと呼ばれる軍組織を投入して、ついに地球本土への侵攻作戦を開始した。それは、地球全土を一度整地し、新たな秩序をもって構築し直すことを最終的な目標にしていた。ヨーロッパ地区の東欧、ラゲーンに降りたつたファラ・グリフォン中佐に率いられたベスバは、その地にある飛行場を占拠して前進基地とする。そこを拠点にして、連邦政府が管理している特別居住区ウィッグとそれに関連した施設の制圧を始めた。弱体化した地球連邦軍は、これに全く抵抗を示さず、実際に攻撃に対抗してみ

ベスパは地球進攻用のモビルスーツをいろいろ研究していた。ひとつの答えがビームローターを装備した機体である。この機構により、ヘリのような飛行が可能となった。



せたのはリガミリティア（神聖軍事同盟）を名乗る抵抗組織だけだった。しかし、退役軍人と民間人で組織され正式な軍隊ではないリガミリティアの抵抗は戦力の差が大き過ぎて力及ばなかった。新進の機構であるビームローターを装備したベスパのモビルスーツ、ゾロは戦闘ヘリコプターのような立体的な戦闘を展開し、まるで無人の野を行くかのごとくウィングを焼け野原と化していった。戦闘の間でベスパのモビルスーツ同士の戦いも目撃されたが、この時点ではまだ幕間劇にすぎなかった。ウィングの制圧を完了したベスパは、本国で使用しているギロチンを持ち込む。恐怖により、ヨーロッパ地区の民衆を支配しようという企てを実行に移した。



3. 勝利への代名詞

「ウィクトリーガンダム」

かねてよりベスバに対抗すべきモビルスーツを開発していたリガミリティアは、ベスバの侵攻と時を同じくして、機体の完成を見る。3つのパーツによって構成されたそのモビルスーツは、コンビネーションにより柔軟な戦闘体系を可能にするマシンだった。ウィクトリーと名づけられたその機体はリガミリティアの勝利への期待が込められていた。しかし、秘められた力を持つ機体を有効に操ることができるパイロットがいなかった。ここにひとりの少年が登場する。ウツソ・エヴィン。初めて搭乗したベスバのモビルスーツを乗りこなした少年

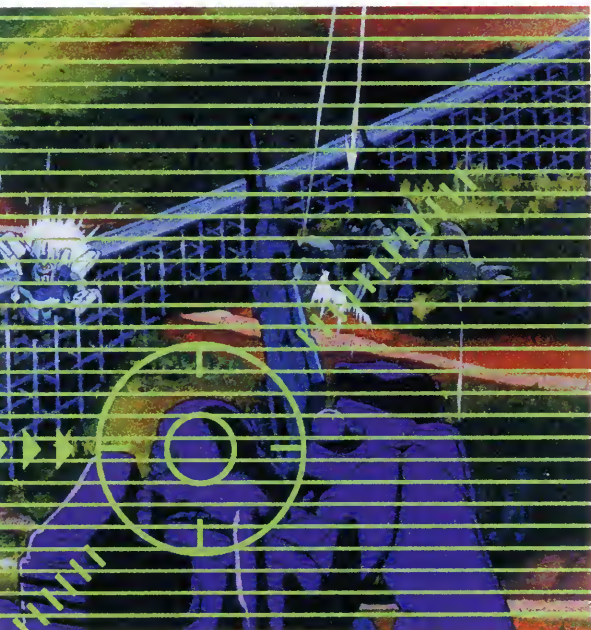
ヴィクトリーと名づけられた新型のモビルスーツは、古のガンダムを象っていた。このシルエットは、ベスバにとって驚異そのものであった。



に、リガミリティアの大人たちは希望の光を見る。わずか13歳の少年に期待を押し付けなくてはならないジレンマ、だが、そうせざるを得なかった。少年は、その期待以上の可能性を見せつける。当然機体そのもののポテンシャルはあったであろう。しかし、わずかに機のヴィクトリータイプは、戦闘のプロであるはずのベスバのモビルスーツを次々と撃破していく。その現実には、ウツソ・エヴィンに好むと好まざるとに関わらず、修羅の戦場への道を歩ませていることになる。

だが、少年の操るガンダムという名前を持つ白いモビルスーツの出現は、新たな伝説の始まりを予感させずにはいなかった。

GUNDAM [ガンダム戦史] WAR HISTORY

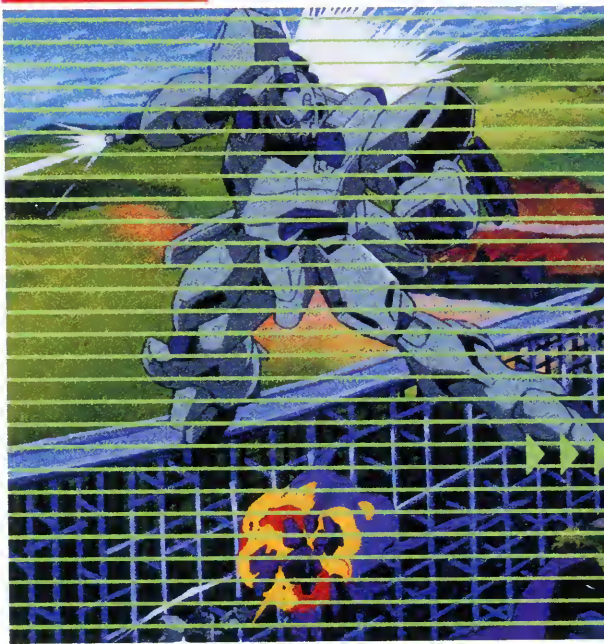


4. 宇宙への掛け橋

「アーティシフラタル」

アーティ・ジブラルタル、宇宙への掛け橋となっている土地である。大型のスペースシャトル用のカタパルトが構築されており、宇宙移民の玄関口になっているのと同時に、宇宙引越公社が、コロニーに移民した人々が地球に残した荷物を送り続けている。この地域を制圧することは、ベスパにとって連邦の喉元を押さえたも同様である。リガミリティアとしてはそれは絶対に阻止しなくてはならないことだった。しかし、どちらの思惑もシャトル用のカタパルトを壊すことをよしとはしていなかった。両者とも、新鋭のモビルスーツを投入しての激

戦闘が激しくなるにつれ、戦場にはシュラク隊のガンイージ、ベスパのとムリアット、メッメドーサなど敵味方の新鋭モビルスーツが入り乱れ始めていた。



しい戦闘が展開される。この戦いを通じ、ウツソは見守ってくれる人達をなくすという経験を初めてすることになってしまふ。リガミリティアの戦闘部隊であるシュラク隊の女性パイロットたちが、仲間を守るため、そして、カタパルトを守るために、ひとり、またひとりと戦場に散っていった。ウツソは悲しみにくれると同時に、だからこそ戦い続けなくてはならないことを思い知る。戦いの後、ウツソは今まで一緒に暮らしてきた少女、シャクティに別れを告げ、両親の消息を求めて宇宙に旅立っていく。しかし、少女がウツソの後を追うかのように宇宙に出たことを、ウツソは知らない。ウツソの前には、宇宙空間という新たな戦場が待ち受けていた。



5. 軌道上の脅威

「カイラス・ギリ」

カイラス・ギリ。ベスバが軌道上にすえつけようとしている戦略攻撃衛星である。軌道上から、地球上を強力なビームで攻撃することができる驚異的な兵器だ。カイラス・ギリを巡る攻防戦が、宇宙の主戦場となっている。リガミリティアは遅ればせながら連邦軍の協力をとりつけることができた。本格的な宇宙艦隊戦への突入である。本拠である宇宙空間ではベスバの戦力は豊富であった。次々と繰り出されてくる新鋭モビルスーツ群、戦いは壮絶なものになっていく。リガミリティアは、この戦いにあたりヴィクトリアの強化パーツを投入する。

ゾロアットは、完成された宇宙用のモビルスーツである。ベスバの宇宙空間での攻勢はこの機体によるところが大きい。さらに、ベスバは次々と新鋭機を投入してくる。



原画：スタジオたくらんげ／仕上：スタジオK、菅原みどり／背景：橋爪朋二／特効：福田 功

宇宙空間の戦いを通して、ウツソの能力はさらに拡大していく。戦いの中、ウツソは新たな友人たちを手に入れていく。ウツソとともに宇宙に出てきたオデロやウォレン、太陽電池衛星ハイランドに住むトマーシュ、マルチナたちである。こうした人達は、悲惨な戦いの中で唯一の救いになったのである。戦艦ガウンランドを自沈攻撃することにより、カイラス・ギリールガミリティアの手に落ちる。激しかった戦いは終わった。戦いの後、ウツソはシャクティが宇宙に出てきていること、そして、ベスバの軍艦に乗っていたことを知る。シャクティを求めて、ウツソはザンスカール帝国の本国であるコロニーに潜入することを決意する。

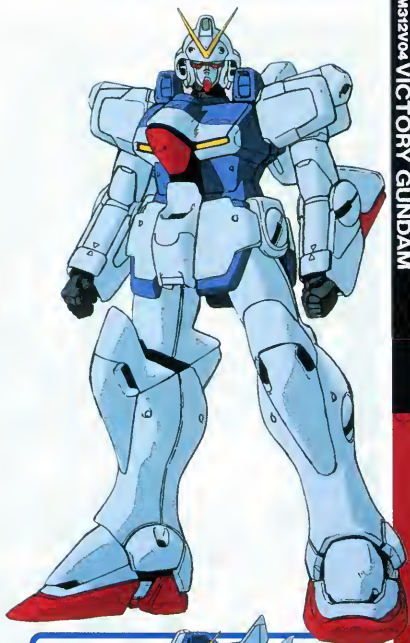
◀VICTORY GUNDAM▶

VICTORY GUNDAM

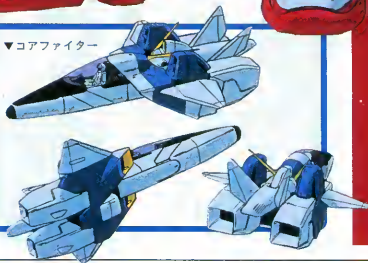
MS名鑑

▼LM312V04 VICTORY GUNDAM

ヴィクトリーガンダム



▼コアファイター

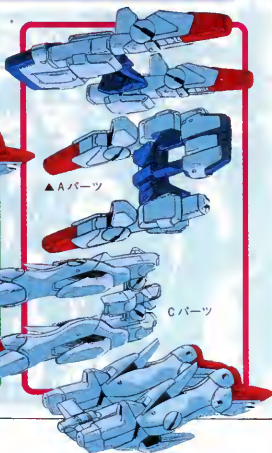
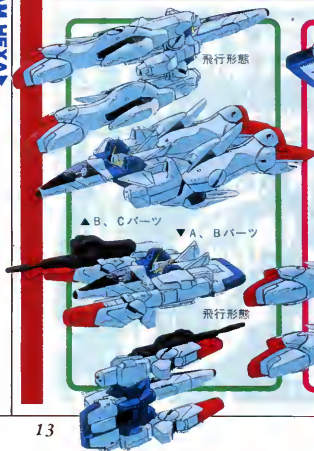


▽ガンダム・ヘキサ



頭頂高：15.2m／本体重量：7.6
t／全備重量：17.7t／装甲材
質：ガンダリウム合金スーパーセ
ラミック複合材／ジェネレーター

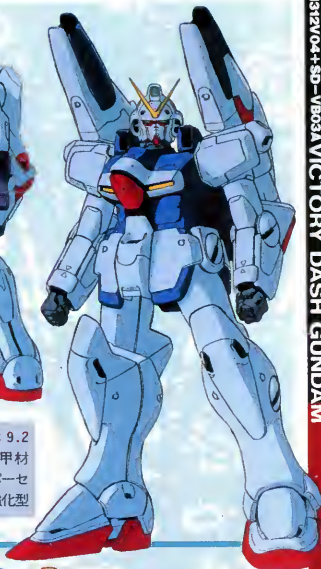
出力：4780kW／スラスター推力：
7390kg×6,4420kg×8／ア ポ ジ
モーター数：34／汎用可変型



Vダッシュ・ガンダム

▶ LM312V04+SD-VB03A VICTORY DASH GUNDAM

▶ VICTORY DASH GUNDAM ▶



頭頂高：15.2m／本体重量：9.2
t／全備重量：20.8t／装甲材
質：ガンダリウム合金スーパーセ
ラミック複合材／汎用可変強化型



▲▼コアブースター



▲ RGM-79 JAMESGUN

ジェムズガン



頭頂高：14.7m／本体重量：7.1t／全備重量：16.3t／装甲材質：ガンダリウム合金セラミック複合材／地上用量産型

▲ LMHME02 GUN EZ

ガンイージ

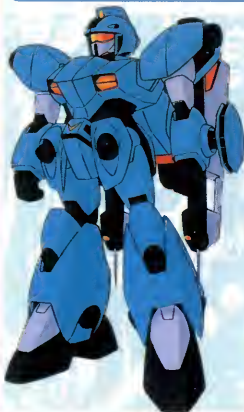


頭頂高：14.9m／本体重量：7.6t／全備重量：18.6t／装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材／汎用量産型

▶ GUN EZ~JAVELIN

▲ RGM-122 JAVELIN

ジャベリン



頭頂高：14.5m／本体重量：8.1t／全備重量：16.5t／装甲材質：ガンダリウム合金セラミック複合材／汎用量産型

頭頂高：14.8m／本体重量：8.9
t／全備重量：21.2t／装甲材
質：チタン合金ネオセラミック複
合材／地上用可変型

◀▼ボトムターミナル



ゾロ

◀▼ボトムターミナル



◀ZORO▶

▼ZM-S086 ZORO

▼ZM-S08G ZOLO

ゾロ



ジェネレーター出力：5120kW/ス
ラスター推力：11890kg×2, 7630
kg×2/アボジモーター数：30



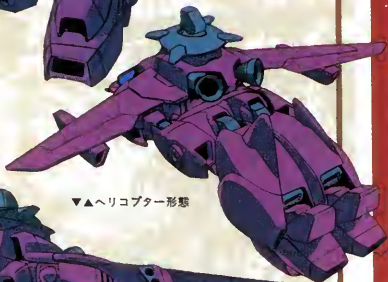
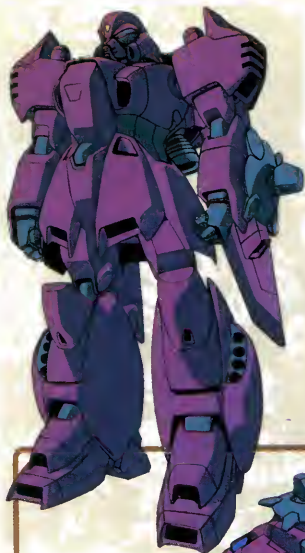
▲トップ
ターミナル

トムリアット

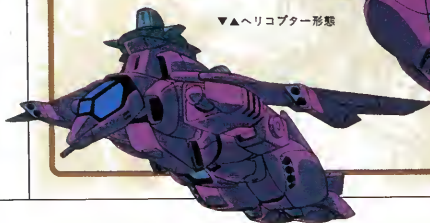
▼ZM-S09c TOMLIAT

▲TOMLIAT▼

頭頂高：15.0m／本
体重量：8.6t／全備
重量：20.7t／装甲
材質：チタン合金ネオ
セラミック複合材／地
上用可変型



▼▲ヘリコプター形態



▲ZMT-S13G GODZORLA

ゴッゾーラ



頭頂高：14.6m／本体重量：8.1
t／全備重量：20.9t／装甲材
質：ハイチタン合金ネオセラミッ
ク複合材／汎用試作型

▲ZMT-S12G SHOKEW

シャッコー



頭頂高：14.7m／本体重量：7.9
t／全備重量：19.2t／装甲材
質：チタン合金ネオセラミック複
合材／汎用試作型

▶SHOKEW~ABIGOR▶

▲ZM-015 ABIGOR

アビゴル



全長：22.6m／本体重量：18.4
t／全備重量：45.3t／装甲材
質：ハイチタン合金セラミック複
合材／宇宙用可変型

▲ZMT-S16G MEMEDORZA

メツメドーサ



全長：14.7m／本体重量：8.5
t／全備重量：21.6t／装甲材
質：ハイチタン合金ネオセラミッ
ク複合材／汎用試作型

ソロアット



▼ZM-S06S ZOLOAT

全長：14.5m／本体重量：8.2t／全備重量：19.8t／装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材／地上用量産型

ガルグイユ



頭頂高：14.2m／本体重量：9.8t／全備重量：26.2t／装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材／水陸両用量産型

コンティオ



頭頂高：16.1m／本体重量：10.9t／全備重量：21.8t／装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材／汎用量産型

△ZM-S225 RIG-SHOKEW

リグシャッコー



頭頂高：15.9m／本体重量：8.2t／全備重量：18.5t／装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材／汎用量産型

△ZM-S195 SHY-TARN

シャイターン



頭頂高：15.9m／本体重量：11.4t／全備重量：19.8t／装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材／局地防衛用量産型

サンドージュ

全長：22.7m／本体重量：29.2t／全備重量：38.5t／装甲材質：チタン合金ニューセラミック複合材／各種工作用量産型



△SHY-TARN~SANDHOGE

△MW5448 SANDHOGE

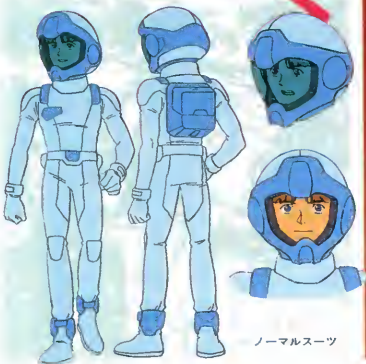
V GUNDAM

キャラクター名鑑

▶USO-EWIN▶

ウッソ・エウィン

カサレリアに住む不法居住者の少年。Vガンダムのパイロットとなる。声：坂口大助



ノーマルスーツ

▲SHAKTI-KAREEN

シャクティ・カリン



ウッソの幼馴染の少女。
生き別れになった母親を探している。声：黒田由美

▲SHAKTI-KAREEN~FLANDERS▶

▲FLANDERS

フランダース



シャクティの愛犬。多少、おっちょこちよいだが、忠犬ではある。

ベスバの空襲により
孤児になった赤ん坊。
声：こおろぎさとみ



カルルマン・ドゥカートゥス

▲HALLO

KARLMANN-DUKARTUSE▶

ハロ



ウッソの愛用のAIモ
ジュール。声：松本梨

マーベット・フィンガーハット

リガ・ミリティアのテストパイロット。Vガンダムのテストをしていた。声：白石文子

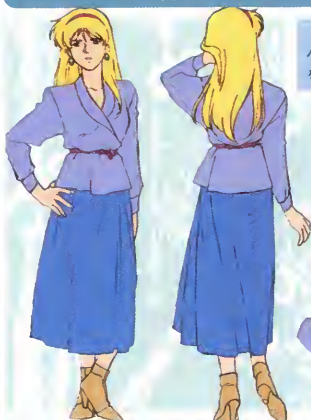
▼MARBET-FINGERHAT

▲MARBET-FINGERHAT▲

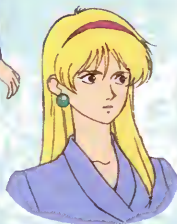


▲KATEJINA-LOOS

カテジナ・ルース



開放区に住む少女。ベスパ空襲により、数奇な運命をたどる。声：渡辺久美子



オデロ・ヘンリーク



孤児3人組のリーダー格。かなり調子のいい性格。声：中田雅之

▲KATEJINA-LOOS~ODELO-HENRIK

▲ODELO-HENRIK

ウォレン・トレイス



ベスバの空襲で孤児となった
3人組のひとり。緊張すると熱
が出る体質。声：松本梨香



スージー・リレーン



孤児3人組の紅一点。目の前で
ギロチンを見たため、恐怖症にな
っている。声：こおろぎさとみ

▲OI-NYNG

オイ・ニュング



ヨーロッパ地区でのリガ・ミリティアのリーダー格。
声：掛川裕彦

▲OI-NYNG~ROMERO-MARVALL▶

▲ROMERO-MARVALL

ロメロ・マラバル

レオニード・アルモドバル



リガ・ミリティアのメカ開発関係に携わっている。Vガンダムの整備も担当。声：茶風林

オイ・ニュング伯爵につぐ副リーダー格。伯爵の死後、リーダー的立場に就く。声：中田譲治

▶LEONID-ALMODOVAR

オーティス・
アーキンス



エステル・
チャバリ



リガ・ミリティアの中で補佐役
的立場で行動している。メカの整
備もこなす。声：坂東尚樹

リガ・ミリティアの連絡役、ま
とめ役を勤める女傑。口調もかな
り豪快である。声：達依久子

シュラク隊



左からヘレン・
ジャクソン、ベ
ギー・リー、ジ
ュンコ・ジェン
コ、マヘリア・
メルル、コニー・
フランス、ケイ
ト・ブッシュ

リガ・ミリティアの中で中核を成
す戦闘部隊。MSガンイージを駆る。
ジュンコ：小林優子、コニー：こお

ろぎさとみ、ヘレン：深見梨加、ベ
ギー：荒木香恵、マヘリア：まるた
まり、ケイト：安達忍

▶SPACE KIDS

宇宙家族の子供たち



左からソフィア・イエリネス、トマーシュ・マサリク、エリシャ・クランスキー、マルチナ・クランスキー、カレル・マサリク、ブラスタ・イエリネス

太陽電池衛星ハイランドに暮らしている子どもたち。ハイランドを軍事利用しようとするベスバに人質にされる。トマーシュ：関智一、カレル：小林優子、エリシャ：柳沢三千代、マルチナ：吉田古奈美

▶FUALA-GLIFON

ファラ・グリフォン



ベスバ イエロージャケット部隊を指揮する女性士官。声：折笠愛

▶OLIVER-INOE

オリファー・イノエ



リガ・ミリティアの戦闘隊長。声：園部啓一

クロノクル・アシャー



ノーマル
スーツ

マリア・アーモニア



ザンスカール帝国の象徴たる女王。“奇跡の力”で人々を導く。
声：篠原恵美

▼MARIA-PURE-ARMONIA



ベスバ、イエロージャット部隊に所属する。大尉の階級にある青年士官。声：檀臣幸

▼CRONICLE-ASHER

▶CRONICLE-ASHER~MARIA-PURE-ARMONIA▶

▲FONSE-KAGATIE

フォンセ・カガチ



ゼンスカール帝国の実質的指導者であるカガチ党の党首。声：大矢兼臣

ドゥカー・イク



伝説のバイク乗りを継承しようとしているイエロージャケットの士官。声：中田和宏

対比表

クロノクル

ファラ マーベット

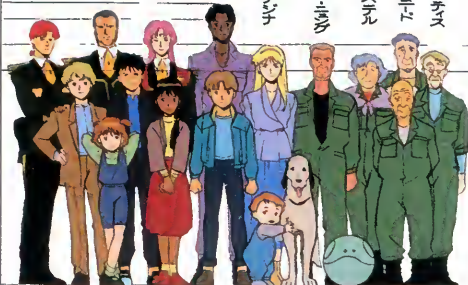
カデニチ

オニミダ

エスデル

ミッド

オナメ



3. ~ ウォレン スージィ シャグティ ウッソ カルマン ランダス ハロ □メ□ © SUNMISS

メカニック名鑑

リガミリティア 大型車両 カミオン



▲CAMION

Vガンダムの各パーツを輸送するために使用した大型トレーラー。そういった本来の目的の他に、ビームライフルを利用した移動砲座や居住空間として有効に利用された。

地球連邦軍 宇宙戦艦 リーンホース



▲REINFORCE

50年前から就航されている老朽艦。地球連邦軍との交渉によりリガ・ミリティア所属の戦艦となった。カイラスグリー戦において傷つき、艦としての生命を終える。

リカール



▲ZM-A05G RECARL

ZM-A05G/全長：50.6m/本体重量：29.2t/全備重量：41.5t/装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材/ジェネレーター出力：4990kW×2

ガリックソン



▲ZMT-03G GALICSON

コードNo.：ZMT-A03G/全長：16.5m/本体重量：11.3t/全備重量：13.7t/装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材/ジェネレーター出力：5420kW



MS DEVELOPMENT HISTORY

MS開発史

誕生から、およそ80年。宇宙時代の兵器
“MS”は生まれ変わり、新たな時代を作
り上げていた。第一期の五世代を経て誕生
した、第二期MSの真価を、今ここに問う。

宇宙世紀一五〇年代のMS

宇宙世紀一五〇年代のMSは、一二〇年代前後に起きた変革を経て、大きな転換期を迎えた。それは、Fシリーズの境に「生まれ変わった」と言えるほどのものだと言っても過言ではない。

この時期、ザンスカール帝
国軍（ベスパ）とリガ・ミリ
ティアが開発したMSは、そ
れまでのMSとは一線を画す
ものだった。

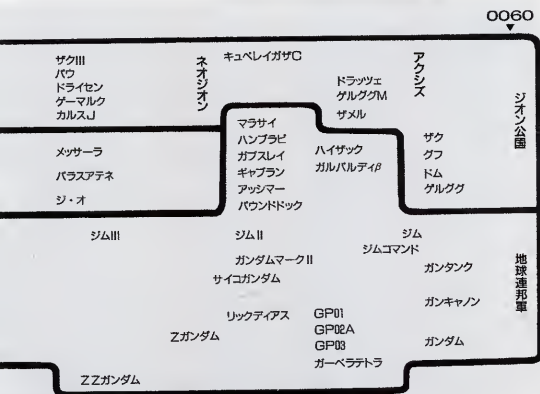
まず、双方共にMS誕生以来の懸案を解消したといえる技術を開発していることが挙げられる。それがまた、一五〇年代のMSの特徴ともなっているのだ。

MSが誕生してから常に付
きまどつていた問題は、重力
下における行動半径と稼働時

間の短さである。プロペラントを膨大に浪費することなく長距離を移動するため、様々なプランが提案、実行されては消えていった。それはまたMSの形態が空力的な特性とアンビバレンツな関係にあったことを露呈させている。

飛行形態に変形するMSなどが生まれたのも（戦術的な意味を考えなければ）双方の要素を合わせ持たせるための苦肉の策だったのだ。

この課題は、ベスパにおいてはビームローターやミノフスキーコントロール、あるいは、アインラッドによって、リガ・ミリティアにおいてはミノフスキーフライト、さらにはミノフスキードライブによってほぼ解決されている。



ベスパMSの特色

ベスパのMSに導入されたもつとも画期的な新技術は、言うまでもなく、ビームローター（以下BR）である。

BRはビームシールド（以下BS）の技術転用によって可能となったものである。

MSの根幹技術であるミノフスキー物理学を基本としたミノフスキー理論応用兵器体系（MAWS=Minsky-theory applied Weapon system）は、それ以前の各種兵器体系を上回る転用技術を数多く生み出しており、MS周辺の各種兵器の多くも基本的にはこの原理に依存している。

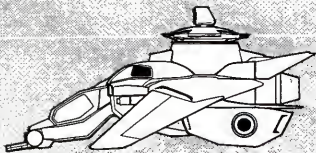
荷電粒子の生成や加速、圧縮という複数の状態を、同一のユニットで作り出す技術そのものは、RX-93のフィン

ファンネルで確立されていた。つまり、シールド／ビーム双方の状態を、同時に発生させる技術の確立によって、BSは開発されたのである。

BSは後に、宇宙艦艇などの防塵対策用装備として一般化、大型化していくが、その偏向、形状保持の技術が敷衍されて、ミノフスキークラフトとBSという異なる二種のミノフスキー兵器の技術を融合させることが可能となり、BRが誕生した。

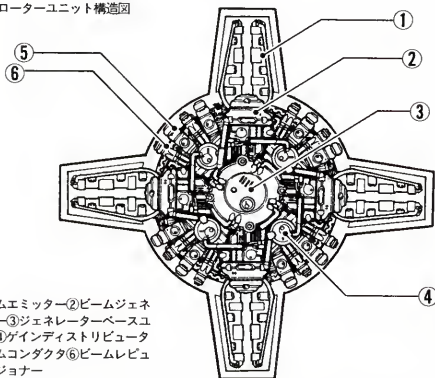
自重を相殺するため、揚力ではなく立方格子状に整列したミノフスキー粒子のフィールドによる斥力を「浮力」として利用したのがミノフスキークラフトだが、そのままMSに積載するのは困難だった。

ゾロのビームローター



ビームローターによるミノフスキー粒子拡散の概念図。ローターの上下面での立方格子の密度の差のため、いわば持ち上げられる形で自機の自重を減免している。

ビームローターユニット構造図



- ①ビームエミッター②ビームジェネレーター③ジェネレーターベースユニット④ゲインディストリビューター⑤ビームコンダクタ⑥ビームレブリエーション

ところが、B Sの開発、発展途上で、ビームを展開させたまま基部から回転させると、ビーム周辺に「フィールド」よりも立方格子形成指向の強い斥力をもつフィールドを形成できることが明かになった。さらに、このフィールドの発生方向を偏向させることで、ビーム表面に立方格子を形成し、ある程度の自重相殺が可能となった。その上、重力下であれば、鉛直方向からビーム回転の中心軸を傾けることによって、若干の推進効果を得られることも確認された。

これを技術的に確立し、斥力を増大させることで、B Rが完成した。ビーム展張の電力とミノフスキー粒子の供給さえできれば、その間はプロペラントを消費することなく、空中航行が可能となるのだ。

B Rは、事実上、簡易型のミノフスキーラフトとしての効果をM Sにもたらした。当然、ミノフスキーラフトと同様の稼働に耐えるほどではなく、高度もさほど高くすることはできないが、圧倒的な機動力をM Sに付与したことは疑いようがない。無論、白兵戦開始時はB Sとして機能することはいうまでもない。

さらに、機体周辺に立方格子が形成されることによって大気の整流効果が生まれ、機動速度も向上しているのだ。

ベスバの試作MS

ベスバのMSは過去のデータを基にしたシミュレーションから作られたものが多い。特異な形状の機体が多いのもそのため、戦略に沿って作られた機体もあれば、技術者の独断によるものもある。

BRが初めて搭載されたゾロにしても、実際のところは戦略上の必要からあのような機体にならざるを得なかったという側面がある。地球進攻の最前線に使用するMSには、複数の機能が求められたからである。戦術的に二つの要素を合わせ持つゾロの開発はこうして決定したのだ。

ゾロの上、下半身は、基本的にどちらも“空対地”兵器だが、トップターミナルは主に対戦車、対歩兵などに対応

した機体であり、ボトムターミナルは爆撃、地上施設掃討などに対応している。

BRの採用そのものは、かなり見切り発車的是であつたが、戦略上の時期的な要請と技術的なレベルが合致したため、戦術的にも大きな効果をもたらしたのだ。

ベスバのMS開発に関しては、かつてサナリイに在籍したスタッフが関与しているといわれ、その試験部隊がラゲーンに侵攻したイエロージャケットであるらしい。地球進攻に先立って開発されていた試作MSの多くは、この部隊によって実戦に投入された。

ただし、本来はこの部隊による実働データをもとに効率的な開発を行うはずであつた

ベスバの開発計画は、その試験中に次の機体が配備されるという風に、必ずしも構想どおりというわけでもなかった。例えば、ゾロのデータ収集が終了しないうちに、ほぼ同様のコンセプトによるトムリアットが配備されるといったようにである。

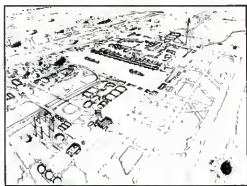
これは、試験を行っている当事者にとつて堪ったものではないだろうが、逆に、ベスバの開発陣のレスポンスの高さを物語つてもいる。

ロールアウト直後には「ろくな性能も出なかった」と酷評されたアビゴルが、回収後の再調整によって、リガ・ミリアのVガンダムを圧倒する能力を発揮したことなど、その端的な例だろう。試作MSは、試作であるがゆえに、そのポテンシャルを充分に発

揮できなかったのだ。

逆に言えば、ベスバが開発するMSは、要求される機能や新機軸の装備などを優先させる傾向が強く、技術陣は、それを可能とする高い技術力を伴っていることが判る。

それらのすべてが戦力の充実に必ずしも直結しないのは、学徒兵などのパイロット練度が低いためばかりではないのかも知れない。



イエロージャケットのラゲーン基地

▲ ZMT-S14S コンティオ



▲ ZMT-S14G ゴッゾーラ



▶ ZMT-D15M

ガルグイユ



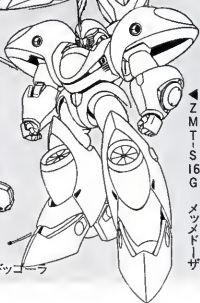
▲ ZMT-D11S アビゴル



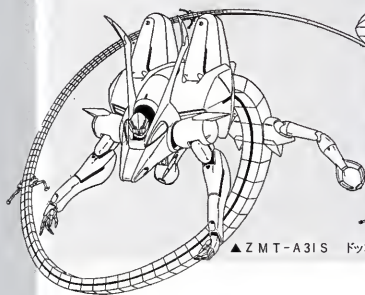
▶ ZMT-S12G シャッソー



▲ ZMT-S16G メッメドーザ



▲ ZMT-A31S ドッグオー



リガ・ミリティアのMS

リガ・ミリティアは、ザンスカール帝国に対抗するため民間の有志によって結成されたゲリラ組織であって、かつてのエウ・ゴとは性格を異にする組織である。そういった意味でこの一連の抵抗運動は、宇宙時代における市民戦争であるということもできる。

もともと、連邦政府内部からの賛同者や私企業による援助もあり、加えて、連邦による介入も皆無ではない。ただし、いわゆる中央政府の代理戦争というわけでもなく、連邦政府の意志としては、非常に希薄で消極的なものらしい。ともあれ連邦政府に反抗する勢力と戦っているのだから、それが自分たちに有利に働くなら利用させてもらおうとい

う程度の援助である。

そんな状況の中で、リガ・ミリティアは独自に戦力の調達を行わなければならなかった。しかし、それはクロスボーンバンガード以来のMS開発の停滞を一挙に解消するほどのプロジェクトだった。

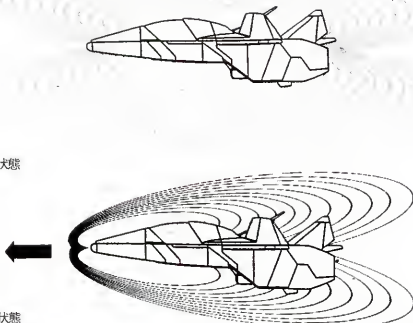
各地に分散した開発拠点は、それぞれ独自に、あるいは結束して新兵器を開発していた。ベスパがビームローターを開発したのとはほぼ同時期、リガ・ミリティアでも『重力下のMSの移動方法』を完成させていたのだ。

Vガンダム各パーツは、およそ空力特性を無視した形状を持っている。コアファイターを除けば誰もこの機体が空を飛ぶとは思わないだろう。

ミノフスキーフライト概念図

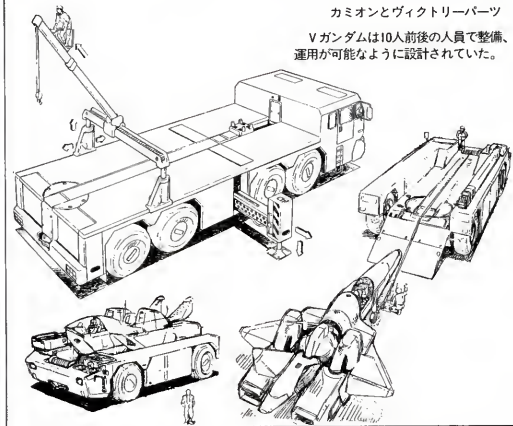
浮遊状態

機動状態



カミオンとヴィクトリーパーツ

Vガンダムは10人前後の人員で整備、運用が可能ないように設計されていた。



実際には、コアファイターと換装した場合、双方ともにリフティングボディに近い形状となり、機体が生み出す揚力は意外と大きいのだが、それでも純粹に空力的に飛行させることはかなり困難だった。

ところがこの機体は、カミオン規模のバックアップ部隊で運用が可能であり、しかも、相当の距離を移動した後でもただちに戦闘に移行できる。

さらに、通常の航空機をはるかに上回る低速飛行能力とホバリング機能を持っている。Vガンダムの飛行に用いられているのは通常の空力技術ではなく、ソロのボトムターミナルと同様、ミノフスキーフライトシステムである。技術的にはまだ完璧ではないが、Vガンダムは単体によるミノフスキーフライトを可能とし

た機体なのだ。

ただし、Vガンダムに搭載されるシステムの最大の弱点は、単独ではたいした高度をとれず、飛行によって揚力を発生させる機動装備との併用がなければ極端に稼動効率が落ちてしまう点だった。停止しているパーツと換装するときや、着陸状態から飛行に移るときなど、他の機動をほとんど伴わない浮遊状態のとき、最大で数十秒しか稼動することができないのだ。

しかし、一旦飛び立てば、機体形状によるリフティング効果とミノフスキーフライトシステムの起こす整流効果による「飛行」が可能となる。また、低速での換装が可能のため、各パーツの誘導に既存の光学端末が併用でき、短い開発期間で完成できたのだ。

ウィクトリーガンダム

リガミリティアが開発したVガンダムとガンイージは、当時の連邦系MSを超えるスベックを獲得している。

宇宙世紀一〇〇年前後を境として、連邦軍に配備されるMSにおいても小型化が推進された。ことに、かつてのクロスボーンバンガード製の小型高性能MSの登場は連邦首脳にも危機感を与え、その對抗兵器の開発と量産は、連邦軍のMS状況を一変させた。

そのため、連邦軍の量産MSとして最も代表的なジェガンやヘビーガンなどの機体から、順次小型のMSに置き替わっているが、実際にはジェムズガンやジャベリンにしても、開発年次からすれば、すでにロートルの部類に入る。

これらの機体をいくら掻き集めても、ベスバの最新鋭MSには対抗できないだろう。

結局、高性能MSを新たに開発したほうが、もっとも効率良く抵抗運動を展開できるという判断があり、リガ・ミリティア独自のMSが開発されることになった。

もともとは連邦傘下のMS開発メーカーがモデルチェンジの候補として検討してでもいたのであるうか、ザンスカールの勃興に前後して、ウィクトリータイプとガンイージタイプの開発が始まった。

そして、その象徴たるにふさわしい超高性能の機体としての機能をふんだんに盛り込んでいる。いくつかの「ガンダム」が持っていた「マルチプルMS」としての機能をさらに先鋭化させ、戦況にに応じたフレキシビリティを確保している。その上、ウィクトリータイプは、既存のどのガンダムよりも「ゲリラ的」な運用に対応した機体として設計されている。実働に要する人員が少なくメインテナンスが容易で、しかもそれがシステムとして確立されている。

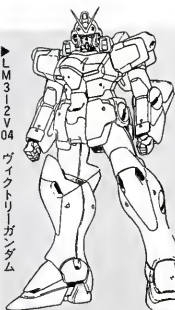
ガンイージは、それをさらにソリッドにしたといえる機体で、高性能を維持しつつ、可能な限り国際規格品を採用し、調達を容易にしている。さらに、開発当初の構想以上に組織的な充実も見たため、武装強化や通信機能の補完などを計るVダツシユ、Vヘキサが生産された。

これは、次世代機に搭載予定のミノフスキードライブの開発が遅れていたせいでもあるが、各地の生産拠点ごとの武装強化案を検討した結果、それらの機能は早期の導入が望ましいとのシミュレーション結果がでたためでもある。

ガンイージに関しても、宇宙での稼働に対応し、かつ機動力強化のため「ツインテイル」の俗称を持つブースターユニットを装備したガンブラスターが生産されている。

これらの機体から得られた実戦データと新装備の導入によつて完成したV2ガンダムは「F」以降の第二期MS群の中でも、さらに画期的な機体となっている。(以下続卷)

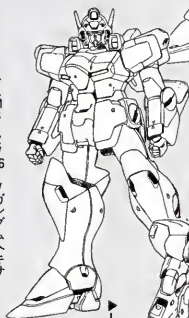
▶ LM312V04 ヴィクトリーガンダム



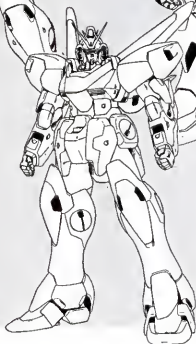
▶ LM111E03 ガンプラスター



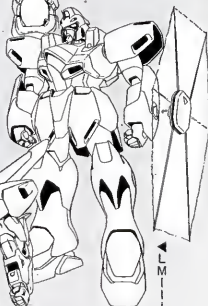
▶ LM312V06 Vガンダムヘキサ



▶ LM314V21 V2ガンダム



▶ LM111E02 ガンイージ



MS用語事典

[MS用語事典▼1]

アーティー・ジブラルタル

アーティー・ジブラルタル

[Artificial Gibraltar]

マストライバー施設を建造するために、埋め立てによって造成された人工の岬。現実の岩山などまでに真似て造られている。海峡に隣接する宇宙引越公社ヨーロッパ総局の施設全体を指す意味でも使われる。ここは欧州地区の物資の搬出を管轄しており、シャトル射出に有利なように可能な限り赤道寄りに建設されている。赤道直下のアフリカでは、逆に欧州からの陸送ができなくなり、長期的には経費

が膨大になるとの試算があったため、欧州の最南端であるここに建造された。

ウィイック [Wick]

ベスバのイエロージャケツトがVガンダムを擁するカミオン部隊の拠点と見て空襲した都市。近隣のカーリンにリガ・ミリティアの地下工場があった。旧プラハ。

宇宙引越公社 [Orbital Corporation of Space Transport]

宇宙移民計画の進展と平行して、移民の財産を宇宙に運搬する業務を行うため設立された半民半官の組織。移民者

の経済負担を軽減するため、いわゆる「宇宙への引越し」はNGO (Non-Governmental Organization) 非政府組織) 活動の一環に組み入れられた。

全人類的な遺産をはじめ、国家や民族、個人の占有物、建築物など、その帰属によらずに、財産の概念に相当する、あらゆる物資の宇宙への搬送を業務とする一種の独占機関でもある。移民開始から百年を経た現在でも、地球からの物資を送り続けている。

宇宙漂流 [Space Baitment] (宇宙追放)

ザンスカール帝国軍ベスバ内で行われる刑罰のひとつ。通常は軍事法廷によって裁定される。量刑によって異なるが、普通その裁定を下された者は、一週間分の食料と酸素ボンベを背負われ、地球の

周回軌道へ向けて軍艦のミサイル発射口などから射出される。糧食がなくならないうちに救助されればその刑は白紙となるが、一週間ともつケースはなく2〜3日で発狂、あるいは自殺するというのが結末の多くであるという。



ウィイックの街並

The background of the entire page is a detailed line drawing of a mobile suit, specifically the Zanscar Empire's "Bespa". The suit is shown from a front-three-quarter view, with its head, torso, and limbs visible. It has a complex, angular design with many joints and armor plates. The drawing is in white lines on a black background.

AN ASYMMETRY OF MS

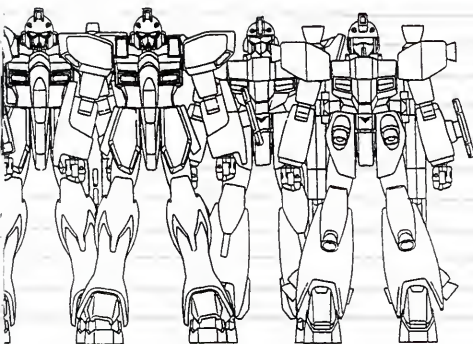
MS性能比較

ザンスカル帝国軍“ベスパ”は、武力闘争によって、宇宙時代に新たな秩序を構築せんと、新機軸のMSを数多く生み出した。その威力は既存のMSを超えていた。

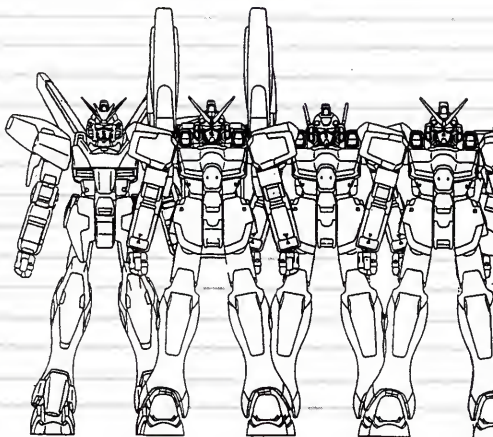
ジェネレータ	スラスタ-推力	アポジ	ハートP	武 装
4780kw	7390kg×2			バルカン砲×2
4780kw	7390kg×2		4	バルカン砲×2:ビームSa×2(2):ビームSh×2
4780kw	7390kg×2:4420kg×8		4	バルカン砲×2
4820kw	20460kg×4	29		バルカン砲×2:ビームSa×1:ビームSh×1:2連マルチランチャー×1:ビームRX1:ビームバズーカ×1
4820kw	20180kg:18630kg:15520kg×2:10870kg×2	47		バルカン砲×2:ビームSa×1:ビームSh×1:2連マルチランチャー×1:ビームRX1:ビームバズーカ×1
4780kw	7390kg×6:4420kg×8	34	8	バルカン砲×2:ビームSa×2(2):ビームSh×2:ビームRX1
4970kw	29010kg×2:4420kg×8	36	12	頭部バルカン砲×2:ビームSa×2(2):ビームSh×2:ビームRX1:バルカン砲×2:オーバーハングキャノン×2
4780kw	7390kg×6:4420kg×8	34		頭部バルカン砲×2:ビームSa×2(2):ビームSh×2:ビームRX1
7510kw	MFドライブ×2:16700kg×2:4420kg×7	42	10	頭部バルカン砲×2:ビームSa×2(2):ビームSh×2:マルチランチャー付ビームRX1
3860kw	22270kg×3			頭部バルカン砲×2:ビームSa×2:ビームSh×1:ビームRX1
3980kw	23830kg×2:21600kg×2	18		頭部バルカン砲×2:ビームSa×2:ビームSh×1:ビームRX1:ショットランサー×2

MS性能比較

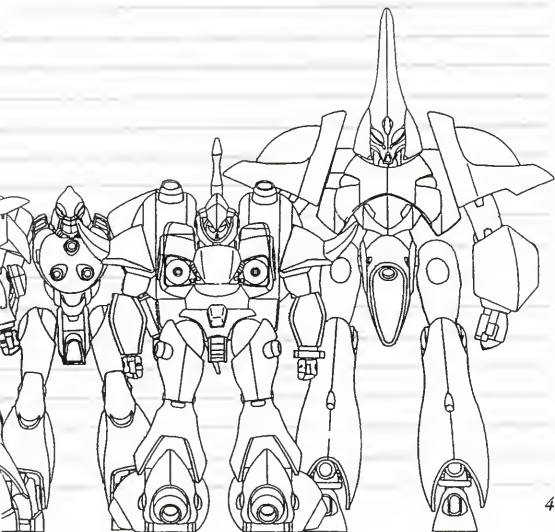
An Ability Symmetry of MS



コードNo.	名称	英字スペル	頭頂高	本体重	全備重	装甲材質
	コアファイター	CORE	8.6m			
	トップファイター	TOP	11.8m			
	ボトムファイター	BOTTOM	16.8m			
	コア・ブースター	CORE				
LM111E02	ガンイージ	GUN EZ	14.9m	7.6t	18.6t	ガンダリウム合金
LM111E03	ガンブラスター	GUNBRASTER	14.9m	7.6t	21.3t	ガンダリウム合金
LM312V04	ヴィクトリーガンダム	VICTORY	15.2m	7.6t	17.7t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
SD-VB03A	Vダッシュ・ガンダム	V DASH	15.2m	9.2t	20.8t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
LM312V06	Vガンダムヘキサ	VG HEXA	15.2m	7.6t	17.7t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
LM314V21	V2ガンダム	VICTORYTWO	15.5m	11.5t	15.9t	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
RGM-119	ジェムズガン	JAMESGUN	14.7m	7.1t	16.3t	ガンダリウム合金 セラミック複合材
RGM-122	ジャベリン	JAVELIN	14.5m	8.1t	16.5t	ガンダリウム合金 セラミック複合材



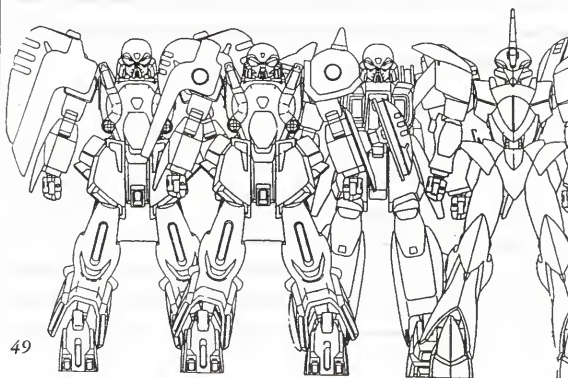
ジェネレータ	スラスタース推力	アポジ	ハードP	武 装
5440kw	60800kg×1:20170kg×1	35	2	ビームSa×2:ビームSh×1:ビームR×1
5280kw	59030kg×1:20170kg×1	39		バルカン砲×2:ビームSa×2:ビームSh×1:ビームキャノン×2: ビームR×1:5連ビームストリングス
5440kw	10630kg×2:7480kg×2	29		ビームトマホーク×2:ビームローター×1:4連マルチポッド×2: 2連マルチポッド×2:ビームR×1
7340kw	51360kg×2:24940kg×2:16570kg×2	16		ビームキャノン×1:ビームカッター×3:ビームサイス×2:ビーム カタル×2:ビームネット発生機×60
5960kw	21410kg×2:16960kg×2:8500kg×2	38		ビーム内蔵式ショットクロウ×2:胸部ビーム砲×3:ビームSa× 2:ビームSh×1
5960kw	21410kg×2:16960kg×2:8500kg×2	38		ビーム内蔵式ショットクロウ×2:胸部ビーム砲×3:ビームR× 1:ビームSa×2:ビームSh×1
4990kw	15540kg×3:7770kg×4	16		ショルダービームキャノン×2:胸部ビームガン×2:臀部ビーム ガン×2:足部ビームキャノン×2:ビームSh×1:ビームR×1
5960kw	15480kg×4:11610kg×2	22	4	ビームSa×2:ビームSh×1:ハンドビームガン×2:ビームファン ×2:ビームストリングス×3



コードNo.	名称	英字スペル	頭頂高	本体重	全備重	装甲材質
ZM-S06G	ゾリディア	ZOLLIDIA	14.7m	9.8t	20.9t	チタン合金 ネオセラミック複合材
ZM-S06S	ゾロアット	ZOLOAT	14.5m	8.2t	19.8t	チタン合金 ネオセラミック複合材
ZM-S09G	トムリアット	TOMLIAT	15.0m	8.6t	20.7t	チタン合金 ネオセラミック複合材
ZM-D11S	アビゴル	ABIGOR	22.6m	18.4t	45.3t	ハイチタン合金 セラミック複合材
ZM-S14S	コンティオ	CONTIO	16.1m	10.9t	21.8t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合材
ZMT-S14S	コンティオ	CONTIO	16.1m	10.9t	21.8t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合材
ZM-S19S	シャイターン	SHY-TARN	15.9m	11.4t	19.8t	チタン合金 ネオセラミック複合材
ZM-S22S	リグシャッコー	RIG-SHOKEW	15.1m	8.2t	18.5t	ハイチタン合金 ネオセラミック複合材

MS性能比較

An Ability Symmetry of MS



MS用語事典▼2

カサレリアーマスドライバー

ポイントカサレリア (Point Casale)
 (assault)

特別区ウィッグの近くにある不法居住者たちがすむ集落。ウツソやシャクティたちが暮らしていた場所。「カサレリア」とは不法居住者たちが勝手につけた名前で、こんにちわ、ようこそ、さようならと言った意味の南太平洋の言葉である。

旧バルセロナ (Old Barcelona)

ウツソたちがベチエンへ向かう途中に立ち寄った街。この街の人々はベスバの地球侵犯に対して反抗的であり、軍

事的には制圧できても人心は掌握できていない。そのためイエロージャケットは町の中心である広場にギロチンを置くことで人々を威圧しようとした。市街の公園には有名な建築家が設計したカテドラル風の建物があるらしい。

旧ベチエン (Old Vechen)

カミオン部隊が、リガ・ミリティアを支援するアイルランド駐留の連邦軍のゴメス大尉らと合流するため立ち寄った場所。彼らはここの飛行場でPCST所属に偽装した輸送機にMSや資材を搬入した。

バルーンダニー (Balloon Dunny) (風船)

宇宙空間において戦闘が想定される機器のほとんどに装備されるMSや宇宙艦艇、岩塊などの形状を模した風船。射出されると瞬時に展開し、

それぞれの形状になる。そして戦闘中のMSや宇宙船に近いランダムな運動を行って、敵の観測装置やパイロットの「目」を攪乱、欺瞞する。実用化はU.C.0090年代前後。U.C.0150年代のものは、強力な炸薬などが仕掛けられている場合が多く、うかつに接触するとMSの手足の一本や二本はやられてしまうほどで「武器」としてもかなり有効な装備となっている。

マスドライバー (Mass Driver)

宇宙船などを脱出速度まで加速させる大規模なリニアカ

タパルト施設。当初は物資輸送などのため月面や宇宙空間で多く使われた。後に旅客用も開発され、航宙、航空用として一般化していった。

大量の化学燃料を燃焼させて推力を得る方式は、環境保護の観点などから望ましいものではなく、特に公共企業が率先して採用している。単独で脱出速度まで加速できるものもあれば、ブースター併用の必要があるものなど、その規模は千差万別。月面などではかなり一般的な設備だが、地球上においてブースターを必要としない(単独で脱出速度まで加速できる)規模で付設されているところは少ない。



GUNDAM OFFICIAL REPORT

ガンダム・オフィシャル・レポート

宇宙世紀0153年。国際法に反して勃興したザンスカル帝国は、地球連邦からの独立を宣言した。その動きは各コロニーに波及し、宇宙はさながら戦国時代に突入した。

歴史 History U.C.0153

宇宙世紀150年代

人類が宇宙に移民するようになって、それに充分なじむ時代になっていた。

宇宙世紀は一五〇年を数え、宇宙での生活は当たり前過ぎることになっていた。宇宙で生まれ育った人々は、人工の大地で世代を重ね、地球圏は存続していた。

宇宙世紀一三〇年代に勃興したコスモバビロニアは、宇宙時代のありうべき人の形を提示し、やがて衰退した。そして人々がその動乱を忘れかけた頃、地球圏に新たな動きがあった。時代はまたしても苛酷な試練を人類に課した。

サイド2において、地球にもっとも遠いコロニー「アメリカ」に勃興したザンスカール帝国は、地球連邦政府によ

る支配からの脱却と、地球浄化の推進、人類社会のシステムの転換を主張した。

母系社会の復活を謳う「マリア主義」を掲げたザンスカール帝国は、中世の処刑器具である「ギロチン」を持ちだし「粛正」と「母の愛」を交錯させ、短期間で新たな「国家」を捏造した。

ザンスカール帝国の成立は、「ジオン」以来くすぶっていた地球連邦による支配に不満を持つコロニーに飛び火し、帝国への賛同、反発の如何を問わず、連邦からの脱却を促した。実際の現象として、いくつかのコロニーが自治を主張しだした。

連邦政府は結局、実質的にその動きを看過、あるいは黙

殺し、特に干渉も不干渉も表明はしなかった。地球連邦の組織は、宇宙世紀百年に前後して、能動的な政治組織としての機能を放棄したかのようであつた。

スペースコロニーでの生活を自明のものとしているスペースノイドたちは、コロニーでの自給自足を基盤としての独立が可能であると確信し、疑ってはいなかった。

各コロニーの独立の動きはさらに促進され、「宇宙戦国時代」とでも呼ぶべき状況が地球圏を覆っていた。

そんな中、建国宣言から数年を経たザンスカール帝国は、周辺のコロニーの平定と並行して、地球への侵攻を開始した。それはまた「新たな状況」を創出していった。

年月日

年表

1957・04	人類初の人工衛星、打ち上げ成功（ソ連）
1961・04・17	有人人工衛星成功（ソ連）
1969・07・20	アポロ11号、月面着陸成功（アメリカ）
1969	G・K・オニール博士ら、スペースコロニー構想を発表
1990 ～	世界各地で局地戦、地域紛争多発。
1999	地球連邦政府樹立。人類宇宙移民計画発表
2005	太陽発電衛星第1号機の打ち上げに成功
2009	地球連邦軍設立
2026	木星エネルギー船団、月軌道上より発進
2045	第1号コロニーの建造開始
	U・C 0001 宇宙移民開始をもって宇宙世紀に移行。地球総人口90億突破
0027	初の月面恒久都市、フォンブラウン市完成
0040	総人口の40%（約50億人）宇宙への移民を完了
0045	小惑星ユノー（ルナツー）月軌道に定着。サイド3にミノフスキー物理学学会設立
0050	総人口は110億、うち90億が宇宙に移民
0055	シャーンホルスト・ブッホ、ブッホ・ジャンク・インク創業
0058	ジョン・ズム・ダイクン、サイド3独立宣言。ジョン共和国樹立、国防隊発足
0059	サイド3に対し連邦政府による経済圧力
0060	連邦軍、60年代軍備増強計画発動（特に宇宙艦隊の統制）ルナツー軍事基地化
0062	ジョン国防隊、国軍へ昇格
0068	ジョン・ズム・ダイクン死亡（暗殺の可能性あり）次期首相はデギン・ソド・ザビ。シャーンホルスト・ブッホ、旧欧州の名家ロナ家の名を購入
0069・06・15	ジョン公国宣言。公王にデギン・ソド・ザビ。ザビ家独裁体制のため、ジョン派は追放。ミノフスキー粒子存在の実証に成功
0070・03	公国軍、ミノフスキー粒子散布による電波妨害などの特殊効果へミノフスキー効果へ確証実験に成功
0070・05	公国軍、メガ粒子砲を完成
09	連邦軍、70年代軍備増強計画によるサラミス、マゼラン級の新型宇宙艦艇就役。サイド7建設のため、ルナツーを月軌道の反対側へ移動
12	
0071	ジョン公国軍兵器開発局、ミノフスキー粒子散布下における新型兵器の開発に着手。ミノフスキー物理学応用による小型核融合炉の1号機完成
0072	ジョン公国、アステロイドベルトに小惑星基地アクシズを建設
0073	公国軍、新型兵器1号機完成。MS-01の形式番号とモビルスーツ（MS）という呼称を与えられる
0074・02	公国軍、ミノフスキー型核融合炉搭載のMS-05ザク1の試作型ロールアウト
0075・05	公国軍、MS-05ザク1の実戦型ロールアウト
07	公国軍、ムサイ級軽巡洋艦の一番艦就役。
0076	公国軍、地球侵攻作戦を前提とした局地戦用MSの開発に着手
0076・01	公国軍、ザクの強化型、MS-06ザクIIの量産開始
05	サイド7第1号コロニー、未完成ながら移民開始
10	ジョン公国、国家総動員令発令
0079・01・03	一年戦争勃発。ジョン公国、地球連邦政府に対し独立を宣言。宣戦布告と同時にサイド1、2、4へ奇襲敢行。NBC兵器無差別投入。コロニーの落下により、大規模な気象変動を惹起。（1/3～1/10までの戦闘を一週間戦争と呼ぶ。この期間の戦闘で総人口の25%に相当する30億人が死亡）
01・11	サイド6中立宣言
01・15	ルウム戦役。連邦軍宇宙艦隊敗北。公国軍は艦隊司令のレビル將軍を捕虜とする
01・31	南極条約締結
02・07	公国軍、地球侵攻作戦開始。北米、中米、東アジア、ヨーロッパの各都市に衛星軌道上から直接降下部隊を送り込む（2～3月の期間に公国軍は全大陸の3分の2を勢力下に置くが、両軍ともに戦力衰退。戦局は膠着状態に陥る）
03	公国軍、占領地域の施設を使い戦力を増強
04	連邦軍、新型MSと専用強襲母艦の開発・建造を目的としたV作戦及び衰した宇宙艦組の量産を主目的としたビンソン計画を同時に発動させる
05	宇宙要塞ソロモン完成
06	公国軍、宇宙要塞ア・バオア・クー、ソロモン、月面基地グラナダを結んだ本土防衛ライン完成。フラナガン機関設立
07	連邦軍、ビーム兵器の小型化に成功。連邦軍の新造艦ホワイベース（WB）進宙。RX-78ガンダム試作第1号機、ロールアウト
08	連邦軍製試作型MS、サイド7で最終テスト開始。北米オーガスタ連邦軍基地においてRX-78NT1開発開始
0079・08・18	公国軍特務部隊サイド7強襲。コロニー内部で史上初のMS同士の戦闘。WB、破壊を免れたMSを収容し南米のジャブロー基地に向け出航

ガンダム・オフィシャル・レポート

ザンスカール帝国

ZANSKALE

U.C.0153

ザンスカール建国

マリア・ピア・アーモニアを女王として戴くザンスカール帝国は、サイド2において地球に最も遠いコロニー「アメリア」において成立した。当時、アメリア政庁を始めとするコロニーではスペースノイドの自治権獲得運動が再燃していた。その動きに呼応して、帝国の実質的な建国者であるフォンセ・カガチは、政治的な武闘集団としてガチ党を結党した。そして、特殊な能力を持つという触れ込みで民衆の支持を得ていたマリアと、彼女の活動を支援したカガチは、彼らガチ党が武力をもって守るものは、マリアが主張する「母なる存在」であるとし、大衆の支持を獲得していった。

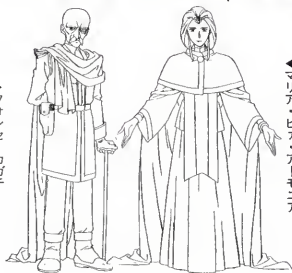
そして、その勢力が政治的に充分に大きくなったとき、アメリア政庁を中心とする贈収賄事件を契機として、その首班グループをギロチンで処刑した。民衆は、その極端な事象の変遷に衝撃を受けた。

でも、彼らは帝国の礎となるために殉じるという方便を使い、帝国の祭事的な儀式としてこの処刑を行っている。その効果は絶大であり、帝国が短期間で国家として成立することができたのも、ギロチンの威力があったからだということができる。

▲マリア・ピア・アーモニア

救済や慰謝を基調とする「マリア主義」組織を支援する政治勢力が極刑を断行し、さらに、その方法として中世の処刑用具を復活させたからである。さらにカガチは、その処刑を公開することによって、

民衆の結束と反抗勢力への恫喝を同時に成立させた。帝国では、たとえ敵であつ



▶フォンセ・カガチ

年月日

年 表

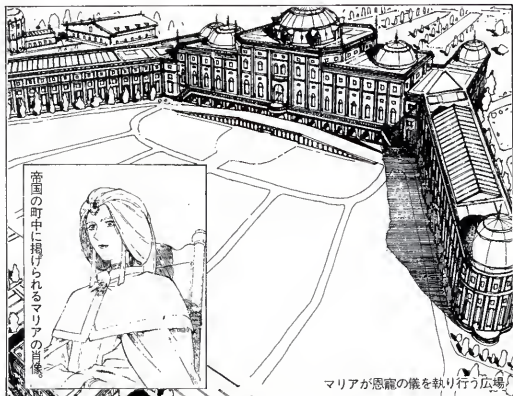
- 10 連邦軍の各工場でMSの量産開始。公国軍、対抗のため新型機を次々に実戦配備。公国軍、MS用ビームライフル実用化成功
 フラナガン機関、サイココミュニケーションシステムの試作型を開発
- 10・04 ニューヨーク市において地球攻撃軍司令官ガルマ・ザビ戦死
- 10・06 ギレン・ザビ、全地球規模の大演説を展開
- 11・07 連邦軍、オデッサ作戦始動。3日間の戦いの末、連邦軍の勝利に終わる。これによって地球上のミリタリーバランスは一変する(連邦軍、11月後半から量産型MS、RGM-79ジムの実戦配備を開始)
- 11・30 公国軍、連邦軍総司令部ジャブロー攻撃失敗。公国軍地上戦力の瓦解始まる
- 12・14 連邦軍、星1号作戦発動
- 12・05 連邦軍、アフリカ、北米で公国軍掃討戦を展開
- 12・21 公国軍特務部隊、連邦軍北極基地襲撃
- 12・24 ソロモン攻略作戦開始。公国軍敗退。宇宙攻撃軍司令官ドズル・ザビ中将戦死
- 12・30 デギン公王、ソーラ・レイ・システムにより死亡。連邦軍、レビル艦隊を喪失
- 12・31 ア・バオア・クー攻防戦。要塞内において、ギレン・ザビ総帥、キシリア・ザビ少将ともに戦死。エギーユ・デラーズ大佐、配下の艦隊を率いて戦域を脱走。ア・バオア・クー陥落。連邦軍の勝利に終わる
- 0090・01・01 一年戦争終結。月のグラナダで地球連邦軍とジオン共和国による終戦協定締結
 [一年戦争(ジオン独立戦争)] 終結
- 01 61 連邦軍、アクシズ行きを拒む公国軍残党を糾合、艦隊再編成
- 03 63 デラーズ中将、艦隊を暗礁空域に移動。繋留基地「茨の園」の設置開始。以後、対外的な活動を一時休止
- 06 66 アフリカ戦線の旧公国軍、武装解除(あくまで連邦軍の公式発表。実際に潜伏、ゲリラ化した部隊は相当数に上る)
- 0081・03・14 ブッホ・コンツェルン、利益の公共還元として職業訓練校を設立
- 03・28 公国軍残党、小惑星基地アクシズに到着
- 05・05 ドズル・ザビ夫人(ゼナ)アクシズで病死
- 08・15 デラーズ・フリート、「ジオン公国国慶節」を機にゲリラ活動開始
- 08・17 アナベル・ガトー、デラーズ・フリートに復帰。少佐に昇進
 デラーズ・フリート、アナハイムとの接触活発化
- 10・13 連邦軍再建計画が連邦議会で可決
- 10・20 連邦軍再建計画の一環としてジョン・コーウェン中将管理下、アナハイム・エレクトロニクス(以下AE)で「ガンダム開発計画」がスタートする
 デラーズ・フリート、アクシズとの共闘を確認
- 11 0082・04 連邦軍、極秘裡にニュータイプ研究機関設立
- 05 05 第一次コロニー再生計画実施。サイド4(旧称)からサイド3へ修復可能なコロニーの移送開始
- 12 0083・01 デラーズ・フリート、「茨の園」内の工場プラントでMSの開発開始
- 03 03 デラーズ・フリート、「ガンダム開発計画」察知。AEに作業員を潜入させる
- 05 05 デラーズ中将、連邦勢力の安定化を懸念し一大反抗作戦を立案。反連邦勢力との関係強化
 デラーズ・フリート、MS-21Cの生産を開始
- 07・30 「星の屑」作戦計画立案
- 08・09 アクシズの指導者マハラジャ・カーン死亡
- 08・11 ハーマン・カーン(当時16歳)ミネバ・ザビの摂政に就任。デラーズ・フリートの方針を容認、支援確約
- 09 09 アクシズ、新合金「ガンダリウム・ガンマ」の開発に成功。シーマ艦隊、ガトー少佐との軋轢でデラーズ・フリートへの参画ならず
- 08・18 AEのフォン・ブラウン工場でRX-78GP02Aロールアウト
- 08・29 同工場RX-78GP01及びFb(フルバーニアン)用機装部品ロールアウト
- 10・04 同工場RX-78GP03ロールアウト
- 10・07 アルビオン、AEのフォン・ブラウン工場でGP01、GP02Aを受領。重力下試験のためオーストラリアの連邦軍トリントン基地へ向け出航
- 10・09 ガトー少佐、アフリカに降下。地上の公国軍残党と合流
- 10・13 アルビオン、トリントン基地に到着。「星の屑」作戦発動。Mk. 82核弾頭ごとGP02Aを奪取。連邦軍の残存MS小隊がGP02Aの追撃開始
- 10・14 ガトー少佐、GP02A機載のコムサイで脱出を計るもGP01によって阻止。バニング小隊、海岸線で交戦。GP02AはU-801に回収されアフリカ方面へ脱出。GP02A奪還命令。アルビオン、アフリカへ出航
- 10・16 アルビオン、アフリカへ到着。ジオン基地の探索開始
- 0083・10・23 ガトー少佐及びGP02A、公国残党のキンバライド基地に到着。キンバライド基地欺瞞陽動作戦開始。GP02AはHLVで軌道上へ脱出。キンバライド基地降伏。デラーズ・フリートのムサイ艦隊旗艦ベール・ギュント、HLVを回収。連邦軍第一地球軌道艦隊のサミス部隊と交戦の後、行方不明
- 10・25 シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参加

マリア主義

「マリア主義」とは、ザンスカールの女王マリアが語る言葉を目指とする生活、運動、あるいは活動などを指す。それらを実行しようとする人々のことを「マリア主義者」と言う。マリア主義者は、女王マリアに絶対の忠誠を誓い、ザンスカールの国是を成し遂げるためには命もいとわない。ただし、ザンスカール帝国そのものが若い国であるため、その傾向は若年層に集中している。特に就学年齢にある学徒兵などはマリアに対する帰属心が強く、ベスパ内においても、指揮官クラスには見られないほどの心酔者が多いと言われている。マリアの語る理想は、的確に人心を掌握していると言えるだろう。

マリアが主張していることは、究極的には「母なるものを大切にすること」に尽きる。人類は宇宙にあつて特殊な存在ではなく、あくまで地球に発祥した生物のひとつであること。死に行くものであり、生きていくものであること。子は母から生まれるものであること。宇宙時代にあつても、愚かさを払拭できないでいること。それらの原理的なことを体系的に突き付けられて、人々は動揺し、あるいは感化されていった。

フォンセ・カガチは、そういったマリアのカリスマ性を利用してザンスカールを成立させた。そしてギロチンの意味を粉飾し、帝国の求心力として機能させた。



帝国の町中に掲げられるマリアの肖像

マリアが恩寵の儀を執り行う広場

▲マリアは、帝国の偶像として畏敬を集めている。

- 10・28 アナハイムの大型ドック艦ラビアンローズにおいてGP03のトライアル開始
- 10・31 ベール・ギェント、暗礁宙域「茨の園」に帰還。アルビオン、二基のサラミスと合流、暗礁宙域探索開始。リリー・マルレーン、暗礁宙域でアルビオン艦隊を迎撃。重力下装備のままのGP01大破。
- デラーズ宣言。地球全域にデラーズ・フリートの宣戦布告放送
- 11・01 第二次コロニー再生計画実施。サイド1からサイド3へ修復可能なコロニーの移送開始
- 11・02 アルビオン隊、月面都市フォン・ブラウンに到着。GP01は修理とFbタイプへの換装のためAEの工場へ搬入
- 11・03 フォン・ブラウン市の資源搬入港にデラーズ・フリートの偽装連絡艦が入港
- 11・04 AEのリバモア実験場でGP01-Fbトライアル開始。MA-06ヴァル・ヴァロの襲撃に対応してアルビオン緊急発進。GP01-Fb、ヴァル・ヴァロを撃破。アルビオン、月引力圏を離脱しソロモン海へ
- 11・05 ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に向け「茨の園」を出航。航行中のアルビオン、デラーズ・フリートの小部隊と遭遇し砲撃戦を展開
- 11・07 ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に到着、待機
- 11・08 連邦軍艦隊バーミンガムがシーマ艦隊と交戦。アルビオン、救援のためバニング小隊出動。シーマ艦隊担当戦区域へ移動。
- 11・10 デラーズ・フリート旗艦グワデン、艦隊を率いて「茨の園」を出航。アクシズ先遣隊、地球圏に帰還
- 「一年戦争」による中止以来、4年ぶりに舉行された連邦軍観艦式がデラーズ・フリートに襲撃される。GP02AはMk. 82核弾頭を使用。
- グリーン・ワイアット大尉戦死。参加艦艇の2/3が航行不能以上の損傷。GP01-FbとGP02Aが交戦し共に爆砕。シーマ艦隊、移送中の2基のコロニージャックを敢行。アルビオン、ラビアンローズに針路変更。2基のコロニーが激突。内、1基が月に落下を開始。連邦軍の残存艦艇、コンペイ島を緊急出撃。シーマ艦隊とコロニーの追撃を開始
- 11・11 デラーズ・フリート本隊、シーマ艦隊と合流。ガトー艦隊、アクシズ先遣隊と合流。アクシズ製MAノイエ・ジール供与。アルビオン、ラビアンローズに接近。連邦艦隊の先鋒部隊とノイエ・ジールが交戦。ガトー艦隊とアクシズ先遣隊、デラーズ・フリート本体と合流。
- デラーズ・フリート、月面の軌道間輸送レーザー（通称：イグニッション・レーザー）を用いてコロニーの推進剤に点火。コロニーは地球落下軌道へコースを変更。アルビオン、GP03と共に発進
- 11・12 先行したGP03、デラーズ・フリートと交戦。GP03とノイエ・ジール交戦月軌道上の連邦追撃艦隊、捕給終了。デラーズ・フリート追撃を再開。コロニー、着陸阻止境界点を突破。エイユ・デラーズ中尉、戦死。ソーラ・システム 照射。シーマ・ガラハウ中佐、戦死。ガトー少佐、コロニーの最終軌道調整を完了
- 11・13 ソーラ・システム、2回目の照射。南米ジャブロー上空をコロニーが通過。コロニー、北米大陸に到着。アクシズ先遣隊、転進。アナベル・ガトー少佐、戦死
- 11・23 一連のデラーズ紛争に絡んだ軍事裁判開始。エイパー・シナプス大佐に極刑。コウ・ウラキ少尉に懲役二年の即事判決が下る。
- 12・04 ジャミトフ・ハイマン提唱によりティターンズ結成。旧公国軍残党より活発化。AE社フォン・ブラウン支社の常務、死亡
- 0084・03・10 コロニー落下の真相とガンダム開発計画、共に公式記録より抹消。コウ・ウラキ少尉への罪状は消滅
- 05・17 連邦議会、地球圏の現状維持を発表
- 07・08 ブッホ・コンツェルンの球形コロニー完成
- 09・21 シャア・アズナブル、地球圏に帰還。非合法で連邦軍の軍籍を得る
- 0085・07・31 30パンチ事件。ティターンズがサイド1・30パンチに毒ガスを注入し住民を虐殺。反地球連邦運動（A・E・U・G）活発化
- 09・08 グリプス2、サイド7に建設される
- 0086・02・06 アクシズ、地球圏に向けて発進
- 0087・03・02 エウゴ、グリプス1より試作MS3機を強奪
- 04・29 連邦政府、木星エネルギー輸送船ジュピトリスの地球圏帰還をもって惑星開発計画の規模縮小を発表
- 05・11 エウゴ、地球連邦軍のジャブロー基地を攻撃
- 06・29 ティターンズ、ホンコン・シティを襲撃
- 0087・09・10 ティターンズ、アポロ作戦発動。フォン・ブラウン市を襲撃
- 08・17 エウゴの指導者、ブレックス・フォーラ准将暗殺
- 10・12 アクシズ、地球圏に帰還
- 11・16 エウゴ、ダカールの連邦議会を占拠。全世界にティターンズの実体を告発
- 12・07 ティターンズ、グリプス2のコロニーレーザーでサイド2・18パンチを破壊
- 12・14 ティターンズ、サイド2・21パンチを毒ガス攻撃。住民は全員死亡
- 0088・01・18 アクシズ、ゼダンの門の旧ア・バオア・クーを破壊
- 02・02 エウゴ、メールシュトローム作戦発動。艦隊戦によりグリプス2を占拠
- 02・22 エウゴ、アクシズ、ティターンズによる艦隊戦。ティターンズ敗北。コロニーレーザー破

マリア・ピア・アーモニアは、サイドー空域にあるアルバニアン政庁で生まれ育ち、いわゆるハイティーンのころ、オカルティックな能力を手に入れたとされている。それは狂信的な人々を生み出すには充分なものだったらしく、民間団体の指導者として、その頂点におさまっていた。

その力に目をつけたカガチは、彼女を説得し、半ば強制的にザンスカール帝国の象徴として女王の座に据えたのである。

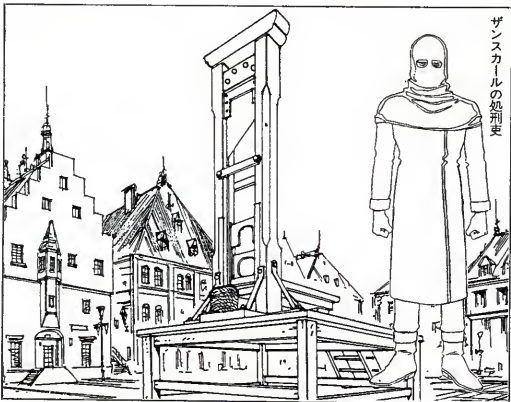
彼女の洞察力は、カガチの本質を見抜いていたが、その思惑を考慮に入れても、カガチの言い分には真実があった。また、カガチは彼なりの真意をもってマリアを必要としていた。

現状のままでは地球が死滅

する以前に人類が減ってしまうだろうこと。カガチがザンスカールを興くすことによって招かれるであろう事態は、逆に、最終的に流される血の量を少なくするだろうこと。また、そのことそのものが人にとって学習の機会となり、そういった教訓を得なければ、人類が太陽系を越えて発展することなどできないであろうこと。マリアがカガチから感じたのは、まさに人類を強制的にでも変革させようという強固な意志だった。

木星帰りのフォンセ・カガチは、五、六年に及ぶ航海の中で「地球的なもの」を廃した環境を過ごすことによって、地球的なものの矛盾と罪悪を痛感し、ザンスカール建国を思い立ったのである。

ザンスカールの処刑吏



▲ザンスカールで処刑に使われるギロチン。

	0000	01-16	エウーゴ、戦力の過半数を喪失。シャア・アズナブル行方不明
	0000	01-17	惑星ベズンにおいて、ティターンズ教導部隊の一部青年将校が反乱“ニューディサイズ”を標榜
	0000	02-24	ネオ・ジオン、各サイドに制圧部隊を派遣
	0000	03-23	連邦軍、ニューディサイズ討伐隊前衛艦隊α任務部隊を編成
	0000	03-29	ベズン、占領部隊の核爆弾により爆発。エイノー艦隊、ニューディサイズと合流
	0000	03-29	エイノー艦隊、月裏面のエアーズ市に降下
	0000	04-01	エアーズ市上空で攻防戦、FAZZ部隊全滅
	0000	04-02	エアーズ市武装解除。ニューディサイズ、ジオン残党のトワニング隊と合流
	0000	04-04	ニューディサイズ、低軌道中継ステーション、ペンタを制圧
	0000	04-05	α任務部隊、任務終了
	0000	05-06	〔グリプス戦争（ティターンズの反乱）〕終結
	0000	06-01	ネオ・ジオン、先遣部隊を地球に降下させる
	0000	06-01	ネオ・ジオンの本隊、地球侵攻
	0000	06-29	ネオ・ジオン、ダカールを占拠。旧公国軍、ティターンズ残党等を配下に治める
	0000	10-31	ネオ・ジオン、ダブリンにコロニーを落とす
	0000	11-14	連邦政府、サイド3をネオ・ジオンに譲渡。ネオ・ジオンの戦力、地球より顕著
	0000	12-25	ネオ・ジオン内でグレミー軍が謀反
	0000	01-16	アクシズ、コア3に激突
	0000	01-17	エウーゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーン戦死。ミネバ・ザビ行方不明。
	0000	03-15	〔第1次ネオ・ジオン抗争（ハマーン戦争）〕終結
	0000	05-01	木星エネルギー輸送再開。ジュピトリスII発進
	0000	05-01	連邦軍、大質量アステロイドの管理体系を再編成
	0000	06-25	連邦軍、スペースノイド寄りのコロニーに対し経済制裁等の引き締め強化
	0000	01-16	エグム、NSP等、反地球連邦組織の活動活性化
	0000	02-12	難民収容施設として、スウィート・ウォーターを改造
	0000	03-03	連邦軍、外郭新興部隊 Rond・ベル隊設立
	0000	07-15	NSPのカラード隊、サイド6、再建中のテキサスコロニーを襲撃
	0000	10-15	サイド2でアラハス隊、カラード隊と交戦
	0000	11-23	民間会社モノトーンのスタッフ、連邦軍のテストパイロットに抜擢
	0000	12-15	NSP機嫌派、アラハスと合流。ネオ・ジオンの過激派偽装運動部隊と交戦
	0000	02-06	NSP解散宣言
	0000	02-27	過激派偽装運動部隊、木星へ
	0000	03-08	連邦軍、本部をチベットのラサへ移動
	0000	12-13	ネオ・ジオン、地球連邦軍に対し攻撃を示唆
	0000	12-22	シャアを総帥とする艦艇、スウィート・ウォーターの占拠を宣言
	0000	12-25	連邦軍、Rond・ベル隊を増強
	0000	02-27	ネオ・ジオン総帥のシャア、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告
	0000	03-03	ネオ・ジオン艦隊スウィートウォーターを発進
	0000	03-04	5thルナ、連邦軍本部所在地チベットのラサに激突
	0000	03-06	ネオ・ジオン軍と連邦軍、サイド6、ロンデニオンにおいて、極秘裡に和平交渉
	0000	03-12	ネオ・ジオン艦隊、投降を偽装しアクシズを奪回。地球へ降下させるも失敗
	0000	03-12	〔第2次ネオ・ジオン抗争（アクシズ戦争、シャアの反乱）〕終結
	0000	03-12	連邦軍内の諜情報機関であった戦略戦術研究所が海軍戦略研究所（S・N・R・I）として再編
	0000	03-12	連邦軍、ジオン共和国の自治権放棄をもって、戦乱の消滅を宣言
	0000	03-12	サナリィ、連邦政府にMSの小型化を提言
	0000	03-12	反地球連邦組織「マフティー」軌道上の監視用人工衛星を破壊
	0000	04-04	地球上の連邦軍増強。地球上のマン・ハンター組織や、不法居住者摘発を強化
	0000	04-09	ミノフスキー・クラフト搭載のMSペーネロペー月面からオーストラリアに移送
	0000	04-19	マフティーを標榜する活動家によるシャトルハウゼン乗取り未遂事件
	0000	04-20	マフティー、オーストラリアのホテルを襲撃。E（クスイー）ガンダム地球へ
	0000	04-21	Eガンダムとペーネロペー、インドネシアのハルマヘラ島沖で交戦
	0000	04-26	「マフティー」オーストラリアのアデレードで行なわれる連邦の中央閣僚会議紛争を告知。
	0000	04-26	「連邦政府調査権の修正法案」破棄を要求し会議場を襲撃。会場周辺に設置されたバリアーによってEガンダム拘束。一連の反地球連邦運動の首謀者、マフティー・ナビニュー・エリン逮捕。法案は可決
	0000	04-27	第十三独立部隊、アデレートに到着
	0000	05-01	反地球連邦組織のリーダー、マフティー処刑
	0000	06-06	連邦軍、反地球連邦組織に対する弾圧強化。反地球連邦運動、表面的には鎮静化
	0000	11	AE社が連邦軍の依頼を受け小型MSの開発に着手
	0000	01-06	新規のコロニー建設再開決定。ブッホ・コンツェルン内の職業訓練校及び周辺企業の選抜メンバーによる組織が編成される。極秘裡にC・V（クロスボーン・バンガード）設立
	0000	01-06	ブッホ・エアロダイナミクス社製小型高性能MSデッサ・タイプ一号機ロールアウト
	0000	01-09	RGM-109ヘビーガン、ロール・アウト

イエロージャケット

ザンスカール帝国が擁する帝国軍は、ベスパと呼称される。それは、ベスパの前身が弾道研究と宇宙偵察部隊

(BESPA=Ballistic Equipment&Space Patrol Army)

という呼称を使っていたことによる。その組織名の頭文字が転じてラテン語のスズメバチである「ベスパ」という名が定着していった。

イエロージャケットという部隊名は、ベスパ内において兵器の実用テスト部隊に使われている名前だった。この部隊が、ザンスカールの地球進攻の尖兵となってヨーロッパ

を制圧した。これは単純に、戦線を急速に拡大させすぎたベスパの戦力不足を補うためでもあった。

イエロージャケットは、MS開発においても、当時の最

高水準の設備と人員を擁していることになる。なぜなら、この時期までMS開発を意欲的に継続していた組織は少なく、かつての海軍戦略研究所

(サナリイ=SNRI=Strategic Naval Research Institute)は、その数少ない組織のひとつだったからだ。

ベスパの前身は、

そのサナリイの一試験部隊であり、ベスパのMS開発ベースを見れば、かつての軍の外郭機関として

の技術的継承を受けていたとしても不思議ではない。

この部隊は、ベスパの地球

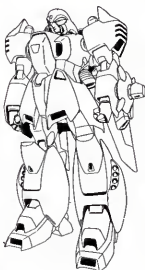
進攻の橋頭堡となり、東欧のラゲーンの民間飛行場を接収して基地として使用している。



▶ラゲーン基地指令ファラ・グリフォン



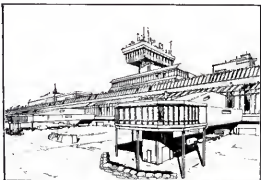
▶ZMS-07 G ゾロ



▶ZMS-09 G トムリアット



▶ZMT-14 G シャッコー



▲ラゲーン基地管制塔

年月日

年 表

- 0110・04 エンゲイスト・ロナ、コロニー公社副総裁に就任
- 0111・09 サナリィによるF90の一号機ロールアウト及び各種オプションA、D、S、M、Hが本体に先行して完成
- 10 連邦軍、次期主力MS開発を決定。サナリィのF（フォーミュラ）90シリーズがAE社のMSA-120を下し制式採用となる
- 12 フロントアサイド（旧サイド4）再建開始
- 0112・02 F90運用試験用オプションL、V、P完成
- 06 アナハイム部内で極秘裏にシルエット・フォーミュラ・プロジェクト始動
- 0113・04 ハウゼリー・ロナによる「地球保全法案、過当医療廃止法案」廃案となる
- 0115・04 F71ロールアウト
- 0116・05 ラフレシア・プロジェクト構想始動。「地球保全法案」再提出
- 07 F91ロールアウト
- 0117 ブッホコロニー、一般民間人にも解放
- 0118 ハウゼリー・ロナ暗殺
- 0119 ラフレシア・プロジェクト発動
- 0120・10・25 ジュピトリス級輸送艦「コバヤシ丸」謎のMS部隊に襲撃される
- 10・29 サイド4空域でテスト飛行中のF90の試作一機が謎のMS部隊に強奪される
- 0121・02 F90及びF91運用テストのため連邦軍巡洋艦エイブラムズに搬入
- 03 F90二号機改修完了平行してI、Lタイプオプション完成
- 0122・06 AE製のRXF91ロールアウト
- 11 ゼブラ・ゾーンにおいてシルエットフォーミュラの試験開始
- 12 F91頭部コンピュータ換装のためフロントア1に搬入
- 0123・02 RXF91、ゼブラ・ゾーンで試験稼働中にC・Vのダーク・タイガー隊と接触
- 03・16 C・Vを名乗る謎のMS部隊がフロントアサイドを襲撃。フロントアIVの住民500以上が死亡。14万人が避難
- 03・19 C・V、フロントアII、IIIを襲撃
- 03・22 C・V、フロントアII、IIIを制圧
- 03・24 サウザンズ・ジュピター地球圏に到着。艦長は協力を確約
- 03・26 C・V、フロントアIVにおいてコスモ・バビロニアを宣言
- 03・30 C・Vの鉄面、独断でフロントアにおいてバグ及びラフレシアを稼働させ、コロニーシリング内内の住民を虐殺。連邦軍のF91によって撃破。F91大破
- 03・31 C・Vのドレル大隊、ザビーネ隊など、コスモ・バビロニアへ凱旋。フロントア1からF90YクラスターガンダムがC・Vの警備隊と交戦の後、脱出
- 0140 ～ コロニー主義の台頭。自治権の確立運動再燃。各コロニーの経済格差や貿易の不均衡をめぐっての対立表面化
- 0141 マリア・ピア・アーモニア、サイド1のアルバニアンにおいて相談所を開設
- 0143 マリア、自らの考えを伝えはじめる
- 0144 マリアを信奉する集団が発足。スタッフがマリアの言葉をまとめた書籍を作成
- マリア主義の集団がアルバニアン政庁に団体結成を申請
- 0145 フォンセ・カガチがマリアに接触
- 0146 マリア主義の集団、急激的に成長
- 政治的武闘集団として政治結社ガチ党結党
- ガチ党がアメリカ政庁議会の第三勢力に
- 0147 贈収賄で起訴された首班グループを糾弾してギロチンで処刑
- ガチ党、アメリカの政権と党に
- 0148 リガ・ミリティア結成
- 0149 サイド2においてザンスカール帝国建国宣言
- リガ・ミリティア、V（ヴィクトリー）計画を発動

カイラスギリ

カイラスギリは、ベスバにおいてイエロージャケットを統括しているタシロ・ヴァゴの推進する作戦の為に建造された宇宙要塞である。

この宇宙要塞は、宇宙戦艦よりも巨大な粒子加速器二基と、長大な荷粒子砲ビッグ・キャノンによって構成され、衛星軌道上から地球の主要都市、重要な遺跡などを狙い撃ちにすることができる。効果としては、旧世紀の冷戦時代における核兵器と同様のものが見込まれていた。つまり、実際に稼働しなくとも、隠然

▲カイラスギリ司令官タシロ・ヴァゴ



とした威嚇として成立するはずのものであった。

無論、タシロ・ヴァゴの個人的な作戦のために造られたわけではなく、サイド2の統合を計るムッターマ・ズガン艦隊との連係の基に、各サイドへの強迫と、ことさらに地球連邦に対する恫喝の手段としてベスバが承認した作戦であった。単純に言ってしまうと、地球そのものを人質とするものだったのだ。

この時期、連邦政府の意志決定機関である連邦中央議会は月にあったが、基本的な体質はほとんど変わってはいなかった。連邦に所属する各政府との意見調整に手間どり、現実的な対処法は、ほとんど施されていないかったのだ。ザ

ンスカールは、連邦政府のそういう体質を見抜いており、そこに付け入る隙を見いだしていたのである。もしも、連邦がこの威嚇に屈すれば、それをもって各サイド、コロニーの政庁を取り込むことができる。逆にその要求を拒絶すれば、ビッグ・キャノンを一度使って見せて、地球を管理しているはずの連邦政府が、地球を見捨てたと喧伝するこ

ともできるのだ。そうすれば、反連邦政府勢力の統合もできるだろう。また、ザンスカールの存在と独立を地球圏全体に宣言し、そのまま地球圏を統括することも不可能ではない。さらに、ビッグ・キャノンの砲口を向けることで他のサイドを従属させることもできる。

これは戦線を拡大させ過ぎ



▲ZMS06 ソロアット

たベスバが選択した、起死回生の作戦でもあったのだ。

無論、ベスバ首脳部の思惑はそればかりではなかった。作戦が成功すれば、それはそれでいいが、万一、このカイラスギリによる作戦が失敗した場合、その責任を追及し、反主流派であるタシロを更迭することができる。フォンセ・カガチやムッターマ・ズガンは、戦時においては有能であるタシロのような戦争屋を国家の中枢として扱うつもりは毛頭無く、ザンスカール帝国の地盤が確固としたものにな

り次第、切り捨てる腹だったのだ。

タシロ自身もそのことは自覚しており、この作戦を成功させることで、ベスバ内での自分の地歩を確立し、立場を有利にするために、この作戦を強行したという事情がある。

さらに、ベスバ全体の事情としては、サイド2にある本国の安全を確保しつつ、作戦の進展も計らなければならなかったため、地球に降下した部隊との補給ラインを維持するために、地球の周回軌道上に難攻不落の要塞を建造しておきたいという意志もあった。かつてのジオン公国などの例をみても、伸び切った補給線を分断されたことで、遠征部隊の崩壊が始まったからである。加えて、ザンスカールは若い国家であるため、前線の士

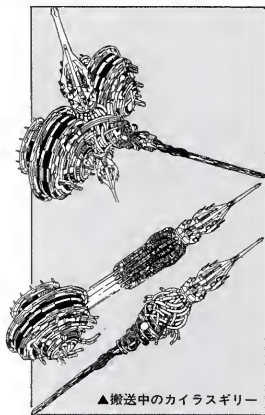
官の多くが傭兵的なものだったという事情がある。生粋の帝国軍人は、かねてよりのガチ党員以外には少なく、例えば、かつてのクロスボーンバンガードに所属していた軍人も皆無ではないらしい。国家の理想のために殉じようという者は、むしろ学徒兵に多かったという事実もある。若い士官が抜擢されることが多いのも、そういった理由によるものだろう。つまりカイラスギリリーの建造と地球軌道への定着は、連邦に対しての威嚇であると同時に、前線に展開している自軍の士官に対する恫喝でもあったらしいのだ。そういった意味でこの要塞は宇宙から地球を狙うギロチンであるとも言えるだろう。

結局、カイラスギリリーによる作戦は、リガ・ミリティア

の反抗によって瓦解した。その上、自軍に向けてビックキヤノンを撃たれるなど言語道断の失策といえる。ただし、そのことそのものは、フォンセラザンスカールの首脳陣にとっては予測された事態だったよう、その後のタシロに對する処分の迅速さなどは、逆にカイラスギリリーの失敗を画策していた節さえある。その意味でリガ・ミリティアの

作戦などは、ザンスカールの作戦の展開と符合する点が多すぎるのだが、そのような損失を出してまで一人の司令官を更迭するとも考えにくい。

あるいは、ザンスカール本国では、カイラスギリリーに替わる新たな巨大兵器が建造されているのではないかなど、様々な憶測が生まれている。



▲搬送中のカイラスギリー

ガンダム・オフィシャル・レポート

リガ・ミリティア

LEAGUE MILITAIRE (L.M.)

神聖軍事同盟

リガ・ミリティアとは、ザンスカール帝国に対する抵抗組織の名で、おおむね「神聖軍事同盟」といった意味を持っている。

指導者ジン・ジャハナムのもと、民間の有志が結成した組織だと考えられている。

ただし、Vガンダムの開発を含む「ウィクトリー計画」の推進や、その量産機ともいえるガンイージなどの生産能力を見る限りでは、かなり大きな資本なり政治勢力なりが背景にあるとみて間違いないだろう。

アナハイム・エレクトロニクスやサナリイの現状も明らかではないので、それらの企業や機関がリガ・ミリティアに援助や参画をしているかど

うかは判らない。

当初、ヨーロッパにおいて活発に活動していたカミオン部隊のリーダー、

オイ・ニュング伯爵は、Vガンダムを完成させるため移動生活を送っていた。彼もまた

リガ・ミリティアの主要人物のひとりである。現在はザンスカール帝国となっているサ

イド2のコロニー「アメリカ」の出身であると言われている。

伯爵自身は、アムロやシャアといった伝説的な英雄がいた時代を生きており、「白いMS」あるいは「ガンダム」の名が意味するものを充分以上に知っている世代だといえる。

彼は「シャアの反乱」以降に活発化したマハ（地球上の不法居住者を摘発する連邦政

府管轄の軍事組織の名）での要職にあつたといわれ、その官僚的な生活に嫌気がさし、それから逃れるため職を辞したらしい。そして、戦乱の時代となったことを憂慮しリガ・ミリティアに接触を持つようになったという。

その後、伯爵はベスバのラゲーン駐留部隊に捕えられ、ギロチンによって処刑された。それは逆に、反抗勢力の結束を固めさせる要因となった。

その後、伯爵はベスバのラゲーン駐留部隊に捕えられ、ギロチンによって処刑された。それは逆に、反抗勢力の結束を固めさせる要因となった。

その後、伯爵はベスバのラゲーン駐留部隊に捕えられ、ギロチンによって処刑された。それは逆に、反抗勢力の結束を固めさせる要因となった。



◀ オイ・ニュング伯爵



◀ ジン・ジャハナム

ジン・ジャハナムは、リガ・ミリティアの主力と目されるシュラク隊を含むVガンダムを擁する部隊と行動を共にしている。

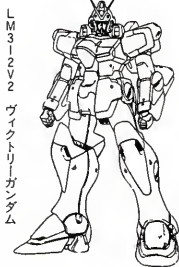
ガウンランドに乗って現れた人物はあくまでも「ジン・ジャハナムのひとり」であり、いわば、前線における影武者のような存在だと考えられる。ゲリラ組織にはよくあることで、彼自身、それを了解したうえで「ジン・ジャハナム」を名乗っているのだろうし、

各地での武器の調達や部隊の展開など、単なる民間ゲリラでは対応しきれないような大規模な武装や、一部とはいえ連邦軍の重い腰をあげさせた功績は大きい。

ことに、カイラスグリー攻略戦では、彼の調達したガウンランドが防衛隊の中央を突破し、多数の敵MSを撃沈させている。カイラスグリー艦隊のスクイードの回収とリッホースJrへの改修も、彼の尽力によるものだといわれる。

リガ・ミリティアの展開と浸透は、実質的に「Vガンダム」の登場に比例して実効のあるものとなった。この機体の持つ説得力が、その後の連邦軍の展開や、その他の部隊の参入の要因となっている。

実際には、ベスバのラゲーン侵攻が早すぎたため、当初はかなり後手に回っていたらしい。Vガンダムが、かなりの数量産されたのも、連邦軍の参画が明確でない時点での窮余の策だったという側面があるだろう。



LM312V2 ヴィクトリーガンダム



LM111E02 ガンイージ

コア・プロック・システムによる実戦データの回収と活用によって、文字どおりスクラップ&ビルドが行われ

たため、その外観以上に、機能の向上が計られている。無論それは、先行してロールアウトしていたというガンイージからのフィードバックと純粹に戦力としての拡充もあつたからだろうが、基本的にトラック一台とトレーラーで稼働可能な部隊にベスバの正規軍が翻弄されたなど、通常では考えられることではない。

孤立無援のリガ・ミリティアが、ウーイック空襲以降、ジブラルタルの攻防まで持ちこたえたのは、ひとえにVガンダムの力によるところが大きい。当然、シュラク隊の参入や、アイルランド駐留の連邦軍大尉の協力なども考えなければならぬが、それを差し引いても「ガンダム」の効果は目覚ましいものだったといえるだろう。

引越公社

引越公社とは、宇宙移民計画の進展と平行して、宇宙移民の財産を宇宙に運搬する業務を行うため設立された半民間の組織である。

アーティ・ジブラルタルに拠点を置く宇宙引越公社ヨーロッパ総局には、人造の山を造成した合間に、大規模なリアカタル施設が併設されている。このリアカタルは、当初からシャトルに増設ブースターを必要としない（シャトルなどが単独で脱出速度まで加速できる）規模のものとして建設されており、



▲マンデラ・スーン

宇宙船などを単独で脱出速度まで加速することができる。

宇宙移民は、原則的に地球人類の全てを宇宙に移民させる事を目的としており、それに付随して必要となる財産の地球からの搬送を遂行することを目的としている。

宇宙移民の際、それに要する費用は移民者にとって過剰な負担となる事が懸念され、実際、移民の検討期間中、個人での物資打ち上げは大変に高額であり、移民推進の障害となることが明白だった。そのため、その対応および助成措置として、いわゆる「宇宙への引越」が、NGO (Non-Governmental Organization ≡ 非政府組織) 活動の一環に組み入れられた。

これは、ほとんど強制的に行われた宇宙移民に対する連邦政府の保証だったといえる。地球に残された個人的な財産は、すべて持ち主のものにもどすという契約のようなものだったのだ。

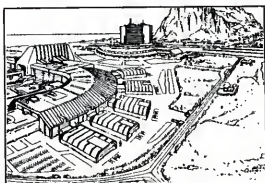
この公社は、全人類的な遺産をはじめ国家や民族、個人の占有物、建築物など、その帰属によらず「財産」の概念に相当するあらゆる物資の宇宙への搬送を業務とする。

そして、移民開始から百年を経た現在でも、地球からの物資を送り続けている。

この引越公社は、あらゆる組織の干渉を受け付けず、かつてのジオン公国でさえ接収を控えた。万一、武力制圧などが行われればコロニー公社以上に「人類」を敵に回す危険性の高い企業体だといえる。

つまり、ベスパによる制圧は前代未聞のことだった。

アーティ・ジブラルタルの引越公社ヨーロッパ総局の責任者であるマンデラ・スーンが、強硬にベスパの勧告を排除しようとしたのも、これらの歴史的背景があったからなのだとはいえるだろう。



▲アーティ・ジブラルタル

地球連邦軍

宇宙世紀一五〇年代の連邦

軍は、ザンスカールの勃興以来の動きに対して、ただちに行動することはなかった。かつてのクロスボーンバンガードによる動乱以来、連邦軍の組織は疲弊していた。

月のフォン・ブラウンに設置されている、連邦政府の意思決定機関である中央議会は、数百に及ぶスペースコロニーの各政府の徒党でもあるため、その意見のすり合わせに時間がかかるという事情もあるが、事実上、ほとんど黙認に近い。



▶ロベルト・ゴメス大尉

▲RGM-122 ジャベリン



▲RGM-119 ジェムスガン

これは、連邦軍の正式な作戦行動ではなく、ロンドンデリー独自の行動である。

同様の支援は連邦軍に登録

されていない

ずのバグレ隊や

ブラボー隊など

といった部隊に

よっても行われ

ている。それら

の部隊は、独自

に、あるいはリ

ガ・ミリティア

に参入するとい

う形で、秘密裡

に行動している。



▲リーンホース

▼ガウンランド



▼リーンホースJr

ただし、それらは明かに連邦軍所屬と判る機種や装備、武装であり、逆に、連邦の中央が意思決定の参考にしていない節があるといわれている。ことに、依然として、地球連邦軍として、中央からザンスカールに対する正式な通達はなく、事態の推移を見守るといったような性格のものだと考えられるだろう。

MS用語事典

[MS用語事典] ③

マニピュレータワイヤー・ハイルランド

マニピュレータワイヤー [Manipulator Wire]

MSの指先などから射出されるアンカー付きのワイヤーのこと。対象に応じて磁石や樹脂素材で吸着、接着する。探査端末などを備え、接触通信（お肌の触れ合い会話）や熱分布、稼働状態の探査などができる。

ムッターマ・ズガン艦隊 [Muttermama Zガン Fleet]

ザンスカール帝国の実質的な建国者であるフォンセ・カガチの盟友、ムッターマ・ズガン将軍が指揮する帝国軍の

主力宇宙艦隊。

この艦隊は本来、カイラスギリの作戦と並行して進められていたスペースコロニーの各政庁を牽制する戦略になっていた。しかし、リガ・ミリティアのリーンホース部隊、バグレ隊などによる奇襲でカイラスギリが壊滅し、地球を人質とする両面作戦の方針転換を与儀なくされたことで、サイド2および地球連邦軍の連合艦隊の追撃、掃討の任に就くこととなった。

トリモチ [Torimochi]

宇宙世紀において一般に使

われているコーキング剤一般の俗称。隔壁などが破損して施設の密閉が破られたときなど、その破損個所に充填する。宇宙で生活するものにとって、隔壁のシーリングは死活問題であり、人間が出入りする場所とは居住空間に限らずこの機器が常備されている。バルーン状のものからチューブ状のもの、あるいはMSのマニピレータなどから射出されるペレット状のものなど、バリエーションは多岐にわたる。

ことにMSに装備されるものは、敵の脱出ポッドやパイロットの捕縛などに使われる場合も多く、その用途が特徴的であったため、主にMSパイロットを中心としてトリモチと呼称されるようになった。

ハイルランド [Hailand]

静止衛星軌道上に設置され

ている太陽発電衛星のひとつ。ハイルランドは、主にアジア地区の送電に使用されていたが、地球上の電力消費量の減少に伴って数年前に閉鎖されている。ただし、施設のメインテナンスや、いつでも稼働できる状態を維持するために灯台守的な任務を担う職員が駐在している。

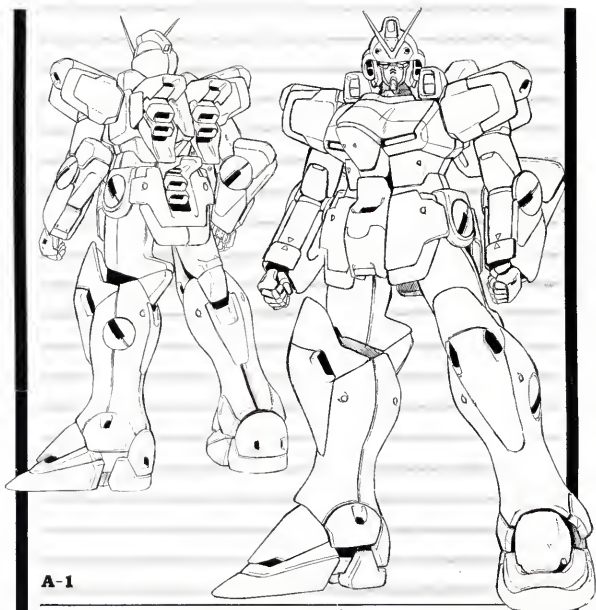
これらの発電施設は太陽電池公社によって運営されており、基本的には引越公社などと同様のNGOとして機能している。そのため、本来はあらゆる政府組織の干渉を受け付けない。

A detailed line art illustration of a Gundam mobile suit, specifically the MS-06F Zaku II, standing in a dynamic pose. The suit is shown from the front, with its head at the top, torso in the middle, and legs extending downwards. The drawing uses clean, black lines on a white background, highlighting the mechanical details and armor plates of the suit. The suit's head features a prominent V-shaped antenna. The torso is broad and rectangular, with various armor plates and joints visible. The legs are thick and sturdy, ending in large, flat feet. The overall style is reminiscent of classic Japanese anime mecha designs.

MS DESIGN COLLECTION

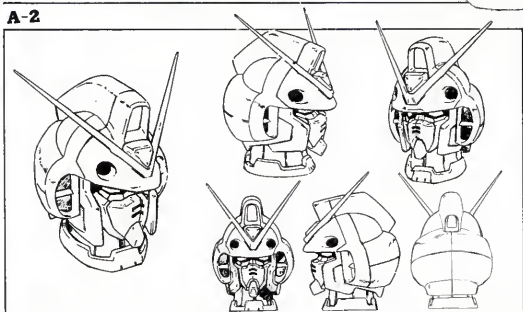
MS設定資料集

ここでは『機動戦士Vガンダム』の中盤
までに登場するメカニック、キャラクター
を網羅する。テレビ画面で見る彼らとは、
また違った魅力を再発見するだろう。



A-1

A-2



ヴィクトリーガンダム VICTORY GUNDAM LM312V04

頭頂高：15.2m 本体重量：7.6t 全備重量：17.7t 装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力：4780kW スラスター推力：7390kg×6・4420kg×8 武装：バルカン砲×2・ビームサーベル×2・ビームシールド×2・ビームライフル×1・ハードポイント×8

リガ・ミリティアが独自に作り上げたモビルスーツ。コード名として、ヴィクトリータイプと呼称される。コア・ファイター、トップリム、ボトムリムの3つのパーツによって構成され、用途や戦闘の状況に合わせ、その形態を変える。ミノフスキーフライト機能を装備し、それまでのモビルスーツと比較してもかなり高い飛行能力を有している。ヨーロッパ地区のリガミリティアの秘密工場で量産が開始されようとしていた。だが、テスト飛行の最中に、ベスバの攻撃により機体は損傷する。偶然にその戦闘に関わってしまったカサレリアの少年、ウツォ・エヴィンは、その秘めたスペシャルの能力を見込まれ、以降この機体を運用していくことになる。それは、機体の外形をかたどった「ガンダム」の伝説を体現しているようであった。

A-1 フロントビュー
リア・ビュー

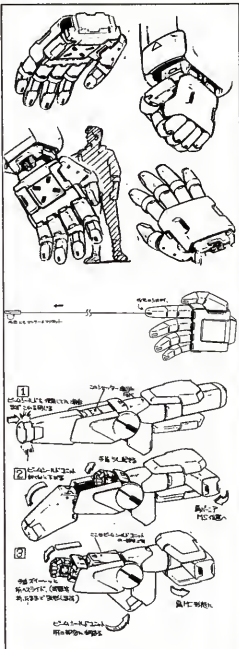
A-2 頭部

A-3 手・腕部
ワイヤー射出パターン
腕部変形パターン

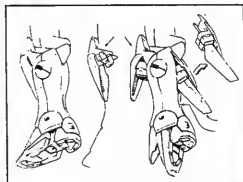
A-4 脚部
脚部変形パターン

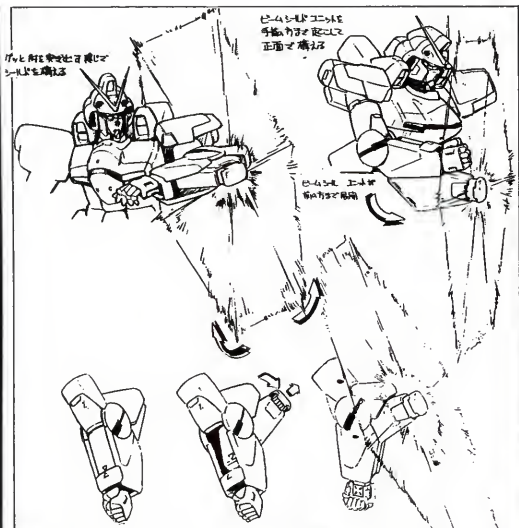
MECHANIC DATA

A-3

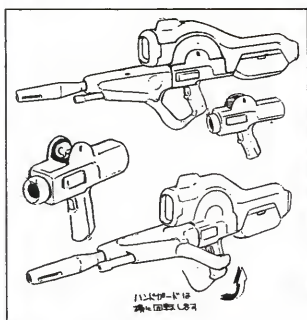


A-4

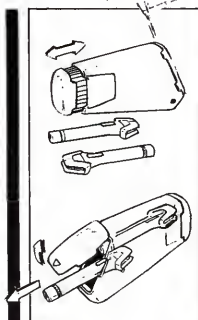




A-1



A-3



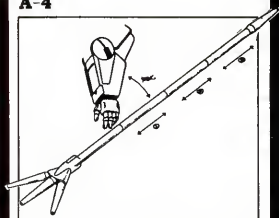
A-2

ヴィクトリーガンダム VICTORY GUNDAM

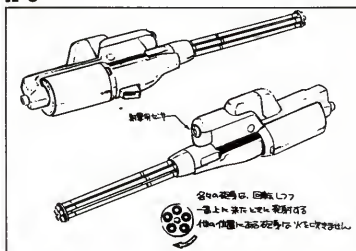
LM312V04

- A-1 ビームシールド
- A-2 ビームサーベル
- A-3 ビームライフル
ビームピストル
- A-4 八手ビームサーベル
- A-5 ガトリング砲
- A-6 コクピット

A-4

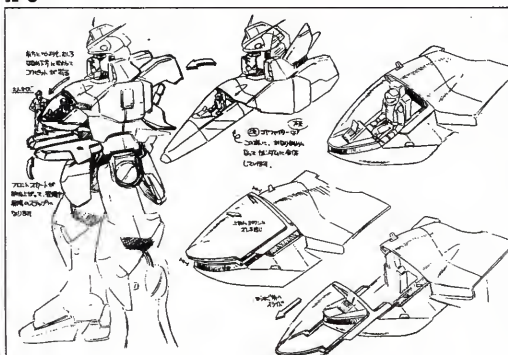


A-5

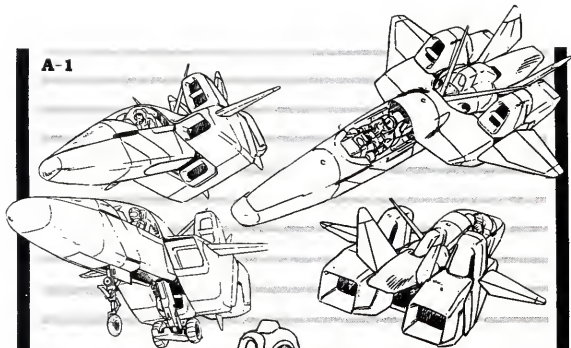


MECHANIC DATA

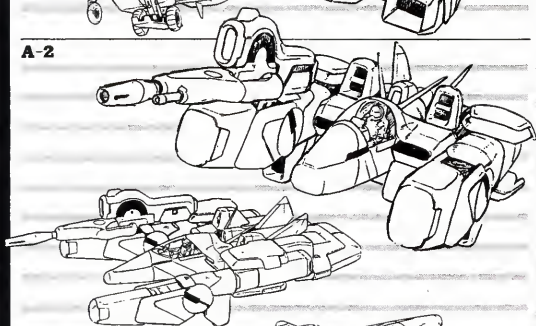
A-6



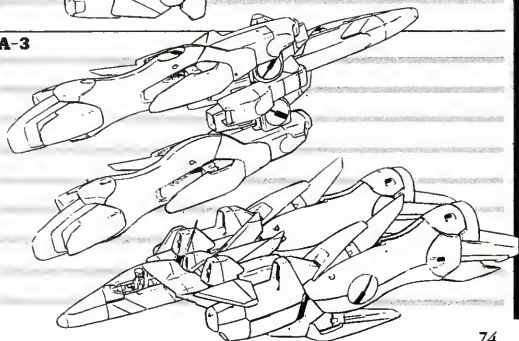
A-1



A-2



A-3



コアファイター CORE-FIGHTER

全長: 8.6m ジェネレーター出力: 4780KW
スラスター推力: 7390kg×2 武装: バルカン
砲×2

Vガンダムの中枢を形成する小型
戦闘機。変形バリエーションの全て
の中心がこの機体になる。頭部を内
蔵する形になったため、中枢として
の機能がより高められている。戦闘
能力は低めだが、飛行能力は高い。

トップファイター TOP-FIGHTER

全長: 11.8m ジェネレーター出力: 4780KW
スラスター推力: 7390kg×2 武装: バルカン
砲×2・ビームサーベル×2(2)・ビームシールド×
2・ハードポイント×4

コアファイターとトップリムによ
って形成される戦闘機。ビームライ
フルの他、ビームシールドを使える
ので、攻撃、防御両面が優れている。

ボトムファイター BOTTOM-FIGHTER

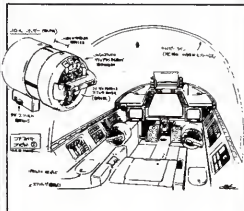
全長: 16.8m ジェネレーター出力: 4780KW
スラスター推力: 7390kg×2・4420kg×8 武装:
バルカン砲×2・ハードポイント×4

コアファイターとボトムリムによ
って構成される戦闘機。最高4基の
ビームライフルをポイントできるの
で、攻撃力に優れている。

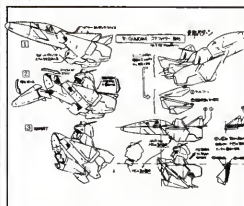
- A-1 コアファイター
- A-2 コクピット
- A-3 変形パターン
- B-1 トップファイター
- B-2 変形パターン
- C-1 ボトムファイター
- C-2 変形パターン

MECHANIC DATA

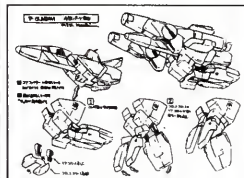
B-1



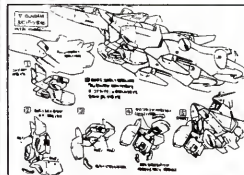
B-2



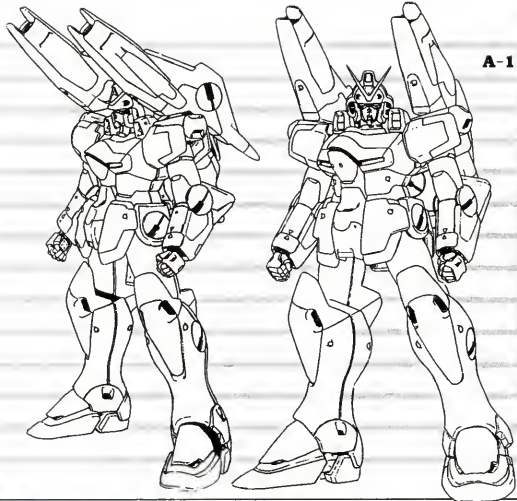
C-1



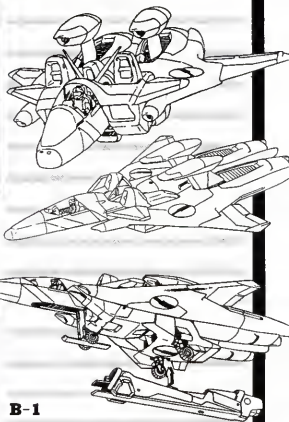
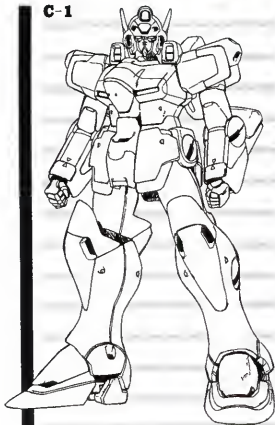
C-2



A-1



C-1



B-1

Vダッシュ・ガンダム V-DASH GUNDAM

LM312V04+SD-VB03A

頭頂高：15.2m 本体重量：9.2t 全備重量：20.8t 装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力：4970kW スラスター推力：29010kg×2・4420kg×8 アポジモーター数：36 武装：頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×2(2)・ビームシールド×2・ビームライフル×1・バルカン砲×2・オーバーハングキャノン×2・ハードポイント×12

コア・ブースター CORE-BOOSTER

SD-VB03A

全長：9.9m ジェネレーター出力：4780kW スラスター推力：23830kg×2・21600kg×1 武装：バルカン砲×2・オーバーハングキャノン×2

Vガンダムにオーバーハングキャノンを装備することによりパワーアップを計った機体。キャノンはコアファイター部に装備されるので、ファイター本体の武装も強化される。

Vガンダム・ヘキサ V-GUNDAM・HEXA

LM312V06

頭頂高：15.2m 本体重量：7.6t 全備重量：17.7t 装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力：4780kW スラスター推力：7390kg×6・4420kg×8 アポジモーター数：34 武装：頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×2(2)・ビームシールド×2・ビームライフル×1・ハードポイント×8

Vガンダムの頭部装備を交換したもの。通信機能が指揮官用にチューンされている。

A-1 Vダッシュガンダム

A-2 ビームスマートガン

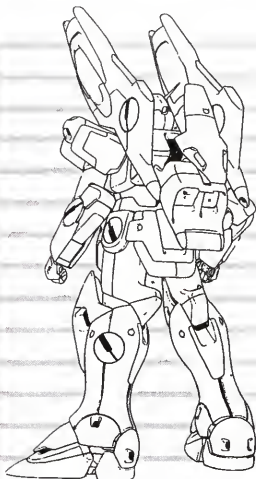
B-1 コアブースター

C-1 Vガンダム・ヘキサ

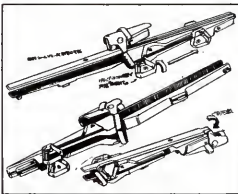
C-2 頭部

MECHANIC DATA

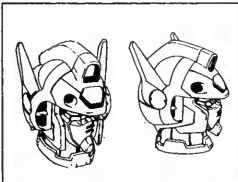
77 A:Vダッシュ・ガンダム B:コアブースター C:Vガンダム・ヘキサ

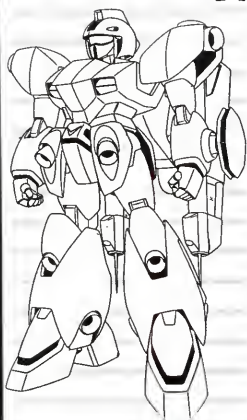
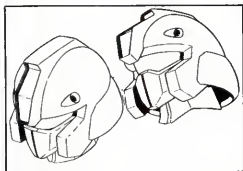
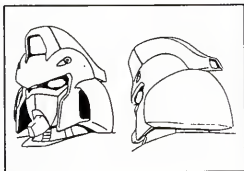
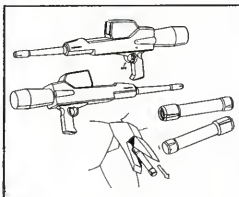
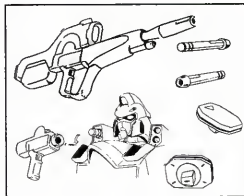


A-2



C-2



B-1**A-1****B-2****A-2****B-3****A-3**

ガンイージ GUNEZ

LM111E02

頭頂高：14.9m 本体重量：7.9t 全備重量：18.6t 装甲材質：ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材 ジェネレーター出力：4820kW スラスター推力：20460kg×4 アポジモーター数：29 武装：頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×1・ビームシールド×1・2連マルチランチャー×1・ビームライフル×1・ビームバズーカ×1

リガミリティアがVガンダムと同時期に開発していたスタンダードタイプのモビルスーツ。変形機構はないが、総合的に高い戦闘能力を持っている。シュラク隊の主力機。

ジェムズガン JAMESGUN

RGM-119

頭頂高：14.7m 本体重量：7.1t 全備重量：16.3t 装甲材質：ガンダリウム合金セラミック複合材 ジェネレーター出力：3860kW スラスター推力：22270kg×3 アポジモーター数：16 武装：頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×2・ビームシールド×1・ビームライフル×1

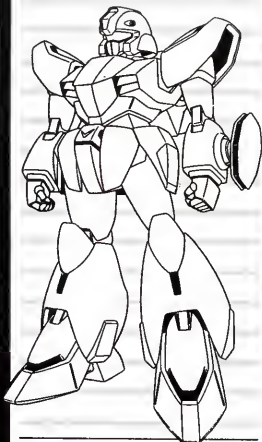
地球連邦軍の地上用主力モビルスーツ。多数配備され、軍備の要となっているが、能力的にはすでに旧式。

ジャベリン JAVELIN

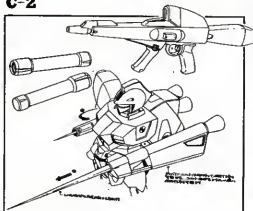
RGM-122

頭頂高：14.5m 本体重量：8.1t 全備重量：16.5t 装甲材質：ガンダリウム合金セラミック複合材 ジェネレーター出力：3980kW スラスター推力：23830kg×2・21600kg×1 アポジモーター数：18 武装：頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×2・ビームシールド×1・ビームライフル×1・ショットランサー×2

地球連邦軍の宇宙用の主力モビルスーツ。武装強化のために背部に装備したショットランサーは、換装により対艦、対MSなどに対応できるようになっている。



C-2



A-1 ガンイージ

A-2 頭部

A-3 武装

B-1 ジェムズガン

B-2 頭部

B-3 武装

C-1 ジャベリン

C-2 武装

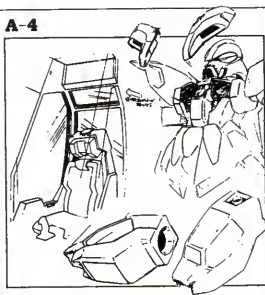
M E C H A N I C D A T A

79 A:ガンイージ B:ジェムズガン C:ジャベリン

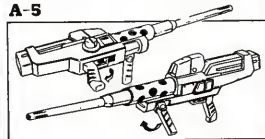


A-1

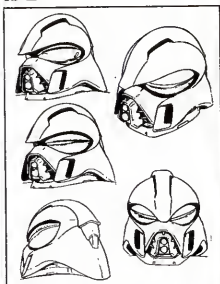
A-4



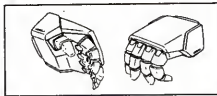
A-5



A-2



A-3



ソロ

Z O L O

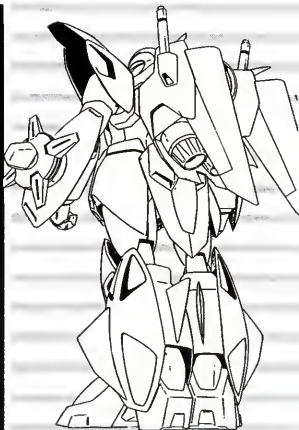
ZM-S08G

頭頂高：14.8m 本体重量：8.9t 全備重量：21.2t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5120kW スラスター推力：11890kg×2・7630kg×2 アポジモーター数：30 武装：ビームサーベル×2・ビームローター×1・バルカン砲×1(分離時のみ)・ビームライフル×1・その他携帯火器・ビームバズーカ・マルチバズーカ・ガトリングガン

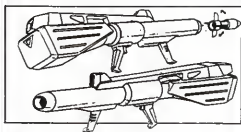
ベスバの地上用主力モビルスーツ。宇宙用主力モビルスーツであるゾロアットを地上用に換装したタイプである。トップターミナルとボトムターミナルによって構成される。上半身のトップターミナルはヘリ型メカに変形、立体的な攻撃を可能にしている。下半身のボトムリムは多数の武装を装備、誘導により地上攻撃に威力を発揮する。また、トップターミナル飛行用のビームローターはそのまま、モビルスーツ時にも飛行用として使用できる。これは、モビルスーツに革命的な飛行攻撃能力を与えた。ベスバは、このモビルスーツを大量投入し、地球攻略戦力の要とした。期待は違わず、ヨーロッパ地区はベスバの支配する区域となっている。

- A-1 ソロ
- A-2 頭部
- A-3 手部
- A-4 コクピット
- A-5 ビームライフル
- A-6 バズーカ砲
- A-7 ビーム・バズーカ砲
- A-8 ビームサーベル

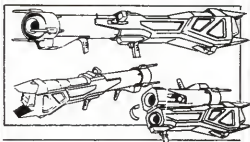
MECHANIC DATA



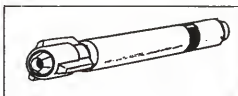
A-6

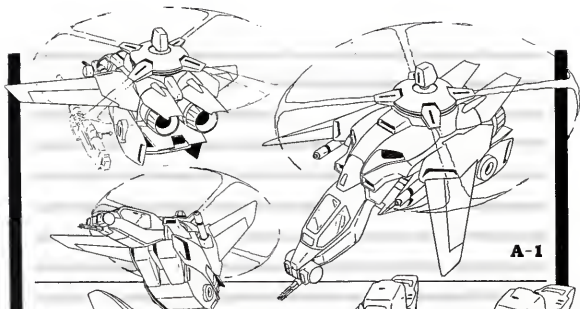


A-7

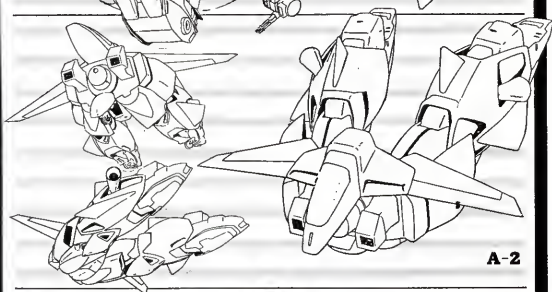


A-8



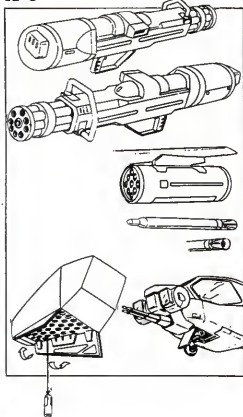


A-1

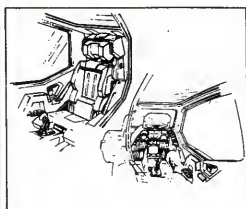


A-2

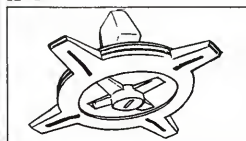
A-5



A-3



A-4

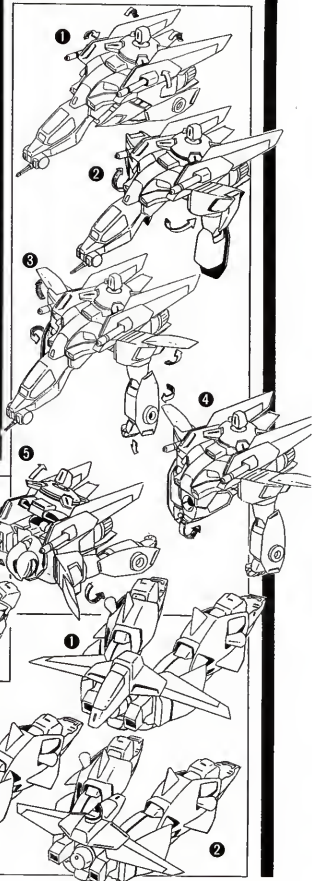


Z O L O

ZM-S08G

- A-1 トップターミナル
- A-2 ボトムターミナル
- A-3 コクピット
- A-4 ビームローター
- A-5 武装
ガトリング砲
ミサイルポッド
爆弾ポッド
機首バルカン砲
- A-6 変型パターン

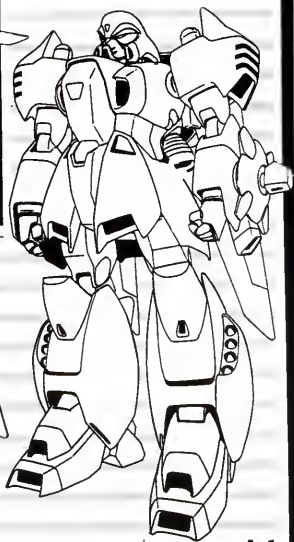
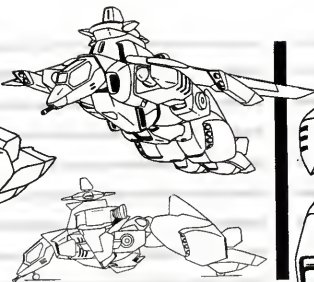
A-6



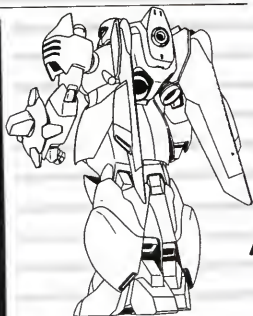
MECHANIC DATA

5 + 4





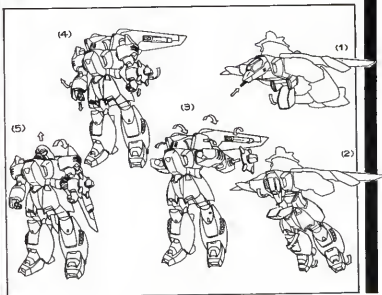
A-1



A-4



A-3



トムリアット

TOMLIAT

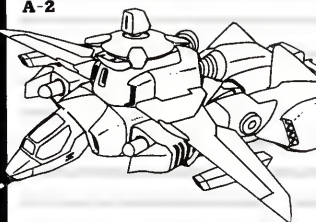
ZM-S09G

頭頂高：15.0m 本体重量：8.6t 全備重量：20.7t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5440KW
スラスター推力：10630kg×2・7840kg×2 武装：ビームトマホーク×2・ビームローター×1・4連マルチボッド×2・2連マルチボッド×2・ビームライフル×1・その他携帯火器・ビームバズーカ・マルチバズーカ・ガトリングガン

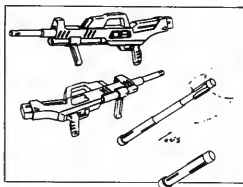
ベスバが、新開発のビームローターを装備させた第2の量産型モビルスーツである。ゾロタイプの実験強化型であり、性能的にはゾロタイプの2倍近いものを持つに至っている。また、ゾロタイプでは攻撃を受けやすく、デメリットとなっていたトップリムとボトムリムの分離方式を排し、高速で効率の良い単独での変形方式を取っている。これが、ヘリ形態とMS形態の柔軟な活用を可能にしている。そのため、地上侵攻用のモビルスーツは、このトムリアットでほぼ完成したと見る声が多い。アルペオ・ピビニーデン大尉が地上に降下する際にこの機体を持ち込み、そのまわりが・ミリティアの討伐に向かった。

- A-1 トムリアット
- A-2 ヘリコプター状態
- A-3 変形パターン
- A-4 頭部
- A-5 武装
 - ビームライフル
 - ビームトマホーク
- A-6 コクピット
- A-7 ヘリ状態コクピット

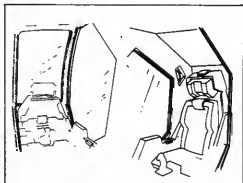
A-2



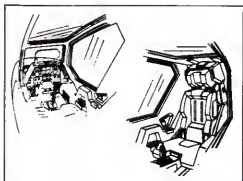
A-5



A-6

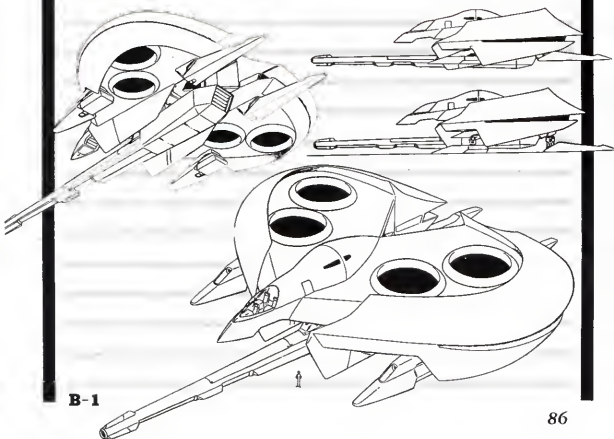
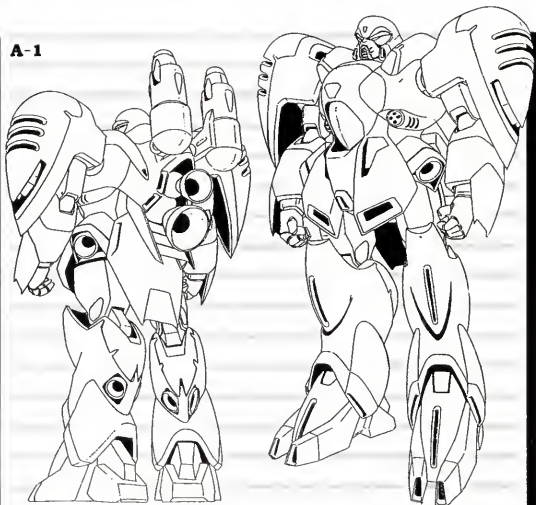


A-7



MECHANIC DATA

A-1



B-1

ソ ロ ア ッ ト ZOLOAT

ZM-S06S

全長：14.5m 本体重量：8.2t 全備重量：19.8t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5280KW スラスター推力：59030kg×1・20170kg×1 アボジモーター数：39 武装：バルカン砲×2・ビームサーベル×2・ビームシールド×1・ビームキャノン×2・ビームライフル×2・5連ビームストリングス×1

ベスバが開発した宇宙戦用汎用モビルスーツ。機動性、出力、武装などあらゆる面でバランスのとれた性能を持ち、宇宙戦力の主力となっている機体である。ゾロタイプ、トムリアットタイプの開発ベースとなっており、基本設計の確かさがうかがわれる。

リ カ ール RECARL

ZM-A05G

全長：50.6m 本体重量：29.2t 全備重量：41.5t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：4990KW×2 スラスター推力：87200kg×2 アボジモーター数：26 武装：メガ粒子砲×1・ビームキャノン×2

ベスバの大型モビルアーマー。空中での機動性は高く、大型のメガ砲を装備しているので、生半可なモビルスーツではかなわない。航続距離も長いので、士官クラスの移動用にも使用される。

A-1 ソロアット

A-2 武装

B-1 リカール

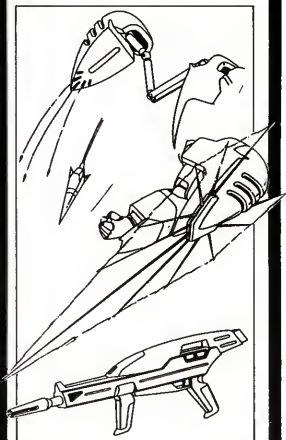
B-2 コクピット

B-3 脱出ポッド・キャビン

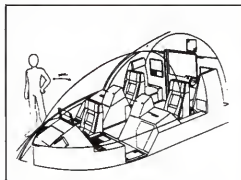
MECHANIC DATA

87 A:ゾロアット B:リカール

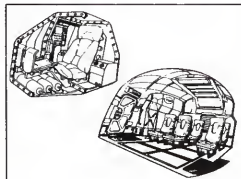
A-2

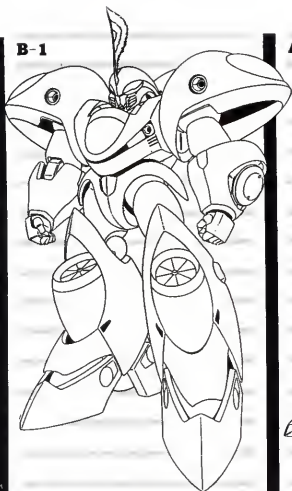
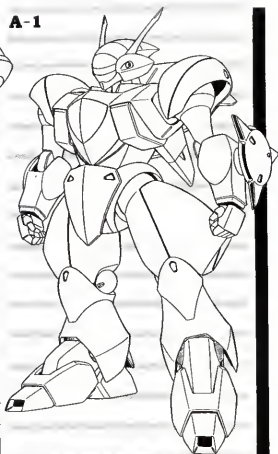
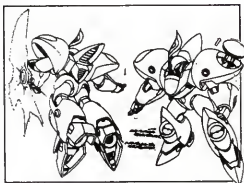
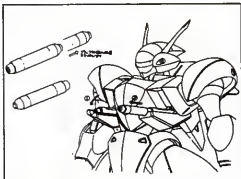
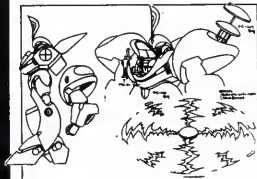
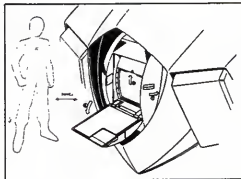


B-2



B-3



B-1**A-1****B-2****A-2****B-3****A-3**

ゴッソーラ GODZORLA

ZMT-S13G

頭頂高:14.6m 本体重量:8.1t 全備重量:20.9t 装甲材質:ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力:4990kW スラスター推力:16620kg×3 アポジモーター数:12 武装:頭部バルカン砲×2・ビームサーベル×2・ビームローター×1・9連マルチランチャー×2

ベスバの地上用試作モビルスーツ。ベスバ勢力下の地域で様々なテストが行なわれていた。特にモニター部分に他のタイプとは違う試験的な試みが施されている。

メッドドーザ MEMEDORZA

ZMT-S16G

全長:14.7m 本体重量:8.5t 全備重量:21.6t 装甲材質:ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力:5570kW×2 スラスター推力:26960kg×2・10840kg×2 アポジモーター数:6 武装:メガビームガン×2・メガマシンキャノン×2・ビームサーベル×1・ビームローター×2・ビームシールド×1・ビームライフル×1

ベスバの地上用試作モビルスーツ。両肩にビームローターを装備し、両腕を使いつつ、機動性を向上させる試みがなされている。アーティ・ジブラルタル戦以降は実戦参加はない。

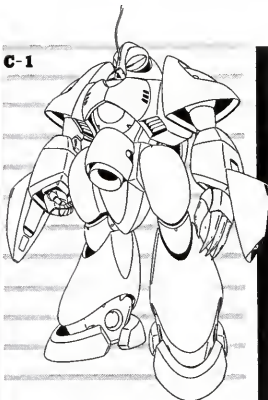
ガルグイユ GALGUYU

ZMT-D15M

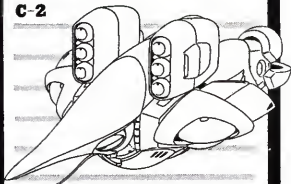
頭頂高:14.2m 本体重量:9.8t 全備重量:26.2t 装甲材質:チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力:5420kW スラスター推力:17720kg×2・12410kg×2 アポジモーター数:6 武装:内蔵式ビームガン×2・3連魚雷バッド×2・ビームサーベル×2・ビームライフル×1

水陸両用の試作モビルスーツ。変形機構を備えている。

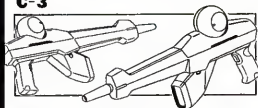
C-1



C-2



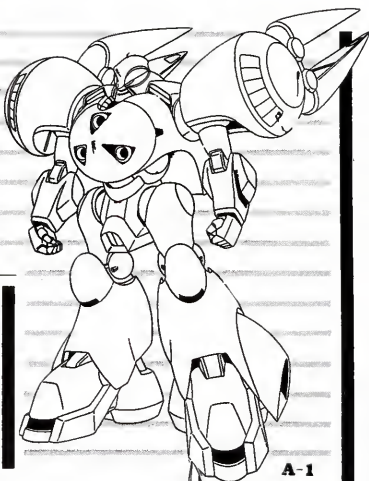
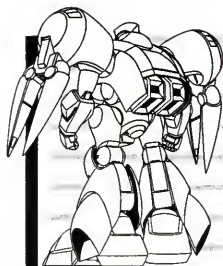
C-3



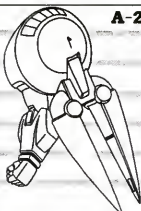
- A-1 ゴッソーラ
- A-2 ビームサーベル
- A-3 コクビット
- B-1 メッドドーザ
- B-2 ビームシールド形状
- B-3 ビームローター形状
- C-1 ガルグイユ
- C-2 モビルアーマー形態
- C-3 ビームライフル

M E C H A N I C D A T A

89 A:ゴッソーラ B:メッドドーザ C:ガルグ

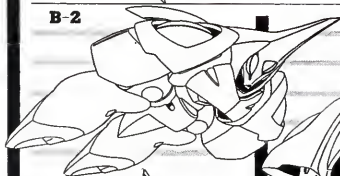


A-2

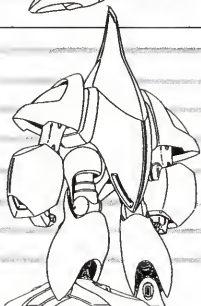
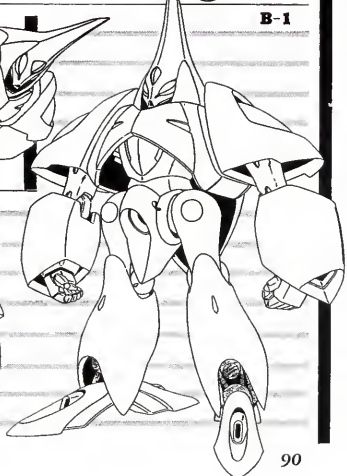


A-1

B-2



B-1



コンティオ CONTIO

ZM-S14S

頭頂高：16.1m 本体重量：10.9t 全備重量：21.8t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5960kW スラスター推力：21410kg×2・16960kg×2・8500kg×2 アポジモーター数：38 武装：ビーム内蔵式ショットクロウ×2・胸部ビーム砲×3・ビームライフル×1・ビームサーベル×2・ビームシールド×1

ベスバの宇宙用新鋭モビルスーツ。カイラスグリー戦より実戦に参加する。両肩にショットクロウを装備し、これが有線式で自在に動き敵の死角から攻撃をする。非常に能力の高い機体ではあるが、操縦者にも相応の技量を要求する。

アビゴル ABIGOR

ZM-D11S

全長：22.6m 本体重量：18.4t 全備重量：45.3t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：7340kW スラスター推力：51360kg×2・24940kg×2・16570kg×2 アポジモーター数：16 武装：ビームキャノン×1・ビームカッター×3・ビームサイス×2・ビームカッター×2・ビームネット発生機×60

ベスバは新素材のテストを兼ねてモビルアーマーを開発していた。デュアルタイプと呼ばれるMS時の圧倒的なパワーと、とMA時の高機動性を併せ持つ機体である。

A-1 コンティオ

A-2 試作タイプの腕部

A-3 武装

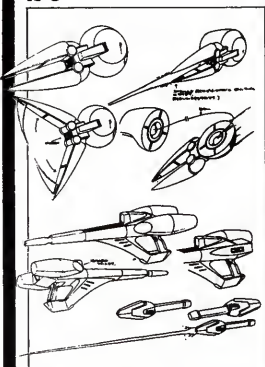
A-4 コクピットハッチ

B-1 アビゴル

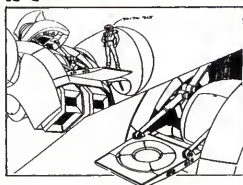
B-2 モビルアーマー形態

B-3 武装

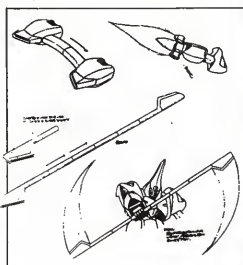
A-3



A-4

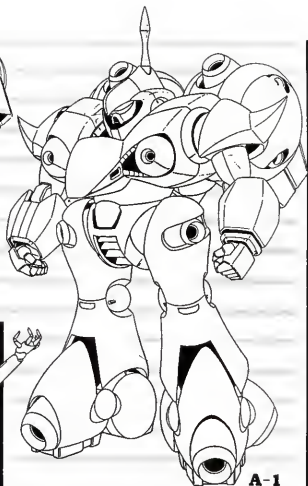
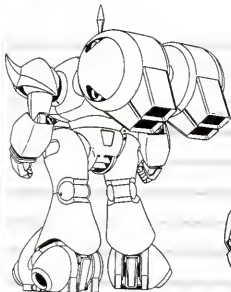


B-3

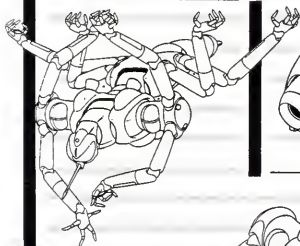


MECHANIC DATA

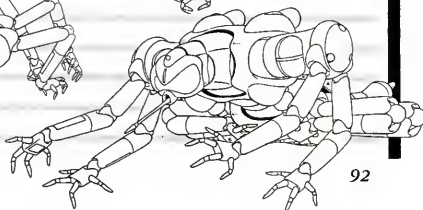
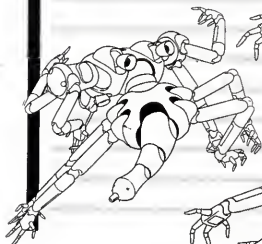
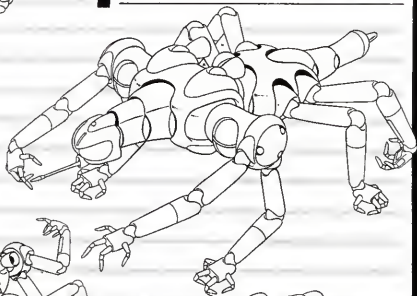
91 A:コンティオ B:アビゴル



A-1



B-1



シャイターン SHY-TARN

ZM-S19S

頭頂高：15.9m 本体重量：11.8t 全備重量：19.8t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：4990kW スラスター推力：15480kg×4・11610kg アポジモーター数：16 武装：ショルダービームキャノン×2・胸部ビームガン×2・脚部ビームガン×2・足部ビームキャノン×2・ビームシールド×1・ビームライフル×1

ベスパが首都防衛用に配備している迎撃用モビルスーツ。機体の各部に大小計8門のビーム砲を装備している。行動半径を犠牲にしても火器関係の充実を計っているが、逆にそれがこの機体の特徴になっている。全身の火器に殆ど死角はない。

サンドージュ SANDHOGE

MW544B

全長：22.7m 本体重量：29.2t 全備重量：38.5t 装甲材質：チタン合金ニューセラミック複合材 ジェネレーター出力：3880kW×2 スラスター推力：19250kg×4 アポジモーター数：16 武装：オンリーネイル・ビームストリングス

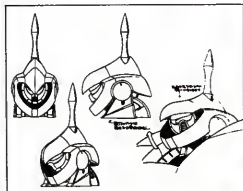
コロニー公社のひとつであるサンドージュが、自社開発したモビルワーカー。コロニー外壁での作業を得意とする。肩などにもサブコックピットがあり、数人で操作する方式をとっている。

- A-1 シャイターン
- A-2 頭部
- A-3 ビームライフル
- B-1 サンドージュ
- B-2 鉄輪・ビーム・ランチャー
- B-3 頭部・肩部コックピット

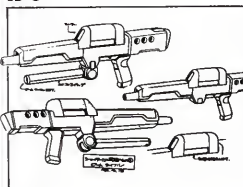
MECHANIC DATA

93 A:シャイターン B:サンドージュ

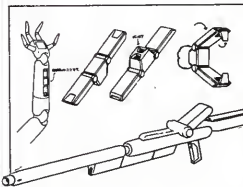
A-2



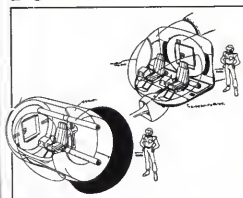
A-3



B-2

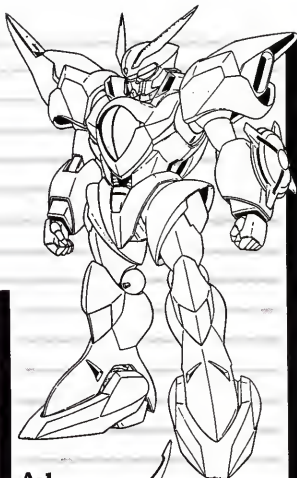


B-3



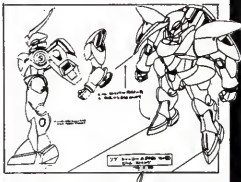


A-2

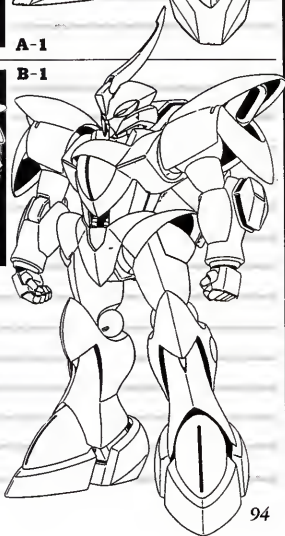


A-1

B-2



B-1



シャッコー SHOKEW

ZMT-S12G

頭頂高：14.7m 本体重量：7.9t 全備重量：19.2t 装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5190KW
スラスター推力：15490kg×2 アポジモーター数：16 武装：ビームサーベル×2・ビームローター×1・ビームライフル×1・2連ショルダービームガン×1

ベスバの地上用の試作モビルスーツ。重力下での試験のために地球に持ち込まれていた。潜在能力には高いものを持っている。

リグ・シャッコー RIG-SHOKEW

ZM-S22G

頭頂高：15.9m 本体重量：8.2t 全備重量：18.5t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5960KW
スラスター推力：15540kg×3・7770kg×4 アポジモーター数：22 武装：ビームサーベル×2・ビームライフル×1・ビームシールド×1・ハンドビームガン×2・ビームファン×2・ビームストリングス×3・ハードポイント×4

シャッコーの正式採用機。テスト機で得られたデータを元に、高性能の機体をそのまま活かした量産機となった。

- A-1** シャッコー
A-2 ローターとシールドの形状
A-3 武装
ショルダービームガン
ビームライフル
ビームサーベル
B-1 リグ・シャッコー
B-2 ビームストリングス
B-3 武装

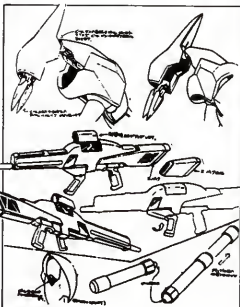
ビームガン・ビームファン
ビームサーベル
ビームライフル

AB-4 無変形MS用コクピット

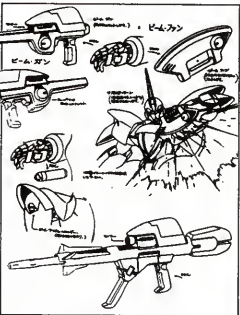
MECHANIC DATA

95 A:シャッコー B:リグ・シャッコー

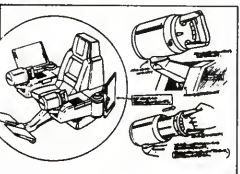
A-3



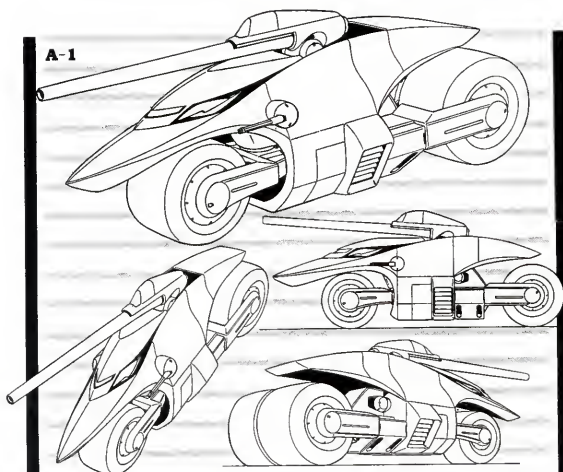
B-3



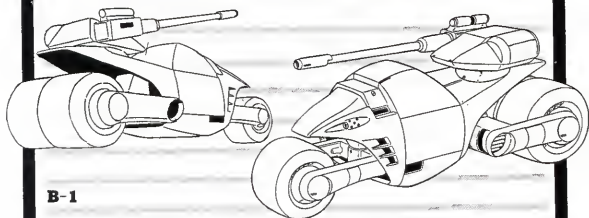
AB-4



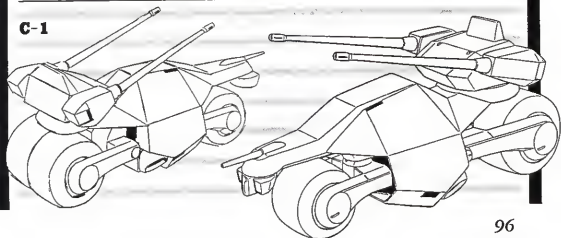
A-1



B-1



C-1



ガリクソン GALICSON ZMT-A03G

頭頂高：16.5m 本体重量：11.3t 全備重量：13.7t 装甲材質：ハイチタン合金ネオセラミック複合材 ジェネレーター出力：5420kW アポジモーター数：18 武装：ビームキャノン×1・ガトリングガン×1

ドッカー・イク率いるガッタール隊の駆る大型バイクタイプの機動兵器。車輪型ならではの独特の機動性を持って敵に襲いかかる。モトラッド艦の機構試験用として運用されていた。

ガッタール隊戦闘バイク甲タイプ BATTLE BAIK ガッタール隊戦闘バイク乙タイプ BATTLE BAIK

ガッタール隊が、ガリクソン以前に使用していたバイクタイプの機動兵器。小型ではあるが、多数を投入することによりモビルスーツにも匹敵する戦闘能力を発揮する。

ギガシィ GWIGSY

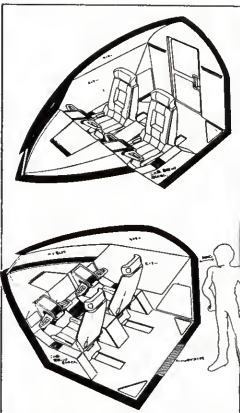
コロニー内の警備用に配置されている小型モビルスーツ。小型なのは狭い場所での運用を考えてのことである。周囲の施設の被害を拡大しないように、火器の威力は低い。

- A-1 ガリクソン
- A-2 コクビット
- B-1 戦闘バイク（甲）タイプ
- C-1 戦闘バイク（乙）タイプ
- D-1 ギガシィ

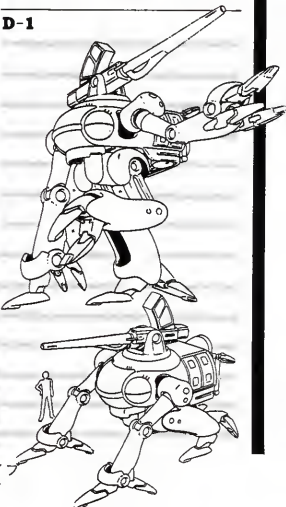
MECHANIC DATA

97 A:ガリクソン B:戦闘バイク甲タイプ
C:戦闘バイク乙タイプ D:ギガシィ

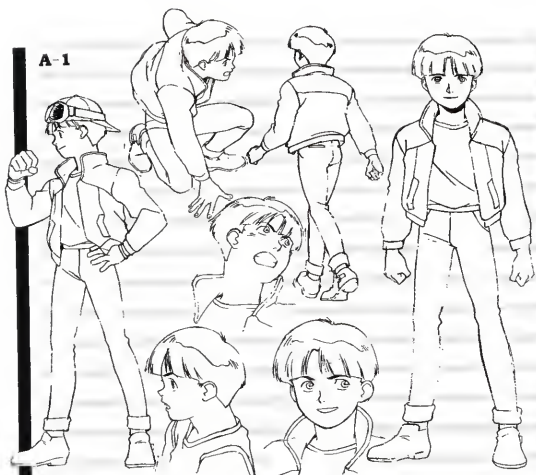
A-2



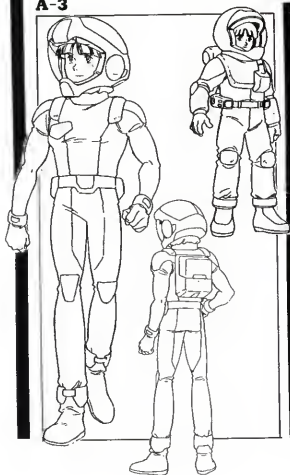
D-1



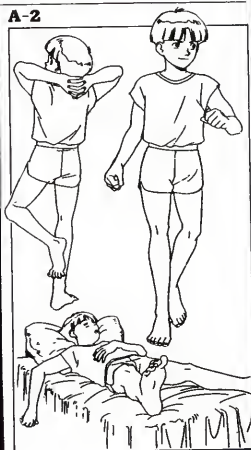
A-1



A-3



A-2



ウッソ・エヴィン USO EWIN

地球のポイントカサレリアに居を構える不法居住者の少年。両親は行方不明で、兄妹のように育ったシャクティとともに、親の帰りを待っていた。両親に幼い頃より教えを受けていたので、フィールドでのサバイバビリティは高い。パラグライダーを操る能力も高い。コアファイターとシャッコーとの戦闘に割り込んだのがきっかけで、好むと好まざるとに関わらずベスバトリガミリティアの戦いに巻き込まれていく。初めてのモビルスーツを自在に動かしたそのスペシャルとしての潜在能力を買われ、リガミリティアの新鋭モビルスーツ、ヴィクトリータイプのパイロットとなる。

ハロ

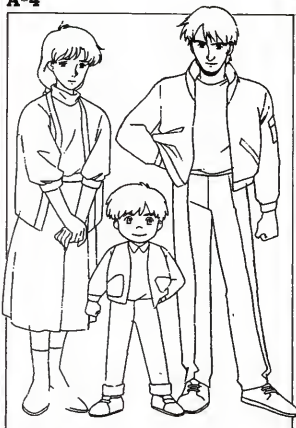
ウッソの愛用のA1モジュール。宇宙世紀80年代から、広く普及し始めたタイプだが、その頃に比べると自己判断行動能力が格段に向上している。記録した映像をバルーンに映し出す機能も持っている。

- A-1 ウッソ・エヴィン
- A-2 寝るときの服装
- A-3 ノーマルスーツ2種
- A-4 ウッソと両親
- B-1 ハロ

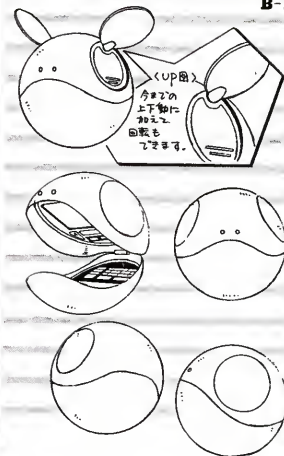
CHARACTER DATA

99 A:ウッソ・エヴィン B:ハロ

A-4



B-1



A-1



B-1



A-2



シャクティ・カリ SHAKTI KAREEN

カサレリアにウッソとともに暮らす少女。出ていってしまった母親の帰りを心待ちにしている。そのため、ウッソが戦いと関わることにより、カサレリアの地を離れることを快く思っていなかった。母への目印に常に花の種を持ち歩いている。当初は消極的だった少女も、ウッソが宇宙に出ていくことをきっかけに運命に積極的に立ち向かっていく。

カルルマン・ドゥカートゥス KARLMANN DUKARTUSE

ベスパの空襲により、孤児になってしまった赤ん坊。以後、シャクティの手により育てられことになる。

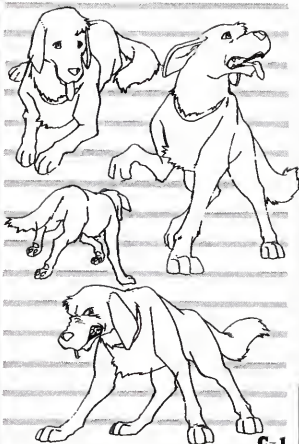
フ ラ ン ダ ー ス FRANDARS

シャクティの愛犬。忠犬ではあるのだが、思い込みが空回りしている感じである。ハロといいコンビで行動することが多い。

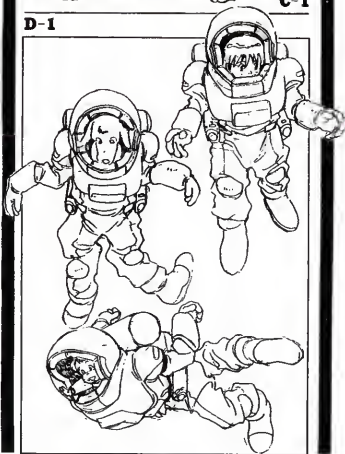
- A-1** シャクティ・カリ
A-2 新コスチューム
B-1 カルルマンと母親
C-1 フランダーズ
D-1 各ノーマルスーツ

CHARACTER DATA

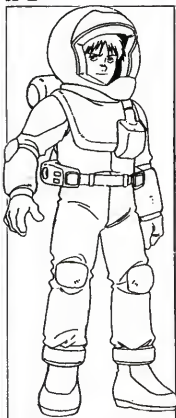
101 A:シャクティB:カルルマンC:フランダーズ



D-1

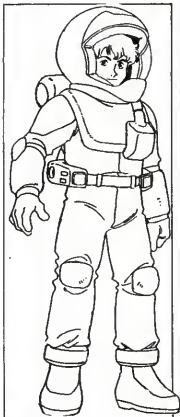


A-2



A-1

B-2



B-1



オデロ・ヘンリーク ODELO HENRIK

ウォレン、スージーたち3人グループの最年長でリーダー格の少年。言動、行動を含めてかなりお調子者の性格が強い。カサレリアでウッソと出会ってから、行動をとともにすることになる。

ウォレン・トレイス WARREN TRACE

3人グループの中で、年齢的にちょうどまんなかになる少年。オデロにくらべると、じゃっかん小心者なところがある。自分の意志で、いつでも熱を出せるという特技を持っている。

スージー・リレーン SUZY RELANE

3人グループの最年少の少女。普段は明るく快活だが、目の前でベスバのギロチンを見て以来、それが恐怖症的なトラウマになってしまっている。オデロたちを追って、シャクティとともに宇宙へ出ていくことになる。

A-1 オデロ・ヘンリーク

A-2 ノーマルスーツ

B-1 ウォレン・トレイス

B-2 ノーマルスーツ

C-1 スージー・リレーン

C-2 パンツ姿

C-3 袋を持ったスージー

CHARACTER DATA

103 A:オデロB:ウォレンC:スージー

C-1



C-3



C-2



A-1



マルチナ
クランスキー

カレル
マサリク

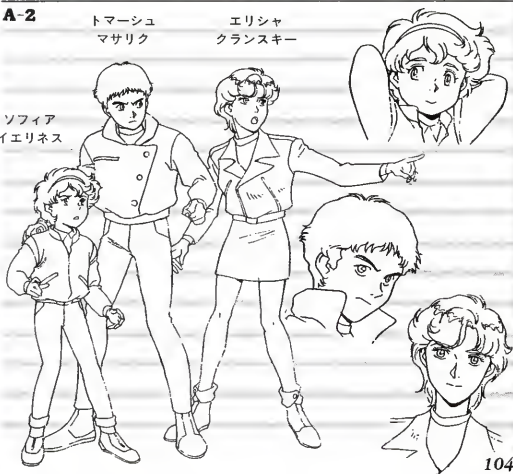
ブラスタ
イエリネス

A-2

トマーシュ
マサリク

エリシャ
クランスキー

ソフィア
イエリネス



宇宙家族の子供達 HILAND'S FAMILY

ELISCHA—KRANSKI
EMARTINA—KRANSKI
ETOMACHE—MASSARIK
KARREL—MASSARIK
SOPHIA—JELLINES
BRASTA—JELLINES

太陽電池衛星ハイランドに住む子どもたち。ハイランドを軍事利用しようとするベスパによって、人質にされる。ウッソたちによって救い出され、以後、一緒に行動するようになる。当初は、両親のもとに帰るまでの間だったが、やがてウッソたちとリガミリティアとベスパの戦いに参加していく。

クランスキー夫婦 THE KRANSIES

エリシャとマルチナの両親。

イエリネス夫婦 THE JELLINES

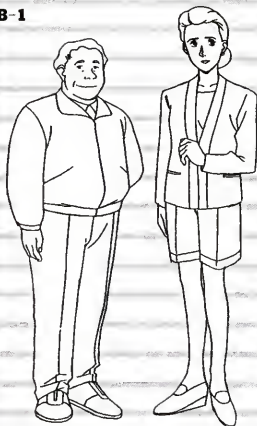
ブラスタとソフィアの両親。

- A-1** マルチナ・クランスキー
カレル・マサリク
ブラス・イエリネス
A-2 ソフィア・イエリネス
トマーシュ・マサリク
エリシャ・クランスキー
B-1 クランスキー夫妻
C-1 イエリネス夫妻

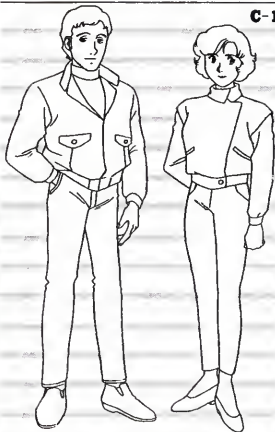
CHARACTER DATA

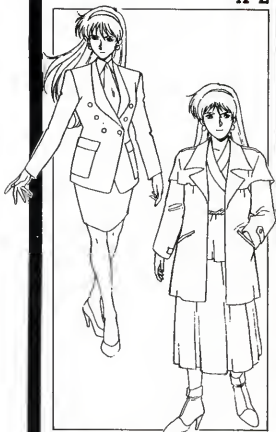
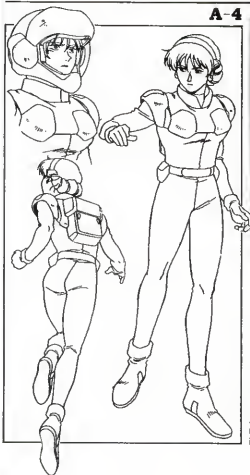
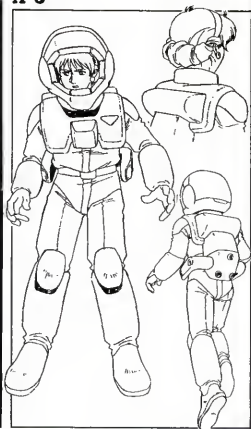
105 A:宇宙家族の子供達 B:クランスキー夫妻 C:イエリネス夫妻

B-1



C-1



A-2**A-1****A-4****A-3**

カ テ ジ ナ ・ ル ース

KATEJINA

L O O S

テングラシー・ルースの娘。ウーイッグの街でウッソと文通を行っていた少女。ベスパの空襲によってウーイッグが焼かれたさいに、クロノクルから奪ったシャッコーでかけつけたウッソに、カルルマンとともに救出された。

一時は、リガ・ミリティアのカミオンと行動をともにしていたが、潜入したクロノクルによってオイ伯爵とともに拉致されベスパの虜囚となる。その後ザンスカールのマリア主義に賛同しベスパのMSパイロットとなった。

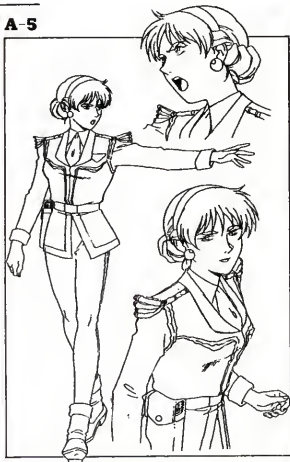
テングラシー・ルース

TENGRACEE

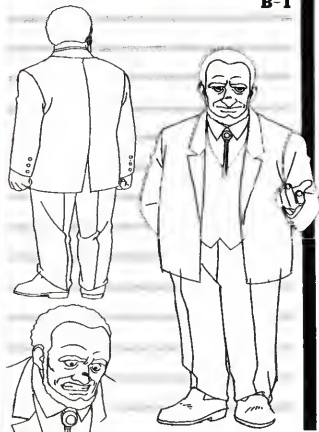
L O O S

カテジナの父親。ウーイッグの実力者でかねてからベスパとの交流を持ちたがっていた。ウーイッグ空襲後の消息は不明である。

A-5



B-1

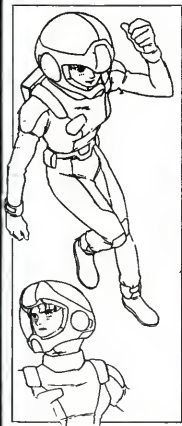


- A-1 カテジナ・ルース
 A-2 コート・スーツ姿
 A-3 ノーマルスーツ
 A-4 パイロットスーツ
 A-5 ザンスカール軍服
 B-1 テングラシー・ルース

CHARACTER DATA

107 A:カテジナ・ルース B:テングラシー・ルース

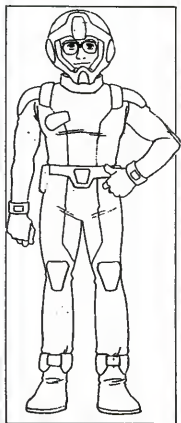
A-2



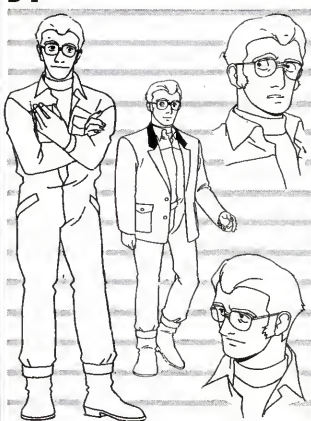
A-1



B-2



B-1



マーベット・フィンガーハット

MARBET FINGERHAT

ヴィクトリーのテストパイロットとしてカミオンに搭乗していたリガ・ミリティアのパイロット。

オリファー・イノエ OLIVER INOE

2機目のコアファイターをもってカミオンと合流したりガ・ミリティアのMSパイロット。後に戦力補強のため部下のシュラク隊を呼び寄せた。

ユカ・マイラス JUCA MEILASCH

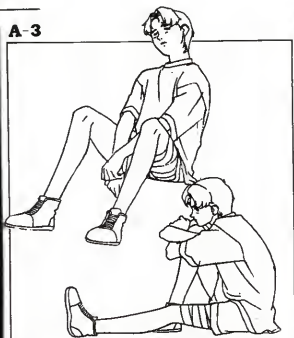
カイラス・ギリ艦隊に攻撃をかけて全滅した、リガ・ミリティアに協力する地球連邦軍の部隊、バグレ隊の生き残り。リーンホースと合流後は、人員の減ったシュラク隊に組込まれることになった。

- A-1 マーベット
- A-2 ノーマルスーツ
- A-3 Tシャツ姿
- B-1 オリファー・ノイエ
- B-2 ノーマルスーツ
- C-1 ユカ・マイラス

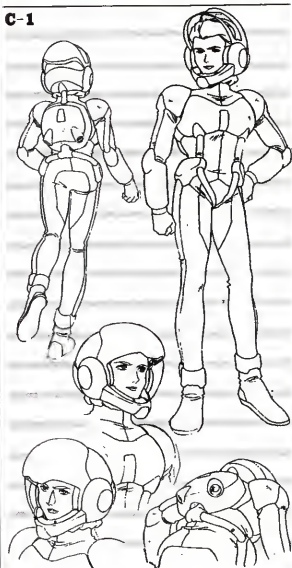
CHARACTER DATA

109 A:マーベットB:オリファーC:ユカ

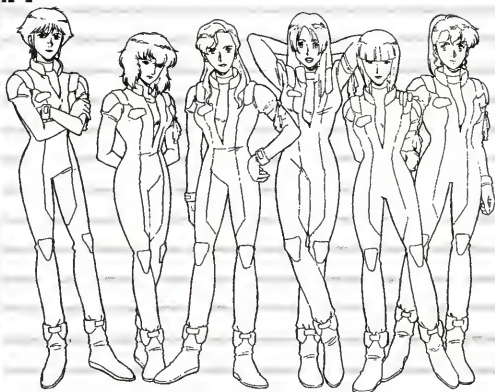
A-3



C-1



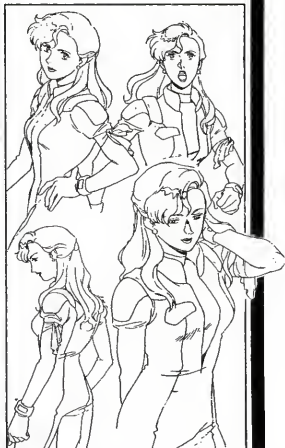
A-1



A-3



A-2



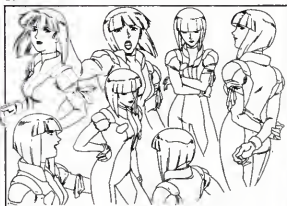
シュラク隊 SHRIKS

JUNKO—JENKO
MAHERIA—MERIL
KITE—BUSH
CONY—FRANCIS
PEGIE—LEE
HELEN—JACKSON

オリファーひきいるリガ・ミリティアの女性だけのMS部隊。リーダーのジュンコ・ジェンコ以下、ヘレン・ジャクソン、ベギー・リー、マヘリア・メルル、ケイト・ブッシュ、コニー・フランスの6人で構成されている。ウッソたちの乗るカミオンを護衛するために、6機のガンイージとともにやってきた。



A-5



A-6

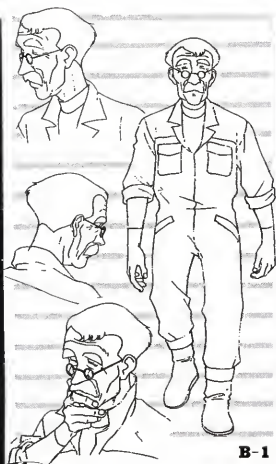


A-7



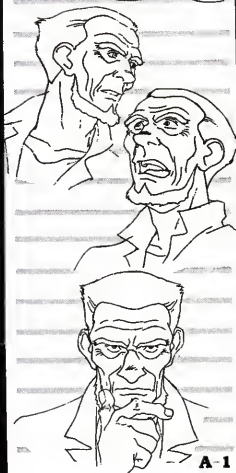
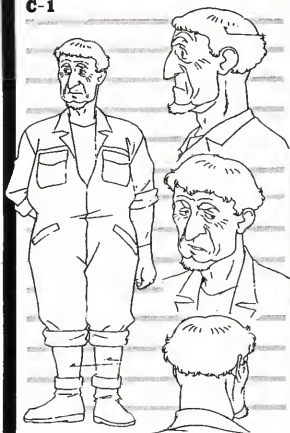
- A-1 シュラク隊
A-2 ジュンコ
A-3 マヘリア
A-4 ケイト
A-5 コニー
A-6 ベギー
A-7 ヘレン

CHARACTER DATA



B-1

C-1



A-1

オイ・ニュング OI NYNG

ザンスカール帝国が勃興したサイド2のアメリカ出身といわれている人物で、リガ・ミリティアのカミオン隊を率いるリーダー。メンバーからは“伯爵”と呼ばれている。

オーティス・アーキンス OTIS ARKINS

ヴィクトリーの秘密製造工場で働いていたメカニックマン。

レオニード・アルモドバル LEONID ALMODOVAR

オイ・ニュングを補佐するカミオン隊の主要メンバー。

ロメロ・マラベル ROMERO MARVALL

カミオン隊のメカニックマンチーフ。

エステル・チャバリ ESTER CHAVARRI

カミオン隊の女性メカニックマン。

A-1 オイ・ニュング

B-1 オーティス

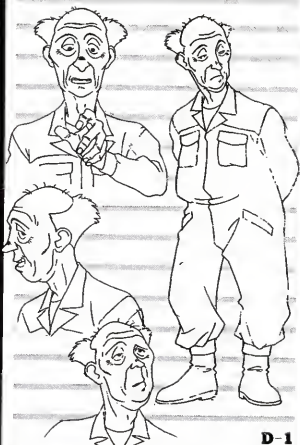
C-1 レオニード

D-1 ロメロ

E-1 エステル

CHARACTER DATA

113 A:オイ・ニュング B:オーティス C:レオニード D:ロメロ E:エステル



D-1

E-1



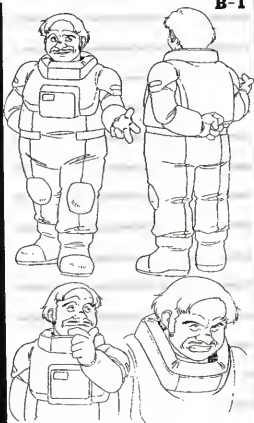
A-1



C-1



B-1



ロベルト・ゴメス ROBERT GOMES

カミオン隊輸送の任をおび
ていた連邦軍大尉。リーンホ
ースの指揮もとることになる。

ジン・ジャハナム GIN GEHENNAM

リガ・ミリティアの指導者。
そのわがままな性格は他のメ
ンバーの迷惑となる。

ストライカー・イーグル STRIKER EAGLE

ヴィクトリーのメンテナン
ス担当のメカニックマン。

クッフ・サロモン KUFFU SALOMON

ストライカーとコンビを組
むメカニックマン。

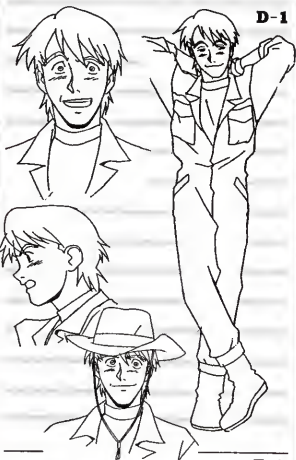
ネス・ハッシャー NESS HUSHER

ヴィクトリー担当の女性メ
カニックマン。リーンホース
ではオペレーターを担当する
ことになる。

- A-1** ゴメス
B-1 ジン
C-1 ストライカー
D-1 クッフ
E-1 ネス

CHARACTER DATA

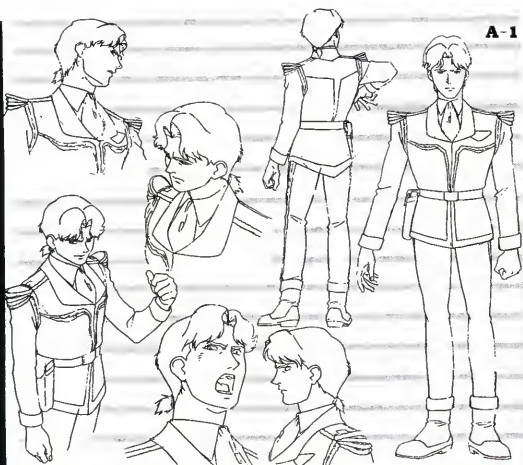
D-1



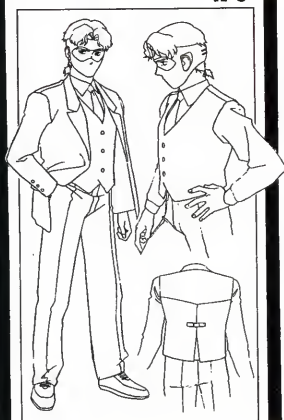
E-1



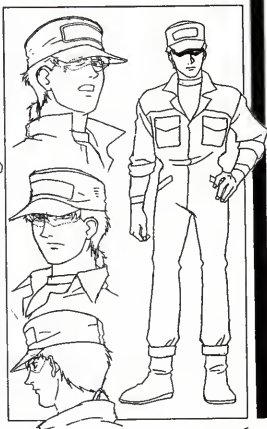
A-1



A-3



A-2



クロノクル・アシャー CRONICLE ASHER

ザンスカール帝国軍ベスバのイエロージャケットに所属する中尉の階級にある青年士官。

帝国の象徴である女王マリアの実弟であるが、政権を握るガチ党党首フォンセ・カガチにうとんじられ、最前線にMSパイロットとして送り込まれた。

ラゲーン基地で試作MSシャッコーのテスト中にリガ・ミリティアと接触、戦闘に突入したが、試作機を敵に奪われるという醜態を演じ、基地指令ファラ・グリフォンや副官ゲトル・デブレに負い目を作ってしまう。しかし、単身乗り込んだリガ・ミリティアのアジトでカミオン隊のリーダー、オイ・ニュングを拉致するという功績をたてた。

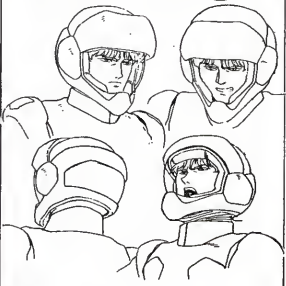
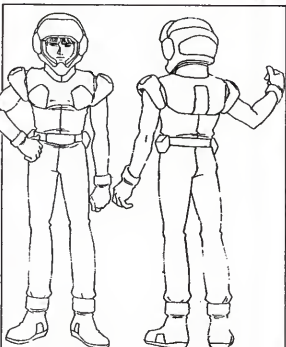
醜態を演じたが、MSパイロットとしては確かな腕を持っている。

生粋なスペースノイドで、地上のホコリを極端に嫌い、ねにマスクを着用している。

A-4

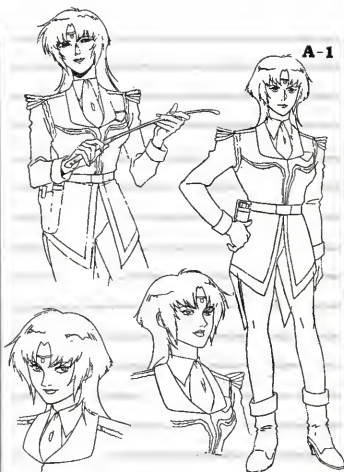
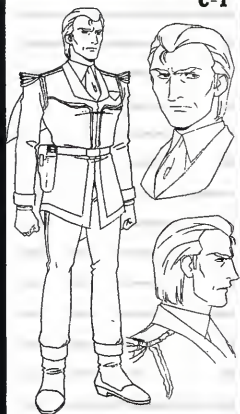
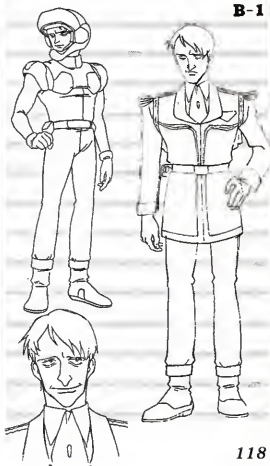


A-5



- A-1 クロノクル
- A-2 潜入時の作業服
- A-3 私服
- A-4 マスク
- A-5 ノーマルスーツ

CHARACTER DATA

A-2**A-1****C-1****B-1**

ファラ・グリフォン FUALA GLIFON

ベスバの地球侵攻の拠点である、ヨーロッパのラゲーン基地指令。地球上でザンスカールの“ギロチン”を敢行している張本人である。

また、自らもMAリカールに乗り込み戦闘へも参加している。

ゲトル・デブレ GETTLE DUPRE

ラゲーン基地副指令官。ヴィクトリー奪取のため自ら出撃するが、シュラク隊の反撃の前に戦死した。

タシロ・ヴァゴ TASSILO WAGO

衛星軌道上から地球を攻撃する兵器“カイラス・ギリ”建造の指揮をとっていた人物。

ムッターマ・ズガン MUTTERMA SUGAN

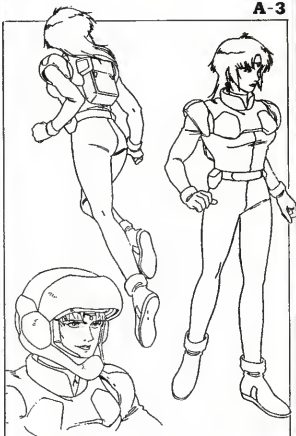
ザンスカール軍の主力艦隊を率いるフォンセ・カガチの盟友。ザンスカール帝国建国に貢献した人物。

- A-1 ファラ・グリフォン
A-2 私服
A-3 パイロットスーツ
B-1 ゲトル・デブレ
C-1 タシロ・ヴァゴ
D-1 ムッターマ・ズガン

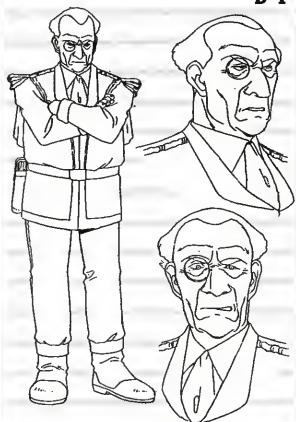
CHARACTER DATA

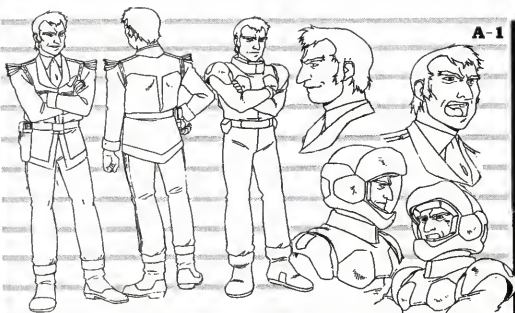
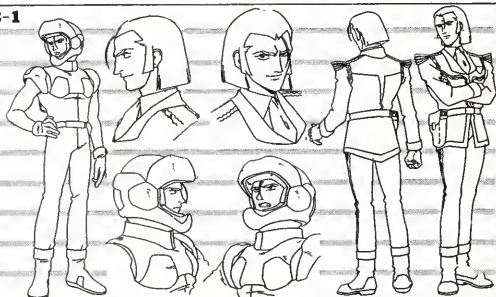
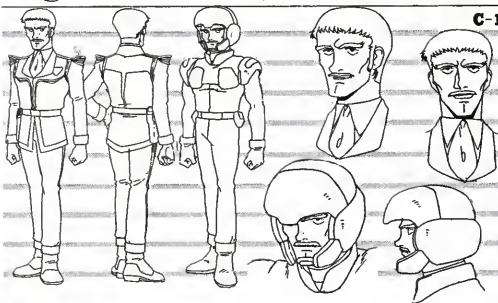
119 A:ファラB:ゲトルC:タシロD:ムッターマ

A-3



D-1



A-1**B-1****C-1**

ゴッドワルド・ハイン GODWALD HEIN

ベスバ生粋のMSパイロット。
“人喰い虎”と恐れられている。
ウツソと出会い、パイ
ロットの精神を教えるが、や
がて宿命の戦いを展開する。

アルベオ・ビビニーデン ARBEO PIPPINIDEN

新型MSトムリアットとど
もにラゲーン基地に降りてき
たベスバの精鋭。クロノクル
の先輩にあたる人物。

ドゥカー・イク DUKER IQ

「バイク乗りの魂」を持つ
ザンスカールの軍人。バイク
兵器を使ったガッダール隊を
組織し、モトラッド艦隊の構
想提唱者でもあった。

フォンセ・カガチ FONSE KAQATIE

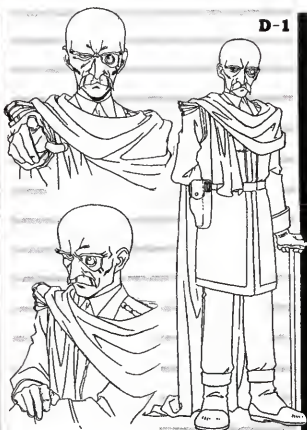
ザンスカール帝国の実権を
握っている組織、“ガチ党”の
党首。ザンスカール帝国建国
の中心人物。

- A-1** ゴットワイルド
B-1 ビビニーデン
C-1 ドゥカー・イク
D-1 フォンセ・カガチ
E-1 ガチ党员と儀杖兵

CHARACTER DATA

121 A:ゴットワイルド B:ビビニーデン C:イク D:カガチ E:ガチ党员

D-1



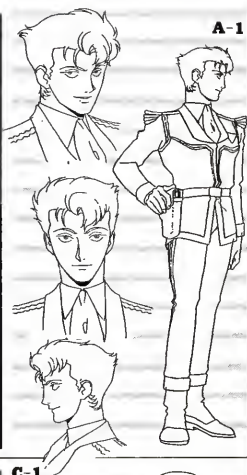
E-1



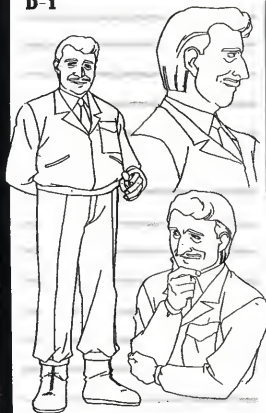
B-1



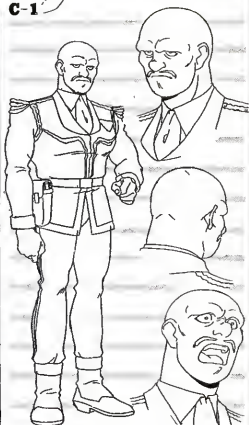
A-1



D-1



C-1



メッチェ・ルーベンス METCHET RUBENCE

ファラ・グリフォンとともにMAリコールに乗り込み、ウッソたちリガ・ミリティアの部隊を襲った軍人。最後はリコールと運命をともにした。

ルベ・シノ REPET CINEAU

ビビニーデンの部下のMSパイロット。かなりきつい性格をしている。のちにベスバに身を投じたカテジナの教官の任についた。

ワタリー・ギラ WATARIE GILLA

MSゾロの戦闘中隊を率いるベスバのベテランパイロット。ウッソとの戦闘で壮絶な死を遂げた。

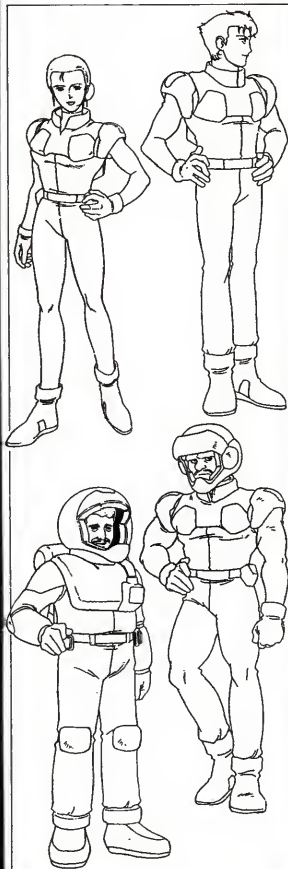
スブロク・シモネフ ZBROCK SIMONEFF

サイド2のモビルワーカー製造会社の重役。サンドージュを軍に売り込もうとする。

- A-1** ルーベンス
B-1 ルベ・シノ
C-1 ワタリー・ギラ
D-1 スブロク・シモネフ
E-1 各ノーマルスーツ

CHARACTER DATA

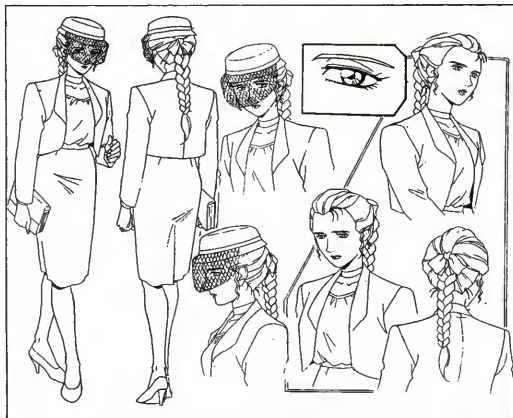
123 A:ルーベンス B:ルベ・シノ C:ワタリー D:シモネフ



A-1



A-2



マリア・ピア・アーモニア MARIA PURE ARMONIA

A-3

ザンスカール帝国の女王。
母なるものの復権を主張する
マリア主義の提唱者。

サイド1のアルバニアン政
庁において、民間の小さな組
織のリーダーにおさまってい
たところをフォンセ・カガチ
によって見出されて、ザンス
カールの女王にまつりあげら
れた。

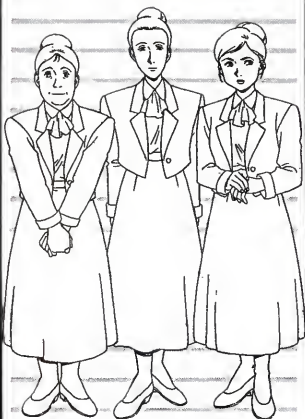
予知や治癒などの超常能力
を持っているとされ、帝国の
国民からは畏敬の対称とされ
ている。

このマリアの力を使ってカ
ガチはザンスカール帝国の人
心を掌握し、軍組織を統合す
る手段とする。ザンスカール
がはやくに帝国としての形態
をうちたてられたのは、象徴
であるマリアの力によるとこ
ろが大きい。

マリアには若い頃に生んだ
娘がいたが、今は生き別れに
なっている。実はこの娘こそ
シャクティであった。ザンス
カール帝国でふたりは再会す
るが……。



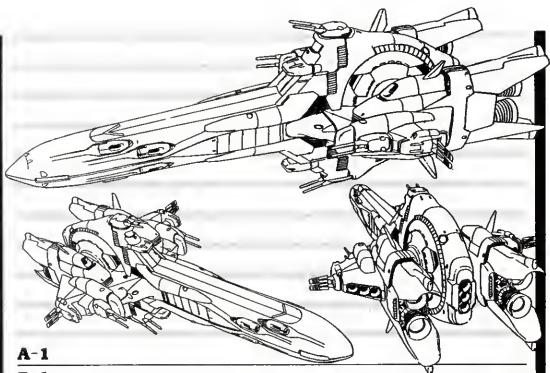
B-1



- A-1 マリア
- A-2 お忍び姿
- A-3 肖像画
- B-1 宮殿の侍女

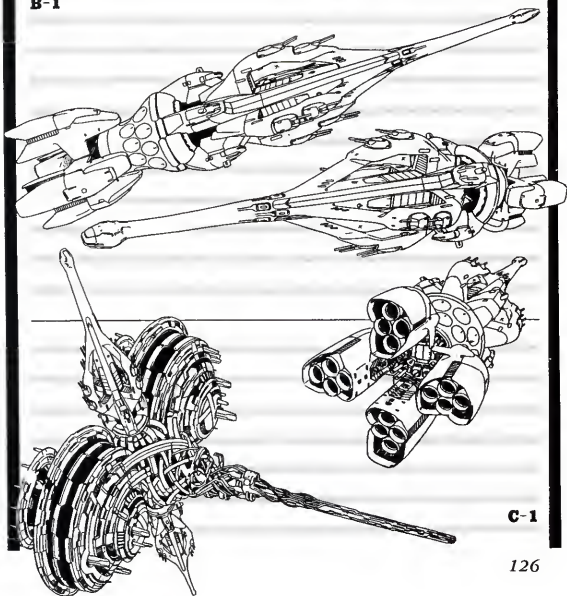
CHARACTER DATA

125 A:マリアB:侍女



A-1

B-1



C-1

アマルテア

ベスパ宇宙戦艦

ザンスカール帝国軍ベスパの主力宇宙戦艦。ムッター・ズガン艦隊や、カイラス・ギリ艦隊などに配備されている。上下対称の構造をしており、居住用の重力ブロックも持っている。

スクイード

ベスパ大型宇宙戦艦

展開式の甲板をかね備えたベスパの大型宇宙戦艦。甲板を展開させると、内面の4基を合わせ計8基のカタバルトを稼働させることができ、MSは表裏同時に射出することが可能である。

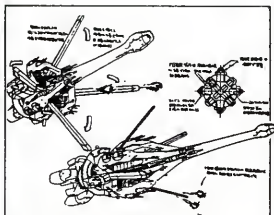
カイラスギリ

ベスパ攻撃衛星基地

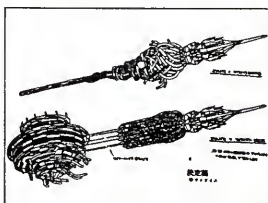
衛星軌道上から地球上の拠点を攻撃できる“ビッグキャノン”を装備したベスパの攻撃衛星基地。リガ・ミリティアによって奪取されサイド2に向けて発射された。

- A-1** アマルテア
- B-1** スクイード
- B-2** カタバルト
- C-1** カイラスギリ
- C-2** 分解状態
- AB-1** ブリッジ
- AB-2** シート

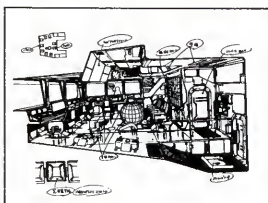
MECHANIC DATA



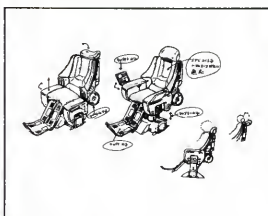
B-2



C-2

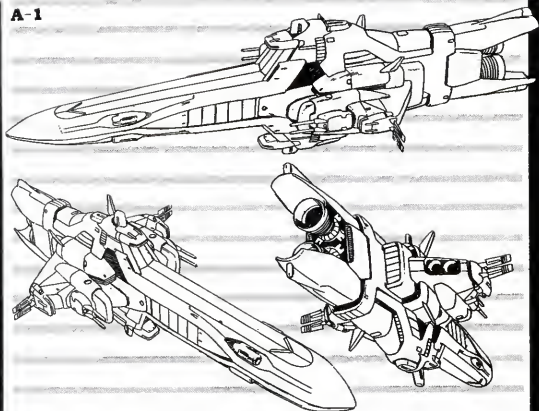


AB-1

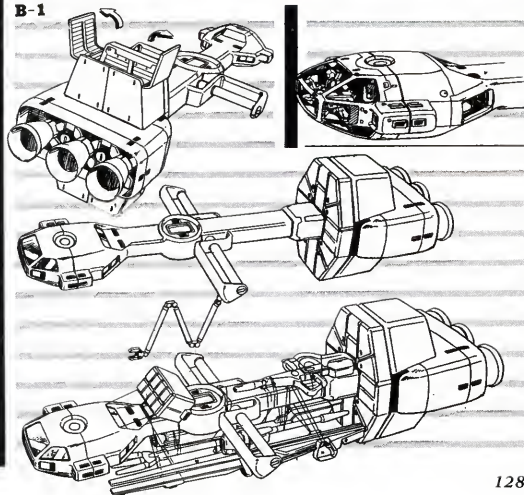


AB-2

A-1



B-1



カリスト CALLISTO

ベスパ宇宙巡洋艦

ザンスカール帝国軍宇宙艦隊の中枢をなす宇宙巡洋艦。

MSを4機搭載し、アマルテアと同じように艦艇の上下が対称になっているという、かつて地球連邦軍が保有していたサラミス、マゼランといった艦艇に似たフォルムをようしている。

シノーベ SINOPE

ベスパ宇宙哨戒艦

MSを2機搭載できるベスパの宇宙哨戒艦。

MSのコクピットと機体をハッチで直接つなぐため、直接MSに乗り込むことができるようになっている。

艦橋部分の視界はかなり良好なものである。

かなりの数が宇宙圏内のパトロールに投入されている。

そのうちの一隻がウッソヤトマーシュらによって強奪され、通称“魚の骨”に改修され、リガミリティアの宇宙戦力の要のひとつになる。

A-1 カリスト

B-1 シノーベ

B-2 ミサイルランチャー

B-3 ブリッジ①

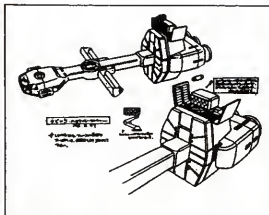
B-4 ブリッジ②

B-5 シート

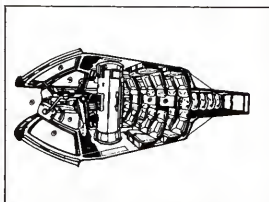
MECHANIC DATA

129 A:カリスト B:シノーベ

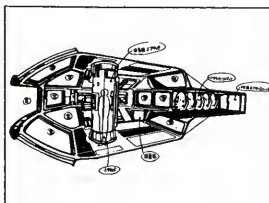
B-2



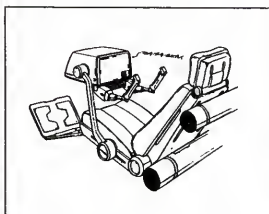
B-3

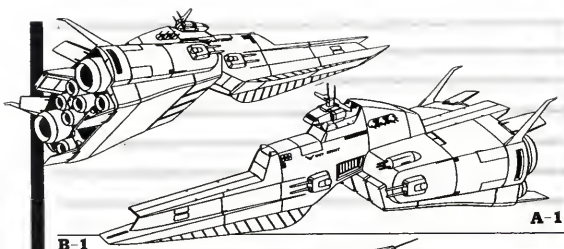


B-4



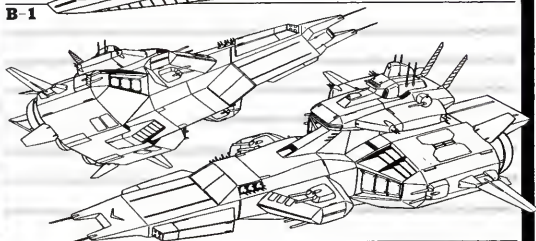
B-5



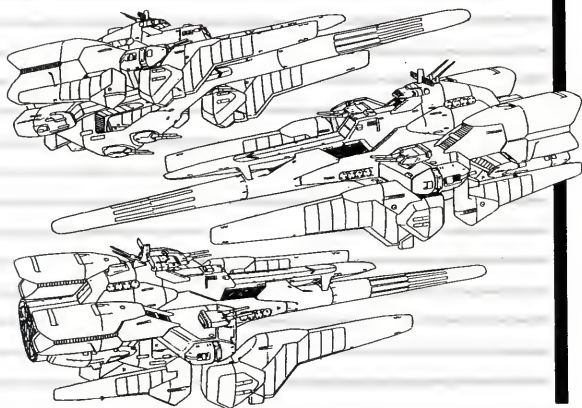


B-1

A-1



C-1



リーンホース LEANHORCE

地球連邦軍宇宙戦艦

アーティージブラルタルより宇宙へと発進した地球連邦軍の旧型宇宙戦艦。リガ・ミリティアの主力戦艦である。カイラス・ギリイ戦を戦いぬくが、損傷が大きく戦艦艦としての生命を終える。

ガウンランド GAUNLAND

地球連邦軍大型宇宙戦艦

地球連邦軍の大型宇宙戦艦ではあるが、旧式化している。リガ・ミリティアの指導者、ジン・ジャハナムが使用していたが、カイラス・ギリイ艦隊との戦闘でリーンホースの盾となって大破した。

リーンホースJr. LEANHORCE Jr.

リガ・ミリティア大型宇宙戦艦

カイラス・ギリイ艦隊が残っていたスクイードをベースに、リガ・ミリティアが改修した大型宇宙戦艦。リガミリティアの宇宙艦隊の旗艦となり、名前を受け継ぎ、リーンホースJr.と命名される。

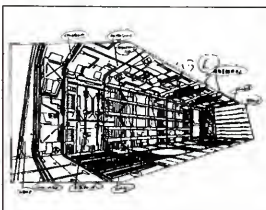
- A-1 リーンホース
- A-2 ゲルトルーム
- A-3 MSデッキ
- B-1 ガウンランド
- C-1 リーンホースJr

MECHANIC DATA

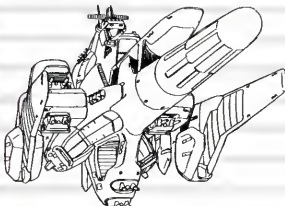
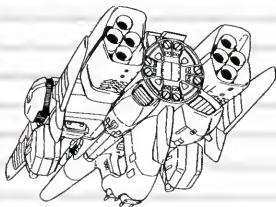
131 A:リーンホースB:ガウンランドC:リーンホースJr

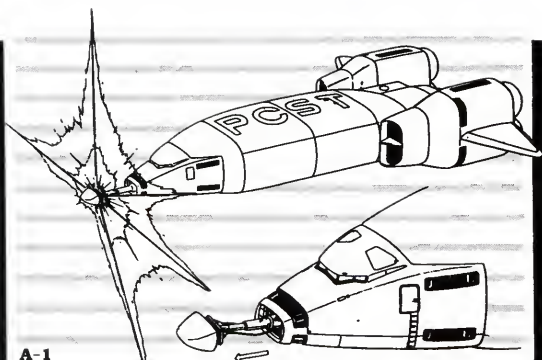


A-2



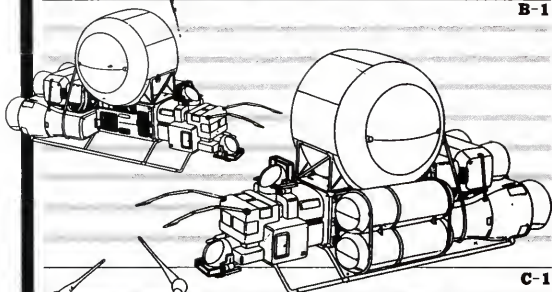
A-3



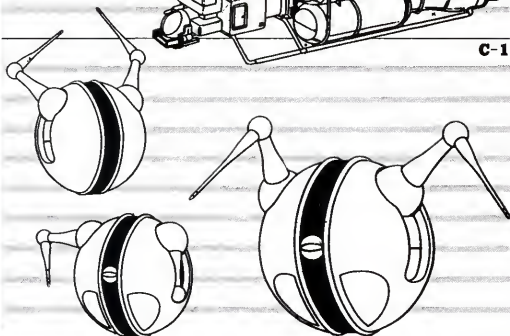


A-1

B-1

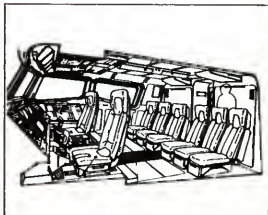


C-1



スペース・シャトル SPACE SHUTTLE

宇宙へ移民する人類の財産を、運搬する業務を行なうために設立された“宇宙引越公社”が使用しているシャトル。アーティジブラタルの宇宙引越公社ヨーロッパ総局では、マストライダーを使って宇宙へ送り出している。

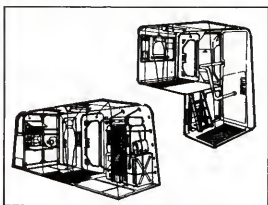


A-2

アイネイアース AINEIAS

宇宙小型艇

太陽電池衛星ハイランドに住んでいたトマーシュたち宇宙家族が、故郷であるサイド2に帰るためにハンドメイドで作りあげた小型宇宙艇。大きな円盤状の燃料タンクを背負い、カタツムリの様な特異な形状をしている。

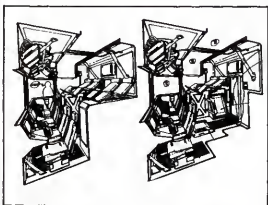


A-3

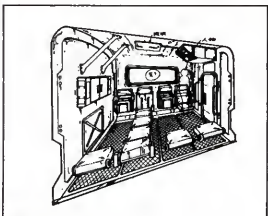
ココロム COCOLOM

警備ロボット

ザンスカール本国のコロニーの隔壁などに配備されている警備用ロボット。レール軌道上を移動する。スタンスティックなどの装備をもち侵入者を排除する。



B-2



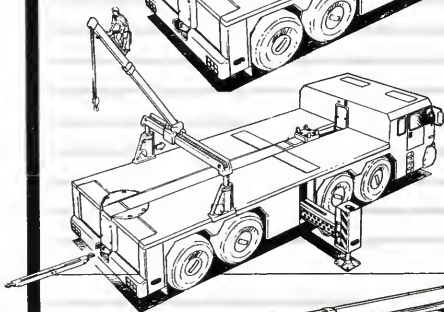
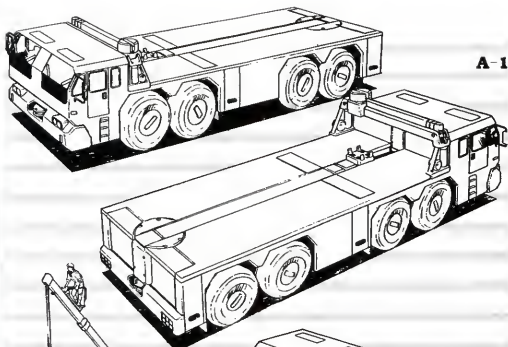
B-3

- A-1 スペース シャトル
- A-2 キャビン①
- A-3 キャビン②
- B-1 アイネイアース
- B-2 キャビン
- B-3 キャビン奥
- C-1 ココロム

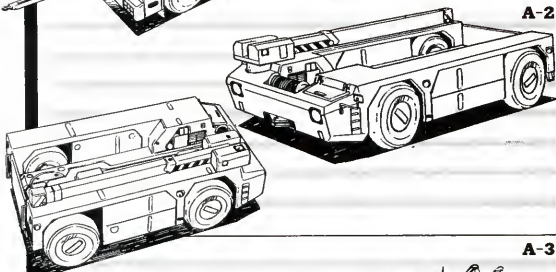
MECHANIC DATA

133 A:スペース・シャトル B:アイネイアース C:ココロム

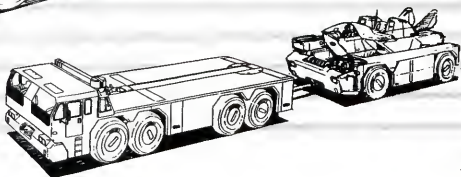
A-1



A-2

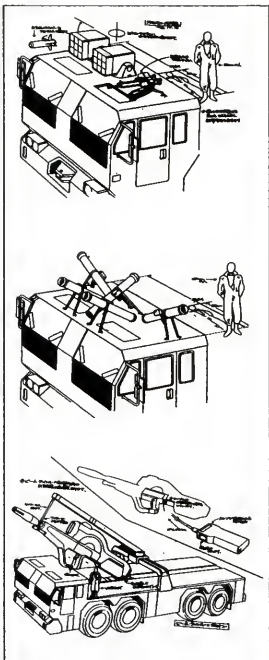


A-3

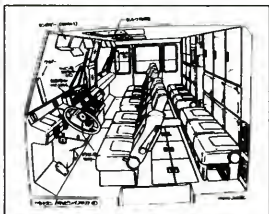


カミオン CAMION

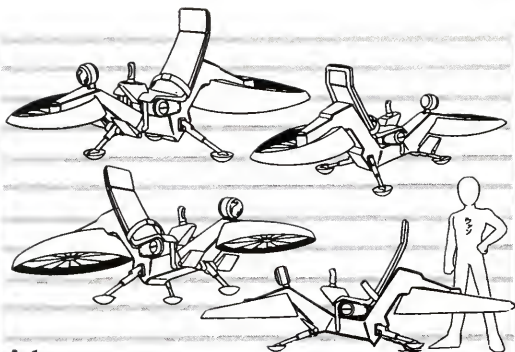
リガ・ミリティアのヴィクトリー開発チーム（カミオン隊）が移動拠点として使用していた大型トレーラー。通常、トレーラーそのものをカミオンと呼称していた。荷台にハンガー（トップファイター）やブーツ（ボトムファイター）を搭載することが可能。コアファイターは専用のキャリアに搭載するが、そのキャリアをけん引することができる。12人乗りで、内部には生活するのに十分な広さを持つスペースが存在している。ミサイルポッドやバズーカを搭載したり、MSの武装を強引にくくり付けたりすることにより砲台としても使われた。移動中は当然のことながら住居と使われる。単純な移動手段としてだけではなく、ヴィクトリーのサポートとしてリガミリティアの重要な陸上戦力として機能していた。つねに数台の編隊を組んで移動を行っていた。



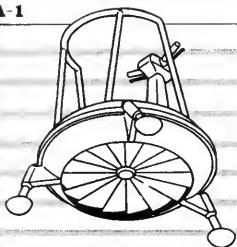
- A-1 カミオン
- A-2 コアファイターキャリアー
- A-3 コアファイターキャリアーとの対比
- A-4 武装
- A-5 キャビン



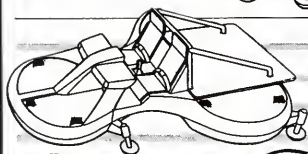
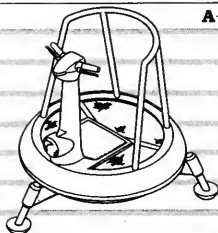
MECHANIC DATA



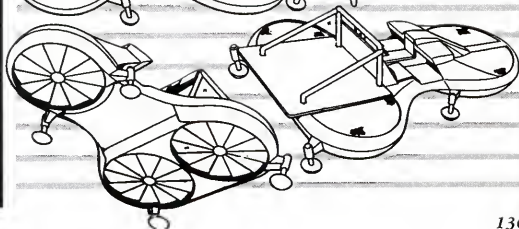
A-1



A-2



A-3



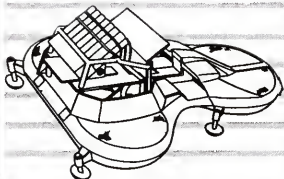
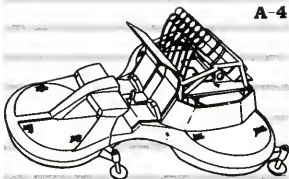
ワ ッ パ W A P P A

小型のホバークラフトメカの一般的な俗称。1年戦争（宇宙世紀0079年）時にジオン公国軍が使用していた“ワッパ”の名称を受け継いでいるマシンである。宇宙世紀0153年代には一般移動用メカとしてエレカにかわり、地球上はもちろんのことコロニー内まで広範囲に渡って使用されるようになっている。民間のものから軍事用のものまで用途によって様々なタイプが存在している。バイクタイプのものは、荷物を積むスペースは少ないがスピードはかなり出る。スタンド式の場合は、スピードはあまり出ないが、大きさはさほどではないのでかなり狭い場所でも使用できる。また、数人程度の人間が搭乗でき、多少の荷物を積むことができるのでかなり柔軟な用途に使用できる。一番普及しているのがトラックタイプのものだ。数人が乗れ、かなりの荷物をつめるので、移動用として軍から民間まで広く使っている。

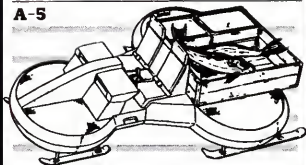
- A-1 ウッソのワッパ
- A-2 スタンド式のワッパ
- A-3 ミニワッパトラック
- A-4 レジスタンスのワッパ
- A-5 ロブのワッパトラック
- A-6 ワッパ・ディレクター

MECHANIC DATA

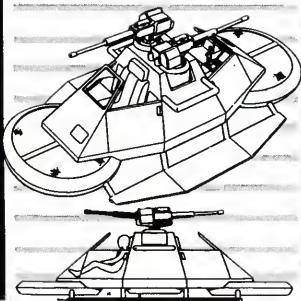
A-4



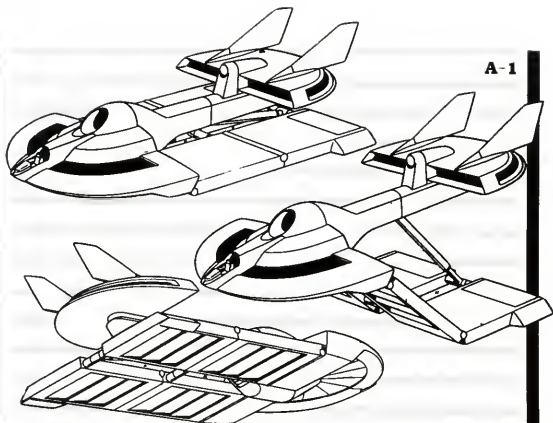
A-5



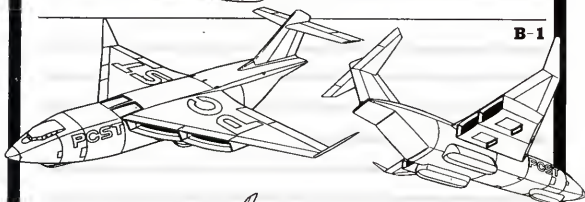
A-6



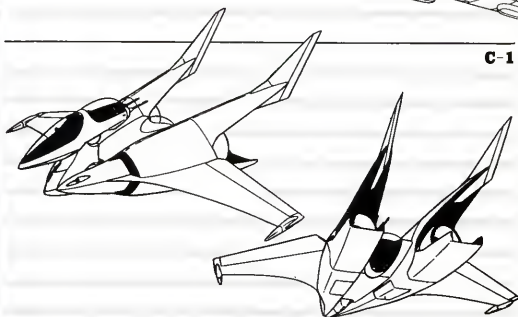
A-1



B-1



C-1



セッターH926 SETTER

リガミリティアが使用しているMS用空中支援メカ。MSの空中での行動範囲を拡大させる。主にガンイージを2機搭載して敵と対戦する。武器装備はなく、機首にあるコクピットでコントロールされる。

輸送機 CARRIER

カミオン隊をアイルランドへ輸送するために使われた大型輸送機。カーゴルームにはMSを数基格納することができる。宇宙引越公社の使用する機体の偽装が施されている。連邦軍大尉ゴメスが、パイロットを務めた。

オーバー・ヘッド・ホーク OVER HEAD HAWK バスバ偵察機

ラゲーン基地に配備されていたバスバの偵察用航空機。コクピットが高い位置に設けられ、有効視界を広くする設計が施されている。

A-1 セッターH926

A-2 MSとの対比

B-1 輸送機

B-2 MSとの対比

B-3 コックピット

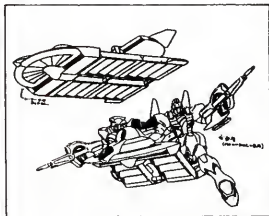
C-1 オーバーヘッドホーク

C-2 コックピット

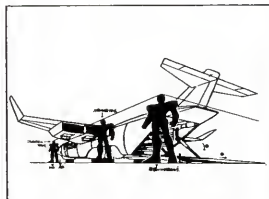
MECHANIC DATA

139 A:セッターH926 B:輸送機 C:オーバーヘッドホーク

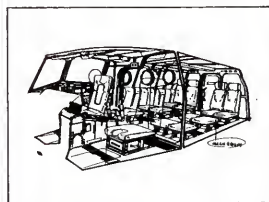
A-2



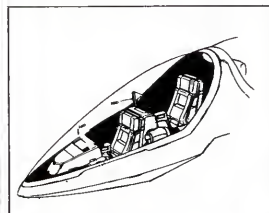
B-2



B-3



C-2



ボトムファイター	12、74
ボトムリム	12、74
ヤ行	
輸送機	138
ラ行	
リーンホース	32、67、130
リーンホースJr.	67、130
ワ行	
ワッパ	136

用語

ア行	
アーティ・ジブラルタル	8、44
イエロージャケット	60
ウーイグ	4、44
宇宙引越公社	44、66
宇宙漂流	44
カ行	
カサレリア	50
旧バルセロナ	50
旧ベチエン	50
サ行	
ザンスカール帝国	2、54
タ行	
地球連邦軍	66
トリモチ	68
ハ行	
ハイランド	68
バルーンダミー	50
ベスパ	4
マ行	
マストライバー	50
マニピュレーター	68
マリア主義	56
ラ行	
リガミリティア	64



マ行

マーベット・フィンガーハット	24, 108
マヘリア・メリル	28, 110
マリア・ピア・アーモニア	30, 124
マルチナ・クランスキー	28, 104
マンデラ・スーン	66
ムッターマ・ズガン	68, 118
メツェ・ルーベンス	122

ヤ行

ユカ・マイラス	108
---------	-----

ラ行

ルベ・シノ	122
レオニード・アルモドバル	26, 112
ロベルト・ゴメス	67, 114
ロメロ・マラバル	26, 112

ワ行

ワタリー・ギラ	122
---------	-----

メカニック

ア行

アイネイアース	132
アマルテア	126
オーバー・ヘッド・ホーク	138

カ行

カイラスギリ	10, 62, 126
ガウンランド	67, 130
カミオン	32, 134
カリスト	128
ギガシ	96
コアファイター	12, 74
コアブスター	14, 76
ココロム	132

サ行

シノーペ	128
スクイード	10, 126
スペースシャトル	132
セッターH926	138
戦闘バイク	96

タ行

トップターミナル	16, 82
トップファイター	12, 74
トップリム	12, 74

ハ行

ボトムターミナル	16, 82
----------	--------

ウツ・エヴィン	22, 98
ウツの両親	98
エステル・チャバリ	28, 112
エリシャ・クランスキー	28, 104
オイ・ニュング	26, 64, 112
オーティス・アーキンス	28, 112
オデロ・ヘンリーク	24, 102
オリファー・イノエ	28, 108

カ行

カテジナ・ルース	24, 106
カルルマン・ドゥカートウス	22, 100
カレル・マサリク	28, 104
儀杖兵	121
クッフ・サロモン	114
クランスキー夫妻	104
クロノクル・アシャー	30, 116
ケイト・ブッシュ	28, 110
ゲトル・デブレ	118
ゴッドワルド・ハイン	120
コニー・フランス	28, 110

サ行

シャクティ・カリン	22, 100
シュラク隊	28, 110
ジュンコ・ジェンコ	28, 110
ジン・ジャハナム	64, 114
スージィ・リレーン	26, 102
ストライカー・イーグル	114
ズブロク・シモネフ	122
ソフィア・イエリネス	28, 104

タ行

タシロ・ヴァゴ	62, 118
テングラシー・ルース	106
ドゥカー・イク	30, 120
トマーシュ・マサリク	28, 104

ナ行

ネス・ハッシャー	114
----------------	-----

ハ行

ハロ	22, 98
ファラ・グリフォン	28, 60, 118
フォンセ・カガチ	30, 120
ブラスタ・イエリネス	28, 104
フランダース	22, 100
ペギー・リー	28, 110
ヘレン・ジャクソン	28, 110

機動戦士ガンダム大図鑑「ザンスカル戦争編」

索引

INDEX

●TVシリーズ「機動戦士Vガンダム」に登場した主要、MS、MA、キャラクター、宇宙艦、メカニック、用語をアルファベット・50音順にまとめました。見出しの単語を選び、記されているページを見てください。その単語の解説、あるいは関連する事項がわかるようになっていきます。なお、MS、MAに関しては型式番号をアルファベット順に検索できるようになっています。

MS&MA

LM111E02 ガンイーグ	8、14、42、46、64、78
LM111E03 ガンプラスター	42、46
LM312V04 ヴィクトリーガンダム	6、8、12、42、46、64、70
LM312V04+SD-VB03A ヴィクトリーダッシュガンダム	14、42、46、76
LM312V06 ヴィクトリーガンダムヘキサ	12、42、46、76
LM314V21 ヴィクトリー2ガンダム	42、46
MW544B サンドージュ	20、92
RGM-119 ジェムズガン	14、46、67、78
RGM-122 ジャベリン	14、46、67、78
ZM-A05G リカール	32
ZM-D11S アビゴル	18、38、48、90
ZM-S06G ゴリディア	48
ZM-S06S ゴロアット	10、20、48、62、86、34
ZM-S08G ゴロ	4、6、16、48、60、80
ZM-S09G トムリアット	10、18、48、60、84
ZM-S14S コンティオ	20、38、46、90
ZM-S19S シャイターン	20、48、92
ZM-S22S リグ・シャッコ	20、48、94
ZMT-03G ガリクソン	32、96
ZMT-15M ガルグイユ	20、38、88
ZMT-A31S ドッゴラ	38
ZMT-S12G シャッコ	18、38、60、94
ZMT-S13G ゴッゾラ	18、38、88
ZMT-S16G メッメドーサ	18、38、88

キャラクター

ア行

アルベオ・ビビニーデン	120
イエリネス夫妻	104
ウォレン・トレイス	26、102

INDEX

STAFF

企 画

株式会社メディアワークス
第4編集部・書籍編集課 (安藤利明)

構成・編集

仲重 舎
井上 徹
渡辺 利浩
清水 章一

装 丁

タケモトアツシ (t-DESIGN LAB.)

カバーイラスト

As'maria

デザイン

仲重 舎
シイバミツヲ&ケンジ

協 力

株式会社サンライズ (井上幸一)
株式会社バンダイ ホビー事業部

宇宙世紀ボックス 機動戦士ガンダム MS大図鑑 PART.9 【ザンスカール戦争編・上】

CONTENTS

MS戦史 MS War History	2
MS名鑑 MS Catalogue	12
キャラクター名鑑 Character Catalogue	22
メカニック名鑑 Mechanic Catalogue	32
MS開発史 MS Development History	33
MS性能比較表 An ability Symmetry of MS	45
ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report	51
設定資料集 Design Collection	65
モビルスーツ Mobile Suit	66
キャラクター Character	98
メカニック Mechanic	126
MS用語辞典 MS Glossary	44、50、64
索引 Index	140

※本書は1994年2月に株式会社メディアワークスより発行された電撃エンターテインメントバイブル・シリーズ「機動戦士ガンダム大図鑑1【ザンスカール戦争編・上】」を復刻した物です。文章・データに2005年現在と合致しない部分がございますが、原書のままでしますのでご容赦下さい。また、原書が絶版となっていたため、最新のデジタル技術を使用して再現しましたが、一部文章・写真・イラストに不鮮明な物があります。ご了承下さい。

※ご協力いただいた方々の所蔵は発行当時のまま記載しております。

発 行 2005年3月20日 初版発行

発行者 佐藤辰男

発行所 株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館
TEL.03-5281-5243(編集)

発売元 株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL.03-3238-8605(営業)

印刷所 共同印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えます。

分売不可

© 創通エージェンシー・サンライズ

Printed in Japan

Ⓔ 本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡下さい。

MS NO.09

MS大図鑑
[PART.9 ザンスカール戦争編・上]

MS ENCYCLOPEDIA



MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.09

MS大図鑑
[PART.9 ザンスカール戦争編・上]

ENCYCLOPEDIA



MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.09 ENCYCLOPEDIA

MOBILE SUIT V GUNDAM

MS NO.09 ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT V GUNDAM

STORY

MS大図鑑 PART.9 ザンスカール戦争編・上

NO.09

2020年10月

MS大図鑑 [PART.9] サイカール戦争編・上